【議案第93号】

令和7年度　一般会計決算附属資料

農林水産部　主要な施策の成果

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	7,224千円	7,479千円	255千円	96.5 %	部	農林水産部
	項	01 農業費				(参考)当初予算額	課	農業振興課
	目	02 農業総務費				7,479千円		
	事業	04 農業関連施設管理運営事業						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

目的

久美浜総合交流販売施設及び蒲井シーサイドクラインガルテンなど農業関連施設の適切な維持管理と運営を行う。

主な財源

使用料	貸付農家住宅使用料	71千円
使用料	市民農園使用料	3,481千円
使用料	農林水産業活性化推進滞在施設使用料	136千円

主要な事務・事業の概要

○久美浜総合交流販売施設（SANKAIKAN）維持管理経費 3,519千円
- 指定管理委託料 1,765千円
- 駐車場用地借上料（2,724㎡） 378千円
- 修繕料（屋根、外部照明、自家用電気工作物） 1,329千円
- 負担金（全国道の駅連絡会、近畿道の駅連絡会） 47千円

○蒲井シーサイドクラインガルテン運営・維持管理経費 3,481千円
- 管理運営委託料（施設管理、草刈り･除雪等） 935千円
- 水質検査、浄化槽維持管理、浄化槽法定検査等 330千円
- 施設清掃委託料 121千円
- 施設ごみ運搬委託料 1,085千円
- 施設用地借上料（3,475㎡）、郵便代 150千円
- 光熱水費等（電気、除雪機燃料、消耗品） 387千円
- 修繕料（原水ポンプ、マンガンユニットろ材取替等） 473千円

○弥栄農家用貸付住宅　維持管理経費 71千円
- 光熱水費等（電気代、水道開閉栓手数料、消耗品） 15千円
- 修繕料（給湯器、汚水管） 56千円

○農林水産業活性化推進滞在施設　維持管理経費 136千円
- 光熱水費等（電気代、上下水道代、消耗品、持込ごみ手数料） 136千円

○その他農業関連施設　維持管理経費 17千円
- 除草作業委託料（弥栄都市農村交流実践施設） 17千円

成果・課題

各農業関連施設の修繕及び設備の更新を行うことにより、利用者が安心して快適に利用できる施設環境を提供することができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	6,965千円	9,000千円	2,035千円	77.3 %	部	農林水産部
	項	01 農業費				(参考)繰越予算額	課	農業振興課
	目	02 農業総務費				9,000千円		
	事業	04 農業関連施設管理運営事業（繰越）						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

目的	主な財源
令和6年7月22日にガラシャ荘の建物が全焼したことに伴い、建物の解体撤去を行い、周辺の安全性を確保する。	諸収入　市有建物損害共済金　6,965千円

主要な事務・事業の概要

○ガラシャ荘解体経費　6,965千円
- ガラシャ荘解体工事　6,783千円
- 燃え殻分析手数料　182千円

＜焼損状況＞
集会施設　78.53㎡
付属屋　6.72㎡

成果・課題

焼損したガラシャ荘の解体撤去を行うことにより、周辺住民の安全を確保することができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	29,696千円	29,737千円	41千円	99.8 %	部	農林水産部
	項	01 農業費				(参考)当初予算額	課	農業振興課
	目	02 農業総務費				28,895千円		
	事業	05 丹後王国「食のみやこ」支援事業						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

主な財源

繰入金　　ふるさと応援基金繰入金　　12,000千円

目的

丹後王国「食のみやこ」を支援することにより、都市と農村の交流や農商工観連携の取組を進め、地域農業の振興を図る。

主要な事務・事業の概要

○運営支援及び市有施設管理　29,061千円

・丹後王国「食のみやこ」運営費負担金　28,640千円

内訳	金額
運営経費等負担分	2,291千円
施設管理負担分	15,162千円
広報・集客業務負担分	11,187千円

・土地借上料（臨時駐車場：弥栄町鳥取地内）　247千円

・地域おこし協力隊業務委託料　174千円

委嘱日：令和8年3月18日

○大型複合遊具完成記念式典開催経費　635千円

・式典会場設営業務　407千円

式典開催日：令和8年3月20日

・印刷製本費（式典チラシ）　99千円

・新聞折込手数料　129千円

＜丹後王国「食のみやこ」来園者数＞

平成27年度	525,566人	令和3年度	123,311人
平成28年度	474,308人	令和4年度	193,775人
平成29年度	398,960人	令和5年度	200,316人
平成30年度	368,991人	令和6年度	207,982人
令和元年度	367,912人	令和7年度	210,442人
令和2年度	162,129人		

成果・課題

○丹後王国「食のみやこ」の運営を支援することにより、本市の活性化に寄与することができた。
○「道－１グランプリ」をはじめ、様々なイベントを開催するとともに、丹後王国展望台跡地に大型遊具を設置することで、誘客に繋げることができた。
○来園者数の増加を図るため、更なる誘客促進を行う必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	419,460千円	479,000千円	59,540千円	87.5 %	部	農林水産部
	項	01 農業費				(参考)繰越予算額	課	農業振興課
	目	02 農業総務費				479,000千円		
	事業	05 丹後王国「食のみやこ」支援事業（繰越）						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

目的

丹後王国「食のみやこ」の利用促進に向け、丹後王国展望台跡地等の整備を行い、活用を図る。

主な財源

市債	農業関連施設整備事業債（合併特例債）	396,000千円

主要な事務・事業の概要

○王国展望台跡地等整備経費	278,134千円
王国展望台跡地等整備工事	275,000千円
放送設備改修工事	1,964千円
照明灯撤去等工事	1,005千円
植物移植業務	165千円
○昆虫館改修経費	128,495千円
建築工事	79,431千円
電気工事	23,099千円
機械工事	22,109千円
工事監理業務委託	2,200千円
備品購入（机、椅子、授乳用ソファ、マット）	1,656千円
○植栽工事	9,350千円
○誘導看板関連経費	3,481千円
設置工事	2,860千円
デザイン作成委託料	159千円
張替業務	462千円

成果・課題

○王国展望台跡地及び昆虫館の整備工事を行うことで、誘客の促進を図ることができた。
○今回未整備エリアの活用や、更なる誘客促進に向けた取組のほか、持続可能な体制の確立を図る必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	農林水産部
	款	06 農林水産業費	8,387千円	8,572千円	185千円	97.8 %		
	項	01 農業費				(参考)当初予算額	課	農業振興課
	目	02 農業総務費				8,195千円		
	事業	50 農業総務一般経費						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

目的	主な財源
農業行政の推進に必要な経費及び各種農業関連団体への負担金等に係る経費	諸収入　市有自動車損害共済金　200千円

主要な事務・事業の概要

○事務費	4,596千円
・会計年度任用職員任用経費（1人･育休代替）	4,429千円
・消耗品費	120千円
・旅費	47千円
○農業総合地図情報システム運用経費	2,123千円
・システム保守管理委託料	2,123千円
○統合型GIS地図情報データ更新業務	55千円
○公用車管理経費	929千円
・燃料費（3台）	327千円
・修繕料（法定点検等）	477千円
・保険料等	125千円
○農業関連団体等への負担金	684千円
・京のふるさと産品価格流通安定協会負担金	72千円
・丹後米改良協会負担金	51千円
・野菜等経営安定対策事業負担金	526千円
対象品目（コギク、賀茂なす）	
・遊具の日常点検講習会負担金	20千円
・関西茶業振興大会京都府大会協賛金	15千円

成果・課題

各種団体と連携し、農業行政の推進を図ることができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	1,656千円	1,656千円	0千円	100.0 %	部	農林水産部
	項	01 農業費				(参考)当初予算額	課	農業振興課
	目	03 農業生産基盤整備支援費				0千円		
	事業	01 京野菜生産加速化事業						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

目的

京野菜及び丹後地域統一重点推進品目の生産性の向上及び更なるブランド化を図るため、京野菜等の生産を支援する。

主な財源

府補　ほんまもん京ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ産地支援事業費補助金（10/10）　1,656千円

主要な事務・事業の概要

○生産・流通改善条件整備事業　1,656千円

京野菜等の省力・低コスト生産に必要な機械・施設の導入に対し、補助金を交付。

（単位：千円）

実施主体	事業内容	事業費	補助金額
株式会社日下部農園	スピードスプレーヤー1台	4,049	1,656
合　計		4,049	1,656

※補助率：府45%

※事業費から消費税分を抜いた額を補助対象事業費とする。

成果・課題

丹後地域統一重点推進品目の推進と生産の省力・低コスト化及び品質の向上に寄与することができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	7,717千円	7,717千円	0千円	100.0 %	部	農林水産部
	項	01 農業費				(参考)当初予算額	課	農業振興課
	目	03 農業生産基盤整備支援費				17,439千円		
	事業	02「京の米」生産ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ事業						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

主な財源

府補　「京の米」生産ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ事業補助金（10/10）　7,717千円

目的

特別栽培米等の生産に必要な農業用機械等を導入する農業者で組織する団体、農業法人等を支援し、環境に配慮した商品価値の高い米づくりを促進する。

主要な事務・事業の概要

○「京の米」生産イノベーション事業補助金　7,717千円

特別栽培米の作付面積の拡大を図るため、生産に必要な農業用機械の導入に対して補助金を交付。

（単位：千円）

実施主体	事業内容	事業費	補助率	補助金額
農事組合法人五十河の里	田植機1台（直進アシスト機能付）	4,438	50%	2,017
有限会社久美浜観光園	田植機1台（直進アシスト機能付）フレコンスケール	7,103	50%	3,228
株式会社エチエ農産	籾摺機1台 石抜機1台	4,510	40%	1,640
小町の里生産組合	田植機1台	2,290	40%	832
合　計		18,341		7,717

補助率	特記事項
40%以内	通常適用
50%以内	事業実施主体が集落の8割を担う事業主、または対象事業がスマート機能付き機械

※事業費から消費税分を抜いた額を補助対象事業費とする。

成果・課題

特別栽培米の生産拡大に必要となる機械導入を支援することにより、農作業の効率化を図ることができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	86,142千円	86,154千円	12千円	99.9 %	部	農林水産部
	項	01 農業費				(参考)当初予算額	課	農業振興課
	目	03 農業生産基盤整備支援費				26,834千円		
	事業	04 ｽﾏｰﾄ農業実装ﾁｬﾚﾝｼﾞ事業						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

主な財源		
府補	ｽﾏｰﾄ農業実装ﾁｬﾚﾝｼﾞ事業補助金（10/10）	5,262千円
府補	ｽﾏｰﾄ農業･農業支援ｻｰﾋﾞｽ事業補助金（10/10）	80,880千円

目的

AI・ICT等先端技術（スマート技術）を有する機械の導入を支援し、省力化によるコスト削減や機械オペレーターの負担軽減を図る。

主要な事務・事業の概要

○スマート農林水産業実装チャレンジ事業補助金　5,262千円

AI・ICT等の先端技術を有する機械を購入する団体や個人に対して補助金を交付。

（単位：千円）

実施主体	事業内容	事業費	補助率	補助金額
産直組合	農業用ドローン1台	2,778	50%	1,262
農事組合法人 田吾作	コンバイン1台 （食味収量センサー付）	12,980	50%	4,000
合　計		15,758		5,262

※補助金上限：4,000千円

※事業主体及び補助率：団体50%、認定農業者（個人）30%

※事業費から消費税分を抜いた額を補助対象事業費とする。

○スマート農業・農業支援サービス事業導入補助金　80,880千円

（1）農業支援サービス事業育成対策　750千円

実施主体：認定農業者（1人）

事業内容：ドローン研修受講費

補助率：100%

（2）スマート農業機械等の導入支援　80,130千円

実施主体：認定農業者（14人）、1個人、5法人、2団体

事業内容：田植機5台、コンバイン7台、トラクター7台、ロータリー5台、ハロー4台、ドローン2台、スライドモア1台、ウイングハロー1台、ブームスプレイヤー1台

補助率：50%以内

成果・課題

スマート農業機械の導入を支援することにより、労働負担の軽減や農作業の効率化を図ることができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	8,660千円	8,661千円	1千円	99.9 %	部	農林水産部
	項	01 農業費				(参考)当初予算額	課	農業振興課
	目	04 農業振興費				11,916千円		
	事業	02 生物多様性を育む農業推進事業						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

目的

地球温暖化防止や生物多様性の保全に効果の高い営農活動等に取り組む農業者を支援し、環境保全型農業の普及推進を図る。

主な財源

府補　環境保全型農業直接支払交付金（3/4･10/10）　6,488千円

主要な事務・事業の概要

化学肥料・化学合成農薬の使用を地域の慣行レベルから5割以上低減する活動と合わせて、地球温暖化防止や生物多様性の保全に効果の高い営農活動の取組に対し、取組内容に応じて補助金を交付。

○環境保全型農業直接支払交付金　8,417千円

取組内容	件数	面積	補助金額
5割低減＋緑肥の施用	2件	2,171a	1,086千円
5割低減＋堆肥の施用	2件	2,065a	743千円
5割低減＋総合防除	1件	554a	222千円
有機農業（加算なし）	5件	2,976a	4,166千円
有機農業（加算あり）	1件	1,375a	2,200千円
合　計	11件	9,141a	8,417千円

※取組団体数：9団体

○環境保全型農業直接支払交付金事業推進事務費　177千円

- 消耗品費（事務用品）　126千円
- 通信運搬費（郵送料）　51千円

○生物多様性を育む有機農業推進計画見直し経費　66千円

- 委員謝金（4千円×延べ13人）　52千円
- 委員費用弁償　14千円

※会議開催：3回（令和7年11月4日、12月1日、令和8年1月20日）

※第4期（R8～R12）の計画を策定（令和8年3月策定）

成果・課題

○化学肥料・農薬の使用を低減し、地球温暖化防止や生物多様性の保全につながる農業生産活動を支援することにより、農業者における環境保全と環境意識の向上に資することができた。
○オーガニックビレッジ宣言（令和7年5月23日宣言）したことにより、新たに有機の視点を加えた「生物多様性を育む有機農業推進計画」を定めることができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	4,241千円	4,249千円	8千円	99.8 %	部	農林水産部
	項	01 農業費				(参考)当初予算額	課	農業振興課
	目	04 農業振興費				5,270千円		
	事業	03 有機農業拡大推進事業						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

目的

国において「みどりの食料システム戦略」が策定され、全国的に持続可能な食料システムの構築が図られている中、有機農業を拡大する取組を通じて、本市の持続可能なまちづくりと消費者から選ばれる産地づくりを目指す。

主な財源

府補　有機農業産地づくり推進事業交付金（10/10）　2,963千円

主要な事務・事業の概要

○京丹後市みどりの農産物認定委員会開催経費　38千円
- 委員謝金（延べ6人、委員会1回、協議1回）　36千円
- 委員費用弁償（延べ3人、委員会1回）　2千円

○学校給食提供用有機米購入費　1,471千円
- 市内小中学校全22校で12月に6日間提供
- 提供数量：339kg/日×6日間＝2,034kg

○印刷製本費　87千円
- 京丹後市みどりの農産物認定ステッカー（500枚）　30千円
- 展示パネル（4枚、A4）　57千円

○消耗品費（啓発用のぼり旗、PR用有機米等）　75千円

○委託料　690千円
- 水稲有機栽培講習業務委託（講習会2回）　294千円
- 「京丹後市みどりの農産物（水稲）」ロゴデザイン調整業務委託　396千円

○オーガニックライフスタイルEXPO出展経費　867千円
- アドバイザー謝金、費用弁償（1人×5日）　56千円
- 職員旅費、駐車場使用料等　74千円
- 会場借上料　737千円

○有機農業拡大支援事業補助金＜補助率：1／2以内＞　715千円
- 補助件数：4件
- 事業内容：機械導入（自動抑草ロボット3台、汎用コンバイン1台）
  資材購入（土壌改良材（竹パウダー））

○京丹後オーガニックアクション活動補助金＜補助率：定額＞　298千円
京丹後オーガニックアクションが取り組む有機農業推進活動を支援

成果・課題

○全小中学校の給食に有機米を提供し、有機農業や有機農産物に対する理解を深めるとともに、市内産有機農産物の消費拡大を図ることができた。
○有機農業に必要な資機材の導入を支援することで、有機農業の生産拡大や負担軽減を図ることができた。
○京丹後オーガニックアクションの活動を支援することで、生産者の情報交換や交流等を促進することができた。
○有機農産物の担い手づくりや生産拡大を図る必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	3,002千円	3,045千円	43千円	98.5 %	部	農林水産部
	項	01 農業費				(参考)当初予算額	課	農業振興課
	目	04 農業振興費				2,927千円		
	事業	04 農業技術者協議会活動促進事業						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

目的

農業経営基盤強化促進法に基づき設置された京丹後市農業技術者協議会の活動を支援することにより、本市の農業振興を図る。

主な財源

主要な事務・事業の概要

農業経営基盤強化促進法に基づく認定農業者の認定に係る審査機関である農業技術者協議会において、個別具体的な経営基盤強化の推進について検討を行った。

また、認定農業者・集落営農等の担い手育成のため、農業経営改善支援センターを中心に経営相談や経営改善計画の作成指導など、経営基盤強化の促進に資する活動を行った。

○農業技術者協議会活動経費 3,002千円

- 会計年度任用職員任用経費 2,949千円
  （1人･農業経営改善支援センター推進員）
- 消耗品費 10千円
- 通信運搬費 43千円

【活動実績】

- 認定農業者育成数 ： 65経営体（新規17、更新48）
- 農業法人育成数 ： 10法人
- 経営改善相談活動
  - 相談活動日数 ： 141日
  - 対象人数 ： 194人

※認定農業者数：194経営体（令和8年3月末）

成果・課題

○認定農業者・集落営農等の担い手の育成及び農用地の利用集積の推進により、農業振興に寄与することができた。
○地域農業の振興を図るため、新規の認定農業者や認定農業者・集落営農等の後継者を増加させるなど、地域の実情に応じた担い手を確保・育成する必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	22,034千円	22,036千円	2千円	99.9 %	部	農林水産部
	項	01 農業費				(参考)当初予算額	課	農業振興課
	目	04 農業振興費				17,021千円		
	事業	05 地域農業ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ推進事業						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

目的

農業者の所得向上を図るため、市内農産物の生産強化・産地の維持拡大及び流通販売の取組を支援し、市内農産物の需要拡大・販路拡大を進めるとともに、市内の多様な農業者を支援し、市内農業の裾野を広げ地域農業の振興を図る。

主な財源

分担金	農地耕作条件改善事業分担金	4,560千円
府補	担い手養成実践農場整備支援事業補助金（1/2）	530千円
寄附金	ふるさと応援寄附金	1,000千円
市債	農地耕作条件改善負担金事業債（一般補助施設整備等事業債）	5,400千円

主要な事務・事業の概要

○農産物のブランド化に係る経費　24千円
- 1次産品活用アドバイザー謝金（1人×1回）　6千円
- 出張経費　18千円
  （有料道路通行料：府農林水産フェスティバル等）

○果樹振興に係る経費　6,201千円
- 共創型地域おこし協力隊（開始年度R5　12か月×1人）　3,240千円
- 共創型地域おこし協力隊（開始年度R7　7か月×1人）　1,890千円
- 共創型地域おこし協力隊（開始年度R7　4か月×1人）　1,071千円

○耕作条件改善事業に係る経費　11,400千円
- 国営俵野団地再整備事業（パイプライン、農地造成等）　11,400千円
  事業費　57,000千円 × 20% ＝ 11,400千円
  ※20%のうち、市負担金は12%、地元分担金は8%

○地域農業振興事業補助金　4,409千円

事業名	補助率	件数	補助額
小規模農業者支援事業	1／3以内	9件	1,999千円
果樹農家営農推進支援事業	1／2以内	3件	1,350千円
果樹研修チャレンジ支援事業	10／10以内	2件	1,060千円
合　計		14件	4,409千円

成果・課題

○地域農業振興事業補助金により、機械等導入や生産拡大等を図る多様な担い手を支援することができた。
○地域おこし協力隊制度を活用して、果樹の新たな担い手を育成することができた。
○引き続き果樹の新たな担い手の育成を図る必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	7,834千円	8,182千円	348千円	95.7 %	部	農林水産部
	項	01 農業費				(参考)当初予算額		
	目	04 農業振興費				7,732千円	課	農業振興課
	事業	07 水田農業振興推進事業						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

目的

経営所得安定対策等を実施し、農家の経営安定を図る。

主な財源

府補	経営所得安定対策推進事業費補助金（10/10）	7,765千円

主要な事務・事業の概要

○会計年度任用職員任用経費（2人･事務補助）	5,416千円
○報償金	1,780千円
・経営所得安定対策推進謝金（181集落）	1,661千円
・転作現地確認謝金（26集落）	119千円
○事務費	341千円
・消耗品費（農会長会議用資料用紙等）	142千円
・燃料費（ガソリン代）	93千円
・印刷製本費（水稲生産実施計画書兼営農計画書）	44千円
・通信運搬費（会議開催案内送付郵便等）	56千円
・駐車場使用料	2千円
・有料道路通行料	4千円
○地域農業再生支援システム利用料	297千円

成果・課題

○経営所得安定対策等制度への加入促進や交付金の交付手続等、各種事務を適切に行うことで、多くの農業者が安心できる農業経営に寄与することができた。
○水田活用直接支払交付金制度をはじめ、国のコメ施策に関する今後の方向性を注視するとともに、本市が推進する有機農業の取組ともあわせて水田農業を振興する必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	3,467千円	3,470千円	3千円	99.9 %	部	農林水産部
	項	01 農業費				(参考)当初予算額	課	農林整備課
	目	04 農業振興費				0千円		
	事業	10 渇水対策事業						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

目的

令和7年7月～8月にかけての少雨に伴う農業用水の渇水対策として、地域等が実施した対策費用の一部を支援することで、営農者の負担軽減を図り、安心して営農できる環境づくりを行う。

主な財源

府補　水利施設管理強化事業補助金　3,040千円

主要な事務・事業の概要

○渇水対策用ポンプ貸出等経費　427千円

（ポンプの運搬設置、修繕、消耗品費等）

○水利施設管理強化事業特別型（渇水・高温対策）補助金　3,040千円

（単位：千円）

町 名	地区数	補助対象事業費	補助金額
峰山町	4	1,919	1,362
大宮町	4	810	575
網野町	2	547	388
丹後町	2	177	126
弥栄町	2	97	69
久美浜町	5	733	520
計	19	4,283	3,040

※補助率：71%（国50%、府21%）

成果・課題

渇水対策として、地域等で実施した応急ポンプ設置、稼働、見回りなどにかかった経費を支援し、営農負担の軽減を図ることができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	農林水産部
	款	06 農林水産業費	23,200千円	23,239千円	39千円	99.8 %		
	項	01 農業費				(参考)当初予算額	課	農業振興課
	目	05 新規就農者確保対策費				52,464千円		
	事業	01 新規就農者育成事業						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

目的

就農初期の農業者に資金や機械導入等を支援し、新規就農者の確保・育成を図る。

主な財源

府補	就農研修資金償還金助成事業費補助金（1/2）	240千円
府補	農業次世代人材投資事業費補助金（10/10）	2,166千円
府補	新規就農者育成総合対策事業費補助金（3/4･10/10）	20,408千円

主要な事務・事業の概要

○新規就農者育成事業　23,200千円

・農業次世代人材投資資金交付金（経営開始型）　2,166千円

全期交付	1,200千円／年	× 1人	＝	1,200千円
半期交付	511千円／年	× 1人	＝	511千円
半期交付	455千円／年	× 1人	＝	455千円

・農業経営開始資金交付金　12,000千円

全期交付	1,500千円／年	× 8人	＝	12,000千円

・農業経営発展支援事業補助金　3,750千円

	3,750千円	× 1人	＝	3,750千円

・農業次世代人材投資事業推進事務経費　4,804千円

事務用品･通信運搬費	65千円
会計年度任用職員任用経費	4,739千円

農業次世代人材投資事業推進員（2人）
（報酬、期末手当、共済費、費用弁償）

・新規就農研修資金償還金助成　480千円

償還条件：償還期間は就農後10年（うち据置5年）、5年均等償還

支給要件：償還期間中は就農（雇用による就農は除く）していること

助成対象者：1人

成果・課題

○青年就農者に対して交付金・補助金を交付することにより、就農初期の資金や機械導入を支援し、経営不安の軽減と営農に専念できる環境を整えることができた。

○関係機関と連携して営農指導・支援を行い、経営の安定化や認定農業者への経営発展を図る必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	9,396千円	9,396千円	0千円	100.0 %	部	農林水産部
	項	01 農業費				(参考)繰越予算額	課	農業振興課
	目	05 新規就農者確保対策費				9,396千円		
	事業	01 新規就農者育成事業（繰越）						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

目的	主な財源
就農初期の農業者に機械導入等を支援し、新規就農者の確保・育成を図る。	府補　新規就農者育成総合対策事業費補助金（10/10）　9,396千円

主要な事務・事業の概要

○農業経営発展支援事業補助金　9,396千円

1,269千円	× 1人	＝	1,269千円
3,147千円	× 1人	＝	3,147千円
1,896千円	× 1人	＝	1,896千円
3,084千円	× 1人	＝	3,084千円

成果・課題

○青年就農者に対して補助金を交付することにより、就農初期の機械や施設導入等を支援し、就農計画の達成に向けた条件を整えることができた。
○関係機関と連携して営農指導・支援を行い、経営の安定化や認定農業者への経営発展を図る必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	34千円	34千円	0千円	100.0 %	部	農林水産部
	項	01 農業費				(参考)当初予算額	課	農業振興課
	目	06 畜産業費				34千円		
	事業	50 畜産振興一般経費						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

目的	主な財源
円滑な畜産行政事務及び畜産振興の推進を図る。	

主要な事務・事業の概要

飼育状況調査の実施や家畜防疫等、畜産振興に必要な事務を実施した。

○消耗品費　4千円

○京都府畜産振興協会会費　30千円

成果・課題

畜産行政事務を適切に行い、畜産振興の推進を図ることができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	18,760千円	18,760千円	0千円	100.0 %	部	農林水産部
	項	01 農業費				(参考)当初予算額	課	農林整備課
	目	07 農地費				19,900千円		
	事業	01 小規模農業基盤整備事業						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

目的

農地、農業用施設の保全を図るため、農業用施設の改修を行うとともに、地区又は農業を営む者で組織する団体が行う小規模な整備事業に要する費用を支援する。

主な財源

分担金	小規模農業基盤整備事業分担金	1,086千円
市債	小規模基盤整備事業債（緊急自然災害防止対策事業債）	17,300千円

主要な事務・事業の概要

○工事請負費　18,414千円

地区	事業内容	事業費（千円）
大宮町善王寺	用排水路改修　L=42m	3,619
大宮町五十河	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装　A=142㎡	2,937
丹後町平	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装　A=865㎡	4,642
久美浜町平田	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装　A=1,387㎡	7,216
合計		18,414

各地区及び農業団体が実施した小規模な農業用施設の維持管理に対して、機械借上代、原材料費を対象に補助金交付した。

○小規模土地改良事業補助金　346千円

補助率：　補助対象事業費の2/3

上限額：　補助対象事業費が原材料費又は機械経費　200千円

補助対象事業費が原材料費と機械経費　300千円

町　域	箇所	補助金額
網野町	1	46千円
丹後町	1	300千円
計	2	346千円

成果・課題

○大宮町善王寺の用排水路改修及び大宮町五十河、丹後町平、久美浜町平田の農道舗装により、農業用施設の長寿命化及び維持管理負担を軽減することができた。
○小規模土地改良事業補助金の交付により、農業用施設の復旧、維持管理を支援することができた。

予算科目		
	款	06 農林水産業費
	項	01 農業費
	目	07 農地費
	事業	02 農業競争力強化農地整備事業
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進

本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	農林水産部
41,365千円	53,375千円	12,010千円	77.4 %		
			(参考)当初予算額	課	農林整備課
			35,202千円		

目的

営農労力の省力化を図り、収益性の高い農業経営の実現を目指すため、ほ場の大区画化と用排水路等の改修を行う府営農業競争力強化農地整備事業を実施する。

主な財源

分担金	農業競争力強化農地整備事業分担金	14,175千円
府委	換地業務委託金	8,286千円
市債	農業競争力強化農地整備負担金事業債（過疎債）	18,900千円

主要な事務・事業の概要

府営農業競争力強化基盤整備事業に対し、負担金を支出した。また、京都府からの委託により、換地業務を行った。

○換地処理事務に係る経費 8,288千円

- 平田地区 委員謝金（14人） 265千円
- 平田地区 換地業務委託料 671千円
- 徳光地区 委員謝金（13人） 1,181千円
- 徳光地区 換地業務委託料 6,171千円

○府営農業競争力強化基盤整備事業負担金 33,077千円

地区名	府事業費（千円）	負担金（千円）			
		市(10%)	市(22.5%)	地元(7.5%)	計
上宇川	119,459	11,945	-	8,958	20,903
平田	13,637	1,363	-	1,022	2,385
徳光	55,944	5,594	-	4,195	9,789
計	189,040	18,902	-	14,175	33,077

【事業地区の状況】

上宇川地区	事業期間	平成29年度～令和10年度	整備面積	45.9ha
平田地区	事業期間	令和2年度～令和9年度	整備面積	39.7ha
徳光地区	事業期間	令和7年度～令和12年度	整備面積	34.7ha
関地区	令和8年度事業採択（予定）		整備面積	27.9ha
吉澤地区	令和10年度事業採択（予定）		整備面積	40.0ha

参考		
	繰越明許費を除いた最終予算額	41,365千円
	実質的な予算執行率	100.0%

■令和8年度への繰越事業 12,010千円

- 吉澤地区ほ場整備基本設計業務（令和9年3月完了予定） 12,010千円

成果・課題

○丹後町上宇川地区、徳光地区、久美浜町平田地区において、令和7年度に予定していたほ場整備工事等を実施することができた。
○弥栄町吉澤地区のほ場整備事業採択申請に向け、基本設計業務に着手した。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	3,960千円	4,000千円	40千円	99.0 %	部	農林水産部
	項	01 農業費				(参考)繰越予算額	課	農林整備課
	目	07 農地費				4,000千円		
	事業	02 農業競争力強化農地整備事業（繰越）						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						
目的		ほ場の大区画化と用水路等の改修を実施し、営農労力の節減と収益性の高い農業経営の実現を図る。	主な財源	府補　換地等調整補助金（10/10）				3,960千円

主要な事務・事業の概要

関地区のほ場整備事業実施に向けた換地等調整業務を行った。

○委託料　3,960千円

・関地区換地等調整業務　3,960千円

成果・課題

関地区の換地等調整業務が完了した。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	48,681千円	48,682千円	1千円	99.9 %	部	農林水産部
	項	01 農業費				(参考)当初予算額	課	農林整備課
	目	07 農地費				48,764千円		
	事業	03 土地改良施設維持管理適正化事業						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

主な財源

分担金	土地改良施設維持管理適正化事業分担金	2,616千円
諸収入	土地改良施設維持管理適正化事業費補助金	41,150千円

目的

老朽化した土地改良施設の適切な維持管理と農業経営の安定に資するため、造成した土地改良施設維持管理適正化事業資金を基に、計画的に施設を整備する。

主要な事務・事業の概要

○工事請負費 42,515千円

- 菅（奥山川）井堰改修 13,002千円
- 周枳（井溝）大井堰改修 6,006千円
- 国営三坂団地排水路改修 16,005千円
- 芋野揚水機改修 7,502千円

○土地改良施設維持管理適正化事業賦課金（9施設） 6,166千円

地区名	施設名	支払年度	工事実施年度	拠出額（千円）
峰山町菅	奥山川井堰	R7～R11	R7	915
大宮町河辺	松田排水路	R4～R8	R4	660
大宮町周枳	井溝大井堰	R6～R10	R7	396
大宮町三重	家の奥池	R7～R11	R8（予定）	198
大宮町三坂	国営三坂団地排水路	R7～R11	R7	1,126
網野町俵野	俵野畑かん施設	R5～R10	R8（予定）	957
弥栄町芋野	芋野揚水機場	R7～R11	R7	495
久美浜町三分	三分井堰	R3～R7	R5	363
久美浜町畑	畑貯水池	R6～R10	R9（予定）	1,056
			計	6,166

土地改良施設の適切な維持管理により、施設の長期有効利用と持続的な農業経営の安定を図るため、施設の診断指導を実施した。

【土地改良施設診断指導（7か所）】

- 峰山町　長岡（二箇水路）
- 大宮町　善王寺（善王寺取水ゲート）、延利（延利取水ゲート）
- 網野町　浜詰（浜詰畑かん）
- 丹後町　成願寺（大井堰揚水機）
- 弥栄町　鳥取（出合井堰･揚水機場）
- 久美浜町　海部（海土揚水機）

成果・課題

○土地改良施設維持管理適正化事業加入地区の事業実現に向け、必要な資金を賦課金として京都府土地改良事業団体連合会に拠出した。
○井堰、排水路及び揚水機の改修工事を実施し、農業用水の安定確保及び維持管理労力の軽減を図ることができた。
○適正な維持管理を目的に、5年以内に整備補修を行う事業であり、計画的な施設整備のため、今後も適正化事業への加入に向けた取組を検討していく必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	27,456千円	27,456千円	0千円	100.0 %	部	農林水産部
	項	01 農業費				(参考)当初予算額	課	農林整備課
	目	07 農地費				32,000千円		
	事業	04 農地耕作条件改善事業						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

目的

地域計画に基づき、効率的・持続可能な農業経営、地域保全を図る活動を支援するため、担い手農家集落等の農業用施設等を整備する。

主な財源

分担金	農地耕作条件改善事業分担金	4,541千円
府補	農地耕作条件改善事業補助金（6/10）	15,840千円
市債	農地耕作条件改善事業債（一般補助施設等整備事業債）	4,900千円

主要な事務・事業の概要

○工事請負費　27,456千円

地区名	事業内容	金　額
大宮町口大野	井堰改修　1式	27,456千円

成果・課題

農業用施設の改修により、施設管理の負担軽減、安定した用水確保等の営農基盤を整備できた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	農林水産部
	款	06 農林水産業費	58,300千円	60,790千円	2,490千円	95.9 %		
	項	01 農業費				(参考)繰越予算額	課	農林整備課
	目	07 農地費				60,790千円		
	事業	04 農地耕作条件改善事業（繰越）						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

主な財源		
分担金	農地耕作条件改善事業分担金	9,751千円
府補	農地耕作条件改善事業補助金（6/10）	35,998千円
市債	農地耕作条件改善事業債（合併特例債）	11,900千円

目的

地域計画に基づき、効率的・持続可能な農業経営、地域保全を図る活動を支援するため、担い手農家集落等の農業用施設等を整備する。

主要な事務・事業の概要

○工事請負費　58,300千円

地区名	事業内容	金　額
峰山町新治	用水路改修　L=78m	3,322千円
大宮町河辺	用排水路改修　L=101m	5,016千円
大宮町周枳	用排水路改修　L=271m	7,502千円
大宮町三重	農道舗装　L=368m	10,010千円
久美浜町芦原	揚水機場改修　1式	32,450千円
	計	58,300千円

成果・課題

農業用施設の改修により、施設管理の負担軽減、安定した用水確保等の営農基盤を整備できた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	13,013千円	35,040千円	22,027千円	37.1 %	部	農林水産部
	項	01 農業費				(参考)当初予算額	課	農林整備課
	目	07 農地費				38,000千円		
	事業	05 農業水路等長寿命化事業						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

目的

農業水路等の長寿命化を図り、持続可能な農業生産・農業経営のための基盤整備を行う。

主な財源

分担金	農業水路等長寿命化･防災減災事業分担金	1,535千円
府補	農山漁村地域整備交付金（7/10）	8,750千円
市債	農業水路等長寿命化･防災減災事業債（公共事業等債）	2,200千円

主要な事務・事業の概要

○工事請負費　13,013千円

地区名	事業内容	金　額
弥栄町芋野	用水管改修　1式	396千円
久美浜町神崎	井戸ポンプ2か所・用水路L=60m	12,617千円
	計	13,013千円

参考		
	繰越明許費を除いた最終予算額	13,013千円
	実質的な予算執行率	100.0%

■令和8年度への繰越事業（令和9年3月完了予定）　22,027千円

地区名	事業内容	金　額	備考
峰山町荒山	八の丸井堰機能保全計画策定	10,000千円	委託料
大宮町善王寺	上河原井堰機能保全計画策定	10,000千円	
弥栄町芋野	水管橋　1式	2,027千円	工事請負費

成果・課題

○久美浜町神崎地区の揚水ポンプ及び用水路の長寿命化工事が完了し、施設管理の負担軽減や安定した用水確保等の営農基盤を整備できた。
○弥栄町芋野地区の用水管の一部改修が完了した。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	159,142千円	165,210千円	6,068千円	96.3 %	部	農林水産部
	項	01 農業費				(参考)繰越予算額	課	農林整備課
	目	07 農地費				165,210千円		
	事業	05 農業水路等長寿命化事業（繰越）						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

目的

農業水路等の長寿命化を図り、持続可能な農業生産・農業経営のための基盤整備を行う。

主な財源

分担金	農業水路等長寿命化･防災減災事業分担金	25,131千円
府補	農業水路等長寿命化･防災減災事業補助金（6/10）	36,000千円
府補	農山漁村地域整備交付金（7/10）	90,020千円
市債	農業水路等長寿命化･防災減災事業債（合併特例債）	7,500千円

主要な事務・事業の概要

○委託料　1,741千円

・網野町俵野揚水機場建屋設計業務　1,741千円

○工事請負費　157,401千円

地区名	事業内容	金　額
弥栄町黒部	揚水機場　A=20.6㎡、吸水槽　1か所	39,099千円
	用水管・用水路　L=493m	23,533千円
	揚水機　1式	36,509千円
網野町俵野	揚水機場　1式	46,750千円
	揚水機場改築　1式	11,510千円
	計	157,401千円

成果・課題

老朽化した黒部揚水機・用水路及び俵野揚水機の長寿命化工事が完了し、施設管理の負担軽減や安定した用水確保等の営農基盤を整備できた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	48,399千円	48,422千円	23千円	99.9 %	部	農林水産部
	項	01 農業費				(参考)当初予算額	課	農業振興課
	目	07 農地費				48,422千円		
	事業	06 構造改革促進事業						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

目的	久美浜町女布地区の圃場整備事業が令和5年度に完了したことから、取組団体に促進費を交付し、負担軽減を図る。
主な財源	府補　構造改革推進事業補助金（10/10）　48,399千円

主要な事務・事業の概要

○中心経営体農地集積促進事業補助金　48,399千円

- 総額：48,399千円
- 交付先：女布地区土地改良組合

※久美浜町女布地区の圃場整備事業が令和5年度に完了し、担い手への農地集積（75%以上）を達成したことから負担した経費を支援するもの。

総事業費の7.5%：51,968千円　①
減免額：3,569千円　②
48,399千円（①-②）を地元に交付

【事業概要】
工期：平成26年～令和5年
総事業費：692,925千円
農用地面積：26.5ha

成果・課題

農業従事者の減少や高齢化が進む中、効率的かつ安定的な農業経営の体制を整備するため、担い手農家への農地集積を行うことができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	4,530千円	4,557千円	27千円	99.4 %	部	農林水産部
	項	01 農業費				(参考)当初予算額	課	農林整備課
	目	07 農地費				5,954千円		
	事業	50 農地一般経費						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

目的

農業農村整備事業を円滑に推進するための施設管理・研修・支援及び京都府土地改良事業団体連合会への負担金等の一般経費

主な財源

主要な事務・事業の概要

○会計年度任用職員任用経費（事務補助1人）	1,045千円
○職員旅費	157千円
○消耗品費（参考図書、コピー代）	358千円
○役務費（通信運搬費等）	6千円
○使用料及び賃借料	833千円
・ソフトウェア使用料（CADソフト）	330千円
・土木積算システム借上料	421千円
・有料道路通行料、駐車場使用料	82千円
○負担金、補助及び交付金	2,131千円
・尾和用水路設備管理費負担金（丹後町）	764千円
・防潮樋門電気代負担金（久美浜町川崎川、村前川）	139千円
・各種大会等参加負担金	122千円
・京都府土地改良事業団体連合会賦課金	938千円
・丹後土地改良区賦課金	83千円
・農道台帳管理負担金	85千円

成果・課題

施設管理・支援事業を行うことで、農業農村整備事業を円滑に推進することができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	農林水産部
	款	06 農林水産業費	63,275千円	63,276千円	1千円	99.9 %		
	項	01 農業費				(参考)当初予算額	課	農業振興課
	目	08 農地利用推進費				71,593千円		
	事業	01 中山間地域等直接支払制度事業						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

目的

中山間地域等において、農業生産活動等の維持を通して耕作放棄地の発生を防止し、農業・農地の多面的機能を確保する取組を支援する。

主な財源

府補　中山間地域等直接支払制度事業費補助金（3/4･10/10）　47,588千円

主要な事務・事業の概要

耕作放棄地の増加等に伴う農業・農地の多面的機能の低下が特に懸念される中山間地域等において、農振農用地区域内の1ha以上の農地を対象とした5か年（令和7年度～令和11年度）の協定を基に、中山間地域等に直接交付金を交付した。

○中山間地域等直接支払制度推進事業事務経費　529千円

- 消耗品費　274千円
- 燃料費　77千円
- 通信運搬費　26千円
- 傾斜測定システム使用料　152千円

○中山間地域等直接支払制度事業補助金（本体＋加算金）　62,746千円

	集落協定数/面積		個別協定数/面積		交付額（本体+加算）
峰山町	4	38.6ha	—	—	5,659千円
大宮町	7	42.9ha	—	—	8,435千円
網野町	3	10.5ha	1	3.7ha	2,723千円
丹後町	7	48.6ha	—	—	7,749千円
弥栄町	3	28.1ha	—	—	4,477千円
久美浜町	21	187.7ha	—	—	33,703千円
合計	45	356.4ha	1	3.7ha	62,746千円

成果・課題

○農業生産条件の不利地域である中山間地域等において、協定農用地を設定することにより、将来に向けた耕作放棄地の発生防止等に取り組む体制づくりを進めることができた。
○集落協定を支える農業者の高齢化や後継者不足により、将来的な協定農用地の維持が困難になってきていることから、非農家も含め集落ぐるみで農地を守る体制を強化していく必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	
	款	06 農林水産業費	25,047千円	25,124千円	77千円	99.6 %	部	農林水産部
	項	01 農業費				(参考)当初予算額	課	農業振興課
	目	08 農地利用推進費				3,030千円		
	事業	02 地域計画推進事業						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

主な財源		
府補	機構集積協力金交付事業費補助金（10/10）	22,101千円
諸収入	農地中間管理機構事業等業務委託金	2,804千円

目的

地域農業の将来の方向性等を集落や地域（国営団地等）で話し合い、担い手農家（認定農業者、集落営農組織等）への農地集積を促進し、地域農業の体質強化を図ることを目的とした「地域計画」の実現に向けた取組を推進する。

主要な事務・事業の概要

○農地中間管理事業受託事務経費 4,556千円
- 会計年度任用職員任用経費（1人･事務補助） 4,254千円
- 旅費、駐車場使用料 11千円
- 消耗品費 291千円

※受託事務：借入予定農地の調査、借受希望農地リストの作成、農用地利用集積計画案の作成等

○機構集積協力金交付事業 20,349千円
- 地域集積協力金交付事業交付金

自ら定めた「地域計画」に基づき、農地中間管理機構に農地を貸し付けた地域に、貸付割合に応じて協力金を交付

※協力金交付地域･面積：2地域、59.8ha

○地域計画変更に係る事務経費 142千円
- 消耗品費（事務用品等） 76千円
- 修繕料（大判プリンター） 66千円

成果・課題

○地域集積協力金の活用及び地域との土地利用調整を適正に行い、農地中間管理機構への農地貸し出しを推進することにより、担い手への農地集積を図ることができた。
○地域計画の実現に向けて、「農地中間管理機構」と連携して土地の利用調整を効率的に進めていく必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	農林水産部
	款	06 農林水産業費	246,497千円	246,603千円	106千円	99.9 %		
	項	01 農業費				(参考)当初予算額	課	農林整備課
	目	08 農地利用推進費				216,193千円		
	事業	03 多面的機能支払交付金事業						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

目的

農地や農業用水等の保全のため、地域の共同活動による農業用施設の機能維持及び長寿命化のための補修や更新等を行う農業者団体等へ支援を行う。

主な財源

府補	多面的機能支払交付金（3/4）	182,727千円
諸収入	過年度多面的機能支払交付金返還金	2,247千円

主要な事務・事業の概要

○多面的機能支払交付金事業活動推進費 7,072千円

事業の推進及び実施状況確認事務

- 会計年度任用職員任用経費（2人） 5,927千円
- 旅費、需用費（消耗品費、リース車燃料代） 510千円
- 役務費（通信運搬費） 83千円
- 使用料及び賃借料（自動車借上料） 552千円

○多面的機能支払交付金（負担率：国1/2、府1/4、市1/4） 237,178千円

- 農地維持支払　93組織 82,044千円
- 資源向上支払（共同活動）　88組織 48,774千円
- 資源向上支払（施設の長寿命化）　86組織 103,879千円
- 広域化加算　1組織（久美浜二区広域協定） 40千円
- みどり加算　9組織 2,441千円

○過年度府支出金返還金 2,247千円

- 協定農用地面積の減少に伴い発生した交付金の返還（該当：19組織）

〈参考〉令和7年度の取組状況

峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計
12組織	7組織	12組織	9組織	10組織	43組織	93組織

※広域活動組織 4組織（大宮町広域協定、久美浜二区広域協定、弥栄町鳥取校区広域協定、黒部校区活動組織）

※令和7年度　新規活動組織　2組織（峰山町橋木、網野町加茂川）

成果・課題

○活動組織が、農業用施設の維持、整備や環境保全の強化等の活動を行うことにより、多面的機能の保全に寄与した。
○高齢化や人材不足により、共同活動や各種事務書類作成が困難な組織も増加傾向にあることから、地域間連携を進める「組織の広域化」の推進等により、農業関係人口を拡大する取組が必要である。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	10,190千円	10,190千円	0千円	100.0 %	部	農林水産部
	項	01 農業費				(参考)当初予算額	課	農業振興課
	目	08 農地利用推進費				10,000千円		
	事業	04 集落連携100ha農場づくり事業						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

目的	主な財源	
単一集落の範囲を越えた大規模で効率的な共同活動によって営農体制及び農地管理体制を強化し、持続可能な集落営農を実現するための取組を支援する。	府補	集落連携100ha農場づくり事業補助金（10/10） 10,190千円

主要な事務・事業の概要

○集落連携100ha農場づくり事業補助金

【収益力強化整備事業】

- 対象者：海部地域農業連携協議会
- 補助対象経費：農産物生産用機械
  （コンバイン、トラクター、乾燥機、色彩選別機　各1台）
- 総事業費：21,011千円
- 補助額：9,790千円（補助対象経費1/2以内　上限10,000千円）
- 主な取組内容：集落間連携による広域営農体制の構築による持続可能な地域農業の実現を目指した革新計画書に基づき、農産物生産機械の導入を支援。

【新規作物導入推進事業】　400千円

- 対象者：海部地域農業連携協議会
- 補助対象経費：新規導入作物の試験栽培に要する経費（玉ねぎの試験栽培）
- 総事業費：841千円
- 補助額：400千円（補助対象経費1/2以内　上限400千円）
- 主な取組内容：集落間連携による広域営農体制の構築による持続可能な地域農業の実現を目指した革新計画書に基づき、収益力強化に資する新規導入作物試験栽培の取組を支援。

成果・課題

○収益力強化に資する農産物生産用機械の整備を支援することにより、持続可能な営農体制を推進することができた。
○集落間連携による広域的営農体制の構築による持続可能な地域農業の実現と、新規作物の導入に向けて試験栽培ができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	90千円	90千円	0千円	100.0 %	部	農林水産部
	項	01 農業費				(参考)当初予算額	課	農林整備課
	目	09 農村防災･減災対策費				4,000千円		
	事業	01 ため池等整備事業						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

目的

地震豪雨耐性評価、ため池劣化状況評価により決壊の可能性が高い防災重点ため池等の改修工事を行い、ため池下流域の住民の安全・安心を確保する。

主な財源

府補　農村地域防災減災事業補助金　90千円

主要な事務・事業の概要

○委託料　90千円

・福井谷池基本設計業務（峰山町荒山）　90千円

（繰越予算との合算契約）

＜京丹後市内の農業用ため池数（令和7年末）＞

農業用ため池	175 池
うち防災重点ため池	58 池

・防災重点ため池改修予定

徳良大池、徳良三津池、福井谷池　3池

成果・課題

福井谷池改修に向けた基本設計業務を完了した。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	24,044千円	25,000千円	956千円	96.1 %	部	農林水産部
	項	01 農業費				(参考)繰越予算額	課	農林整備課
	目	09 農村防災･減災対策費				25,000千円		
	事業	01 ため池等整備事業（繰越）						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

目的	主な財源
地震豪雨耐性評価、ため池劣化状況評価により決壊の可能性が高い防災重点ため池等の改修工事を行い、ため池下流域の住民の安全・安心を確保する。	府補　農村地域防災減災事業補助金　24,000千円

主要な事務・事業の概要

○委託料　24,044千円

・福井谷池基本設計業務（峰山町荒山）　24,044千円

（現年予算との合算契約）

成果・課題

福井谷池改修に向けた基本設計業務を完了した。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	29,326千円	39,520千円	10,194千円	74.2 %	部	農林水産部
	項	01 農業費				(参考)繰越予算額	課	農林整備課
	目	09 農村防災･減災対策費				39,520千円		
	事業	02 農業用施設防災減災事業（繰越）						
まちづくり27の施策		07 災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり						

目的

農業環境等の変化により農業用ため池として利用されなくなった防災重点ため池等の貯留機能を廃止（廃池）し、下流住民への想定被害を除去し、住民の安全･安心を確保する。

主な財源

府補　農業水路等長寿命化･防災減災事業補助金　29,305千円

主要な事務・事業の概要

○委託料　10,021千円

・ため池ハザードマップ作成業務（8池）　10,021千円

○工事請負費　19,305千円

・金比羅池廃池工事（峰山町杉谷）　19,305千円

＜京丹後市内の農業用ため池数（令和7年末）＞

農業用ため池	175 池
うち防災重点ため池	58 池

・防災重点ため池（ハザードマップ作成済み）　57池

※残りの1池については、廃池予定のため、ハザードマップ未作成

成果・課題

○市内防災重点ため池のハザードマップ作成が完了した。
○金比羅池廃池工事が一部完了した。（令和8年度に水路工事を実施し完了予定）

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	
款	06 農林水産業費						部	農林水産部
項	02 林業費					97.5 %		
目	01 林業総務費		4,947千円	5,070千円	123千円	(参考)当初予算額	課	農林整備課
事業	50 林業総務一般経費					6,307千円		
まちづくり27の施策	19 持続可能な農林業の推進							

目的

林業振興の推進に必要な経常経費及び京都府林業振興会への負担金の支出により林業振興を図るとともに、林業共済の加入や労働環境の改善を支援し、林業労働者の福祉の向上と長期に就労する担い手の確保及び定着を推進する。

主な財源

府補	緑の担い手育成事業費補助金（1/2、2/3）	194千円
府補	林業労働者新共済事業費補助金（1/2）	113千円

主要な事務・事業の概要

○会計年度任用職員任用経費（事務補助1人） 3,232千円

○需用費（参考図書、燃料費） 62千円

○使用料及び賃借料（有料道路通行料） 8千円

○負担金等 455千円

- 京都府林業振興会会費 30千円
- 京都府林業振興会負担金 425千円

○林業労働者新共済事業補助金 899千円

補助対象：（公社）京都府林業労働支援センター

事業区分	就労者数	延べ日数	事業費	補助単価	補助金
長期事業	12人	3,284日	2,693千円	205円	673千円
退職金助成事業	13人	3,220日	1,513千円	70円	226千円
合　計			4,206千円		899千円

○緑の担い手育成事業補助金 291千円

補助対象：丹後地区森林組合

事業区分	事業費	補助率	補助金
就労環境改善支援事業	291千円	10/10	291千円

※就労環境改善支援事業については、事業費が林業労働者の前年度総賃金の16.5/1000を超えない場合、事業費と同額を補助

（前年度総賃金：35,870千円×16.5/1000＝591千円）

成果・課題

○林業労働者の確保及び地域林業の振興に寄与した。
○森林の維持管理を担う森林組合の基幹的作業員の福利厚生を充実させることができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	農林水産部
	款	06 農林水産業費						
	項	02 林業費	77,594千円	77,704千円	110千円	99.8 %		
	目	02 有害鳥獣対策費				(参考)当初予算額	課	農林整備課
	事業	01 有害鳥獣対策事業				80,978千円		
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

目的

鳥獣被害防止計画に基づき有害鳥獣対策を実施する。

主な財源

手数料	有害鳥獣捕獲班員証明手数料	12千円
手数料	有害鳥獣捕獲等参加証明手数料	5千円
府補	きょうと地域連携交付金	310千円
府補	有害鳥獣捕獲関係事業費補助金（1/2、定額）	37,134千円
諸収入	市有自動車損害共済金	177千円

主要な事務・事業の概要

【捕獲対策事業】 76,959千円

猟友会に有害鳥獣捕獲業務を委託するとともに、鳥獣被害対策実施隊の編成及び狩猟期間中の府のシカ捕獲強化事業と一体化して捕獲事業を実施し、併せて狩猟免許取得等の支援を行い、捕獲班員の確保を図った。

○鳥獣被害対策実施隊設置経費（隊員報酬 30人、費用弁償） 521千円

○シカ捕獲奨励金（88人） 3,144千円

○需用費（サル餌、捕獲用消耗品、公用車燃料・修繕等） 609千円

○有害鳥獣捕獲委託料 71,747千円

（単位：頭、羽）

年度	イノシシ	シ カ	サ ル	小動物	鳥 類	合 計
R7	784	4,040	0	197	68	5,089
R6	1,007	4,014	10	315	347	5,693

○捕獲班員確保のための支援補助金 320千円

- 狩猟免許取得奨励（1/2補助、交付者11人） 60千円
- 猟銃購入費（1/2補助、交付者1人） 91千円
- 猟銃所持許可更新料（1/2補助、交付者9人） 88千円
- 埋設処分地造成費（1/2補助、交付者3人） 81千円

○緊急銃猟補償費用保険料 76千円

○その他経費（公用車車検時手数料、自賠責保険料等） 55千円

○京丹後市野生鳥獣被害対策協議会負担金 487千円

協議会事業の内容	事業費	市負担分
大型捕獲檻等維持修繕・通信費	469千円	469千円
簡易無線機電波利用料	18千円	18千円

【防除対策事業】 635千円

集落ぐるみの追い払い活動を支援するため、サルの追い払い資材を支給し、サル位置情報システムの活用を図るとともに、地区や個人が行う防除施設の整備を支援した。

○地区配付追払用資材（煙火等） 120千円

○サルGPSクラウドサービス使用料 297千円

○有害鳥獣防除施設費補助金（5件、L=360m） 218千円

成果・課題

○イノシシ、シカ等の捕獲を継続実施することで、鳥獣被害の軽減につながった。更なる捕獲強化を図るため、引き続き捕獲班員への支援を継続し、農作物被害等を未然に防止する必要がある。
○追い払い活動、防除施設整備を継続支援することにより、農作物や生活環境への被害軽減につながった。引き続き、捕獲、防除、さらにエサとなる不要作物の除去等の啓発が必要である。
○サル位置情報システムを活用し、追い払い活動の支援を継続していく。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	11,119千円	11,164千円	45千円	99.5 %	部	農林水産部
	項	02 林業費				(参考)当初予算額	課	農林整備課
	目	02 有害鳥獣対策費				10,830千円		
	事業	02 猪･鹿肉処理施設運営管理事業						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

目的

猪・鹿肉処理施設「京たんごぼたん・もみじ比治の里」の維持管理運営経費

主な財源

繰入金	過疎地域振興基金繰入金	7,500千円
諸収入	猪･鹿肉精肉販売代金	1,324千円

主要な事務・事業の概要

○施設管理運営経費	11,119千円
・消耗品費、公用車燃料代等	389千円
・電気代、電話代	1,646千円
・熟成室冷蔵設備補修、事務室エアコン取替	216千円
・公用車12か月点検整備	40千円
・浄化槽法定検査手数料及び維持管理委託料	233千円
・水質検査手数料、貯水槽保守点検委託料	91千円
・大腸菌等検査手数料	12千円
・処理施設運営管理委託料	8,115千円
・病害虫防除委託料	35千円
・金属検出機等保守点検委託料	223千円
・施設用地賃借料	105千円
・玄関マット借上料	14千円

＜イノシシ、シカ処理頭数＞ （単位：頭）

区　分	R4	R5	R6	R7
イノシシ	-	-	-	-
シカ	840	735	779	742
合　計	840	735	779	742

※イノシシについては、豚熱の影響により受け入れを停止しているため、処理頭数はゼロとなっている。

成果・課題

シカを搬入処理することで、捕獲班員の個体埋設労務に対する負担を軽減することができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	4,033千円	4,034千円	1千円	99.9 %	部	農林水産部
	項	02 林業費				(参考)当初予算額	課	農林整備課
	目	03 森林整備費				7,010千円		
	事業	02 治山･適正管理事業						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

主な財源

府補	要適正管理森林等災害予防事業補助金（10/10）	1,006千円
府委	治山･適正管理事業委託金（10/10）	3,027千円

目的

災害要因の除去、被災現場の復旧等を通して、山林の適正管理を行うとともに災害の未然防止を図る。

主要な事務・事業の概要

○需用費（光波測距儀用プリズム） 57千円

○委託料 2,970千円

・久美浜町佐野地内治山工事　測量設計業務

○要適正管理森林等災害予防事業補助金　※補助率：1/2 1,006千円

実施主体	事業内容	事業費	補助金額
峰山町1区	危険木伐採（11本）	1,014千円	506千円
峰山町二箇区	危険木伐採（15本）	1,000千円	500千円
計		2,014千円	1,006千円

成果・課題

○久美浜町佐野地内で、治山工事にかかる測量設計を行うことができた。
○危険木を未然に伐採することにより、立木の倒壊等による人家への被害防止を図ることができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	21,113千円	21,164千円	51千円	99.7 %	部	農林水産部
	項	02 林業費				(参考)当初予算額	課	農林整備課
	目	03 森林整備費				25,180千円		
	事業	03 林道等施設管理事業						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

主な財源

負担金	丹後縦貫林道維持管理負担金	1,284千円
繰入金	森林環境譲与税基金繰入金	11,141千円

目的

林道の適正な維持管理を行うことにより、森林資源の活用保全に資する森林内作業を容易にし、森林機能の確保を図る。

主要な事務・事業の概要

○需用費 883千円
- 丹後縦貫林道（奥寄線）、磯砂線、ミソン谷線修繕 883千円
  （側溝清掃、倒木処理等）

○委託料 12,428千円
- 治山･林道積算システム保守管理委託料等 937千円
- 丹後縦貫林道維持管理業務委託料 7,931千円
  （大鼓山線、奥寄線、大内線）
- 橋梁点検業務委託料（峰山町6件、丹後町3件、弥栄町8件） 3,560千円

○使用料及び賃借料 220千円
- 製図支援ソフトウェア使用料 220千円

○工事請負費 3,842千円
- 丹後縦貫林道（太鼓山線）舗装修繕工事 3,842千円

○小規模林道整備事業支援補助金 3,740千円

補助率 ：補助対象事業費の10/10

補助上限：原材料又は機械経費のみの場合200千円
原材料及び機械経費の場合300千円

地域	箇所数	補助金額
峰山町	1	29千円
大宮町	1	115千円
網野町	1	297千円
弥栄町	2	599千円
久美浜町	11	2,700千円
合 計	16	3,740千円

成果・課題

○森林整備を行うために必要な林道の適正な維持管理や修繕工事を行い、民有林等の森林整備の実施に寄与するとともに、通行車両等の安全を確保することができた。
○地区が行う林道等の整備に対して、資材等を支援することで、早期に原状回復が図られ、林道の適正な維持管理と保全ができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	10,292千円	10,306千円	14千円	99.8 %	部	農林水産部
	項	02 林業費				(参考)当初予算額	課	農林整備課
	目	03 森林整備費				10,633千円		
	事業	04 松くい虫防除事業						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

主な財源

府補　松くい虫駆防除事業費補助金（3/4）　7,136千円

目的

松くい虫被害木を伐採・処分し被害の拡大防止を図るとともに、健全な松林を被害から守るため、地上散布及び樹幹注入による防除等を実施し、海岸防風林の機能確保及び風致景観等の保全を図る。

主要な事務・事業の概要

○需用費（消耗品費）　40千円

・アルミナンバープレート、ソーチェン他

○松くい虫防除委託料（委託先：丹後地区森林組合）　10,252千円

業務区分	事業実施場所	数量等	金額
防除事業（奨励・春期：無人ヘリ）	網野町掛津、遊	12.8ha	3,136千円
樹幹注入毎木調査	丹後町間人、尾和	252本	93千円
被害木毎木調査	網野町掛津、小浜、浜詰 丹後町間人、平 久美浜町葛野、箱石	701本	523千円
防除事業（健全化促進・秋期：樹幹注入）	丹後町間人、尾和	213本	4,696千円
防除事業（奨励・秋期：特別伐倒駆除）	丹後町間人、平 久美浜町湊宮	303本	1,804千円

※府補助率：3／4以内（奨励・健全化促進事業）　対象：指定松林等

成果・課題

○無人ヘリコプターによる薬剤散布や樹幹注入などの予防作業を実施するとともに、当年枯れの被害木の伐採及び処分を行い、松枯れ被害の拡大防止に努めた。

○松枯れ被害の多い地区については補植等を検討し、海岸沿いの防風林等の機能確保及び風致景観等の保全に努めていく必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	9,823千円	9,823千円	0千円	100.0 %	部	農林水産部
	項	02 林業費				(参考)当初予算額	課	農林整備課
	目	03 森林整備費				15,013千円		
	事業	05 市行造林事業						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

主な財源

府補	森林整備費補助金	6,228千円
財産収入	分収林売払収入	791千円

目的

計画的な保育施業の実施により、市行造林地における植栽木の財産造成と森林の有する公益的機能の維持増進を図る。

主要な事務・事業の概要

○委託料 660千円

・測量設計業務（峰山町赤坂、大宮町河辺、弥栄町吉沢） 660千円

○工事請負費 9,163千円

保育工事

地　区	工　種	事業量	事業費
峰山町赤坂	保育間伐	4.13ha	1,958千円
大宮町河辺	除伐	3.06ha	1,100千円
弥栄町吉沢	間伐	5.52ha	3,663千円
	作業道開設	532m	2,442千円
		計	9,163千円

※分収契約に基づき、市行造林契約地において計画的に保育施業を実施。

成果・課題

造林地の保育施業を計画的に行うことにより、植林の生長を促進し、財産価値を確保するとともに、水源涵養機能など森林の多面的機能の確保や地球温暖化防止に寄与した。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	42,347千円	42,347千円	0千円	100.0 %	部	農林水産部
	項	02 林業費				(参考)当初予算額		
	目	03 森林整備費				43,973千円	課	農林整備課
	事業	06 森林環境譲与税基金						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

目的

森林環境譲与税を財源とし、市内森林の環境整備の着実な実施に向けて森林環境譲与税基金へ積立を行う。

主な財源

財産収入　森林環境譲与税基金利子収入　84千円

主要な事務・事業の概要

○森林環境譲与税基金積立金　42,347千円

（単位：千円）

令和7年度譲与金 ①	利子収入 ②	事業充当額 ③	積立金額 ①+②−③
42,263	84	0	42,347

（参考）基金の状況　（単位：千円）

令和6年度末 現在高 ①	令和7年度中増減額			令和7年度末 現在高 ①−②+③+④
	繰入金 ②	積立金		
		利子収入分 ③	譲与金分 ④	
32,933	32,688	84	42,263	42,592

成果・課題

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	農林水産部
	款	06 農林水産業費	31,395千円	31,402千円	7千円	99.9 %		
	項	02 林業費				(参考)当初予算額	課	農林整備課
	目	03 森林整備費				34,033千円		
	事業	07 森林環境整備事業						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

目的

森林環境譲与税及び京都府豊かな森を育てる府民税を活用し、森林の整備、管理保全、担い手育成及び普及促進等の各種施策を通して森林環境整備に取り組むことにより、森林の有する公益的機能の維持増進を図るとともに森林経営管理制度の推進を図る。

主な財源

府補	豊かな森を育てる府民税市町村交付金	9,435千円
繰入金	豊かな森を育てる基金繰入金	413千円
繰入金	森林環境譲与税基金繰入金	21,547千円

主要な事務・事業の概要

○報償金　【所管：生活環境課】　22千円
- ブナ林観察会案内人等謝金（2人分、開催1回、参加者7人）

○職員旅費　306千円
○需用費（消耗品費、燃料費、修繕料）　399千円
○役務費（通信運搬費）　11千円
○森林環境整備委託料　14,338千円
- 森林資源未利用材搬出促進業務　498千円
- 搬出材木質資源化利用促進業務　1,201千円
- 森林経営管理意向調査実施計画策定業務　6,933千円
- 森林経営管理権集積計画案作成業務（上常吉）　1,821千円
- 地域木材普及促進業務　928千円
- 森林病害虫被害木緊急伐倒駆除業務　2,957千円

○使用料及び賃借料（自動車借上料、有料道路通行料等）　310千円
○工事請負費　488千円
- 丹後王国「食のみやこ」森林環境整備　488千円

○備品購入費　284千円
- 丹後王国「食のみやこ」昆虫館　室内木製遊具　284千円

○負担金　588千円
- UAV（ドローン）技能新規取得者研修受講料（2人分）　588千円

○森林環境整備促進対策事業補助金　14,649千円

事業区分	交付件数	補助金額	事業内容
森林整備等	1件	1,607千円	間伐：0.96ha 間伐材搬出：57.7㎥ 作業道開設　300m
安心安全森づくり	8件	1,752千円	危険木・支障木の除去:約99本
防災減災里山林整備	16件	8,000千円	竹林・里山整備（峰山町3件、大宮町7件、網野町4件、弥栄町2件）
森に入る環境づくり	1件	130千円	森林施業路整備65m
森林環境学習の推進	1件	96千円	森林学習、木製遊具作成
木材製品新規需要開拓	1件	64千円	展示会出展
林業経営体の育成	1件	3,000千円	林業機械リース
合計	29件	14,649千円	

成果・課題

○ブナ林観察会を通して、子どもから大人までが、身近な自然や地球環境を意識し、保全することの大切さを学ぶ機会を提供することができた。
○森林経営管理制度を推進するため、意向調査実施のための優先順位表を作成することができた。
○森林の整備や管理保全などの支援により、森林の有する公益的機能の維持増進を図ることができた。
○森林資源の搬出促進や資源化業務により、森林資源の有効利用を図ることができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	138千円	138千円	0千円	100.0 %	部	農林水産部
	項	02 林業費				(参考)当初予算額	課	農林整備課
	目	03 森林整備費				0千円		
	事業	08 豊かな森を育てる基金						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

主な財源

府補	豊かな森を育てる府民税市町村交付金	137千円
財産収入	豊かな森を育てる基金利子収入	1千円

目的

京都府豊かな森を育てる府民税市町村交付金を財源とし、市内森林整備等の着実な実施に向けて豊かな森を育てる基金へ積立を行う。

主要な事務・事業の概要

○豊かな森を育てる基金積立金　138千円

（単位：千円）

令和7年度市町村交付金 ①	利子収入 ②	事業充当額 ③	積立金額 ①+②−③
9,572	1	9,435	138

（参考）基金の状況　（単位：千円）

令和6年度末現在高 ①	令和7年度中増減額			令和7年度末現在高 ①−②+③+④
	繰入金 ②	積立金		
		利子収入分 ③	交付金分 ④	
413	413	1	137	138

成果・課題

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	1,739千円	1,743千円	4千円	99.7 %	部	農林水産部
	項	03 水産業費				(参考)当初予算額	課	海業水産課
	目	01 水産業総務費				1,577千円		
	事業	50 水産業総務一般経費						
まちづくり27の施策		20 つくり育てる漁業と「海業」の推進						

目的

施設等の維持管理と水産関連団体の活動を支援することにより、水産業務の円滑な推進及び水産振興を図る。

主な財源

主要な事務・事業の概要

○事務費及び施設管理経費 969千円
- 消耗品（漁港漁場関係図書･施設維持管理物品等） 108千円
- 公用車維持管理経費（2台分） 327千円
- 久美浜栽培漁業センター維持管理経費 534千円

○ソフトウェア使用料 110千円
- CADソフト

○水産関連団体への負担金及び補助金 660千円
- 京都府漁業者育成校「海の民学舎」負担金 430千円
  （新規就業者育成講座120千円、経営力向上講座310千円）
  ※11期生1名（令和7年4月入舎）
- 京都府漁港漁場協会負担金 200千円
- 京都府漁業士会補助金 30千円

成果・課題

京都府漁業者育成校「海の民学舎」の運営をはじめ、水産関係団体の活動を支援することで、新規漁業就業者や中核的担い手の育成、要望・研修活動等が活発に展開され、水産振興に寄与することができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	農林水産部
	款	06 農林水産業費	1,760千円	1,768千円	8千円	99.5 %		
	項	03 水産業費				(参考)当初予算額	課	海業水産課
	目	02 水産業振興費				1,761千円		
	事業	01 内水面漁業振興支援事業						
まちづくり27の施策		20 つくり育てる漁業と「海業」の推進						

目的

河川・湖の水産資源の増殖・確保を目的とする種苗放流事業及び水産業・漁村の多面的機能の発揮に資する地域の活動に対し補助金を交付する。

主な財源

府補　内水面漁業振興対策事業補助金　739千円

主要な事務・事業の概要

○河川種苗放流事業補助金　1,422千円

実施団体	実施場所	対象事業費	補助金額	放流魚種
野間漁業協同組合	野間川	1,688千円	1,036千円	アユ、ウナギ、アマゴ
上宇川漁業協同組合	宇川	499千円	319千円	アユ
京都府漁業協同組合	離湖	115千円	67千円	ウナギ、フナ
合　計		2,302千円	1,422千円	

※補助金額：市補助分（事業費の1／3以内）に府補助分を加算した額。

○水産多面的機能発揮対策事業補助金（補助率：3／10以内）　338千円

事業概要：河川清掃、水産多面的機能の理解増進に資する啓発イベント、モニタリング、河床耕うん、やなの設置

補助対象事業実施者：宇川のアユを増やす会

補助対象事業費：1,731千円

補助額：1,731千円（＝国1,055 千円＋府 338千円＋市 338千円）

成果・課題

○種苗放流事業の継続的支援により、自然環境の保全と河川資源の維持・増殖が図られ、水辺のレジャーの振興及び漁業活動の安定に寄与できた。
○内水面の漁業協同組合と地域住民等が連携した組織の活動を支援することで、漁場の環境保全や資源増殖に寄与した。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	
	款	06 農林水産業費	978千円	9,619千円	8,641千円	10.1 %		農林水産部
	項	03 水産業費				(参考)当初予算額	課	海業水産課
	目	02 水産業振興費				10,094千円		
	事業	02 漁業振興支援事業						
まちづくり27の施策		20 つくり育てる漁業と「海業」の推進						

目的

漁業経営の安定と水産資源の確保を図るため、府漁協等が実施する事業に対して補助金を交付する。
また、密漁防止対策として啓発看板を設置する。

主な財源

主要な事務・事業の概要

○種苗放流事業補助金（補助率：1／3以内） 744千円

実施団体	対象事業費	補助金額	放流魚種	
			日本海	久美浜湾
京都府漁業協同組合 丹後支所	598千円	199千円	アワビ サザエ	
京都府漁業協同組合 網野支所	727千円	242千円	アワビ サザエ	
京都府漁業協同組合 湊支所	909千円	303千円	アワビ サザエ	クロダイ
合　計	2,234千円	744千円		

○密漁防止啓発看板設置工事 234千円

設置場所：網野町塩江、久美浜町蒲井

参考		
	繰越明許費を除いた最終予算額	979千円
	実質的な予算執行率	99.9%

■令和8年度への繰越事業（令和8年6月完了）

・水産業強化支援事業補助金 8,640千円

浅茂川漁港内に設置している燃油補給施設の更新経費の一部を支援。

成果・課題

○種苗放流を支援することにより安定した漁業生産活動の確保に寄与できた。
○密漁防止啓発看板の設置により水産資源の保護に資することができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	農林水産部
	款	06 農林水産業費	488千円	521千円	33千円	93.6 %		
	項	03 水産業費				(参考)当初予算額	課	海業水産課
	目	02 水産業振興費				1,110千円		
	事業	03 海業推進事業						
まちづくり27の施策		20 つくり育てる漁業と「海業」の推進						

目的

「海業推進事業計画」に基づき海業の取組を推進し、地元水産物の地産地消・地産来消などの消費拡大や販売促進、漁村地域の活性化を図る。

主な財源

府補　きょうと地域連携交付金　200千円

主要な事務・事業の概要

○海業振興協議会開催経費（謝金・費用弁償）　27千円

開催1回、出席8名（委員12名中）、京丹後市域における海業の振興について協議

○ふるさと海づくり大会負担金　50千円

京都府内で開催されたイベントに水産業に関するブースを出展

日時	出展イベント	場所
R7.7.20	シロイカフェスティバル2025in網野	京丹後市
R7.8.2	中丹キッズジョブフェスタ	綾部市
R7.9.28	まいづる魚まつり	舞鶴市
R7.9.27-28	きょうと☆いきものフェス	京都市
R7.10.4-5	丹後まるごとあじわいマルシェ	京丹後市
R7.10.19	宮津産業フェスタ	宮津市
R7.11.9	伊根うみゃーもん祭	伊根町
R7.11.23	まるっぽ間人か～にバル	京丹後市
R7.11.29-30	京都府の農林水産フェスティバル2025	京都市
R8.2.11	環境フェスティバル	京都市

○海業振興事業補助金（補助率2／3以内）　411千円

漁業の振興及び漁村地域の活性化を図るとともに、ジオパークや四季の魅力を活かした「体験・滞在型の観光地」づくりを推進するため、新たな「海業」の取組を支援。

実施団体	事業内容	対象事業費	補助金額
網野遊漁船団	遊漁拠点づくり PRイベント	617千円	411千円

成果・課題

「第5次京丹後市海業推進事業計画」（計画期間：令和7年度～令和10年度）に基づき、海業の取組を支援することで、漁村地域の活性化に寄与できた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	551千円	551千円	0千円	100.0 %	部	農林水産部
	項	03 水産業費				(参考)当初予算額	課	海業水産課
	目	02 水産業振興費				551千円		
	事業	04 利子補給助成事業						
まちづくり27の施策		20 つくり育てる漁業と「海業」の推進						

目的

漁業者が経営安定を目的に借入れた漁業近代化資金及び平成29年台風21号により被災した漁具の復旧のため借入れた災害特別資金に対し、支払利子の一部を助成する。

主な財源

主要な事務・事業の概要

○漁業近代化資金利子補給金（一般融資分） 540千円

対象者	資金使途	借入額	利子補給額
法人	漁船購入	60,000千円	420千円
生産組合	冷海水装置購入	10,000千円	75千円
個人	ロープ購入	6,000千円	45千円
		合計	540千円

※利子補給対象期間：R7.1.1～R7.12.31

○漁業災害復旧資金利子補給金（平成29年台風21号災害特別資金） 11千円

対象者	資金使途	借入額	利子補給額
個人	漁網購入	3,000千円	11千円

※利子補給対象期間：R7.1.1～R7.12.31

成果・課題

漁業者等が借り入れた漁業近代化資金及び漁業災害復旧資金に対して利子補給を行うことで、漁業者等の投資負担の軽減につながった。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	1,308千円	1,309千円	1千円	99.9 %	部	農林水産部
	項	03 水産業費				(参考)当初予算額	課	海業水産課
	目	03 漁港管理費				2,162千円		
	事業	01 漁港維持管理事業						
まちづくり27の施策		20 つくり育てる漁業と「海業」の推進						

目的

漁業者の生産活動及び船舶の出入港時の安全を確保するため、漁港施設の維持管理を行う。

主な財源

主要な事務・事業の概要

○漁港施設維持補修経費 676千円
- 浅茂川漁港西第2防波堤標識灯修繕工事 330千円
- 浅茂川漁港係船環修繕工事 116千円
- 浜詰漁港（塩江泊地）船揚場維持修繕工事 230千円

○漁港区域管理委託料 302千円
- 浅茂川漁港環境用地他清掃等業務（A=9,500㎡） 215千円
- 浅茂川漁港区域内草刈業務（A=1,650㎡） 68千円
- 間人漁港漁船修理用地除草業務（A=732㎡） 19千円

○指向灯保守点検委託料 330千円
- 間人漁港指向灯保守点検業務

成果・課題

○漁港施設の維持修繕により、漁業者の安全・安心な漁業活動が維持できた。
○漁港内の安全性の確保及び漁業活動を維持するため、必要性・緊急性を考慮しながら維持管理を実施する必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	1,626千円	1,626千円	0千円	100.0 %	部	農林水産部
	項	03 水産業費				(参考)当初予算額	課	海業水産課
	目	03 漁港管理費				1,300千円		
	事業	02 漁港整備事業						
まちづくり27の施策		20 つくり育てる漁業と「海業」の推進						

主な財源

分担金	漁港整備事業分担金	81千円
府補	きょうと地域連携交付金	770千円

目的

漁港施設の改良・補修等を行うことにより、漁業者の就労環境の改善及び水産物の安定的な供給を図る。

主要な事務・事業の概要

○工事請負費 1,626千円

・遊漁港桟橋復旧工事（L=5.3m）

成果・課題

○漁業活動に必要となる漁港施設の整備により、漁業者が安全・安心で効率的な漁業活動を営むことができた。
○港勢要件により国府補助の対象とならない施設について、維持管理・老朽化対策が課題となっている。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	農林水産部
	款	06 農林水産業費	25,057千円	25,058千円	1千円	99.9 %		
	項	03 水産業費				(参考)当初予算額	課	海業水産課
	目	03 漁港管理費				24,759千円		
	事業	03 水産物供給基盤機能保全事業						
まちづくり27の施策		20 つくり育てる漁業と「海業」の推進						

主な財源		
分担金	水産物供給基盤機能保全事業分担金	420千円
府補	水産物供給基盤機能保全事業費補助金（2/3）	16,666千円
市債	漁港施設整備事業債（過疎債）	7,700千円

目的

経年劣化等により更新が必要な漁港施設について、長寿命化と更新コストの縮減を目的とした機能保全計画に基づき、改修工事等を計画的に実施する。

主要な事務・事業の概要

○工事請負費 25,057千円

- 浅茂川漁港臨港道路舗装修繕工事 20,422千円
  （A=車道部3,990㎡、歩道部390㎡）
- 浅茂川漁港臨港道路転落防止柵修繕工事（L=36m） 731千円
- 浜詰漁港（塩江泊地）第1船揚場改修工事（A=294㎡） 3,904千円
  全体事業費：9,905千円
  （繰越明許事業分6,001千円を含む）

成果・課題

機能保全計画に基づく計画的な工事実施により、漁港施設の長寿命化を図ることができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	6,001千円	6,001千円	0千円	100.0 %	部	農林水産部
	項	03 水産業費				(参考)繰越予算額	課	海業水産課
	目	03 漁港管理費				6,001千円		
	事業	03 水産物供給基盤機能保全事業（繰越）						
まちづくり27の施策		20 つくり育てる漁業と「海業」の推進						

主な財源		
分担金	水産物供給基盤機能保全事業分担金	100千円
府補	水産物供給基盤機能保全事業費補助金（2/3）	4,001千円

目的

経年劣化等により更新が必要な漁港施設について、長寿命化と更新コストの縮減を目的とした機能保全計画に基づき、改修工事等を計画的に実施し、漁港施設の長寿命化を図る。

主要な事務・事業の概要

○工事請負費 6,001千円

・浜詰漁港（塩江泊地）第1船揚場改修工事（A=294㎡） 6,001千円
全体事業費：9,905千円
（現年予算分3,904千円を含む）

成果・課題

機能保全計画に基づく計画的な工事実施により、漁港施設の長寿命化を図ることができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	10,506千円	10,506千円	0千円	100.0 %	部	農林水産部
	項	03 水産業費				(参考)当初予算額	課	海業水産課
	目	03 漁港管理費				10,500千円		
	事業	04 漁港施設機能強化事業						
まちづくり27の施策		20 つくり育てる漁業と「海業」の推進						

目的

漁港施設の機能強化を検討し必要な改修を行うことにより、漁港施設内の漁業活動及び漁船の停泊等の安全を確保する。

主な財源

府補　漁港施設機能強化事業補助金（2/3）　7,000千円

主要な事務・事業の概要

○調査委託料　10,506千円
- 浅茂川漁港静穏度解析検討業務　8,891千円
- 間人漁港中防波堤実施設計業務　1,615千円

全体事業費：12,115千円
（繰越明許事業分10,500千円を含む）

成果・課題

○浅茂川漁港内の静穏度を確保するための解析を行うことができた。
○間人漁港の中防波堤の延伸に向けた実施設計を行うことができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	10,500千円	10,500千円	0千円	100.0 %	部	農林水産部
	項	03 水産業費				(参考)繰越予算額	課	海業水産課
	目	03 漁港管理費				10,500千円		
	事業	04 漁港施設機能強化事業（繰越）						
まちづくり27の施策		20 つくり育てる漁業と「海業」の推進						

主な財源		
府補	漁港施設機能強化事業補助金（2/3）	7,000千円
市債	漁港施設整備事業債（過疎債）	3,500千円

目的

漁港施設の機能強化を検討し必要な改修を行うことにより、漁港施設内の漁業活動及び漁船の停泊等の安全を確保する。

主要な事務・事業の概要

○実施設計委託料　10,500千円

・間人漁港中防波堤実施設計業務
　全体事業費：12,115千円
　（現年予算分1,615千円を含む）

成果・課題

間人漁港の中防波堤の延伸に向けた実施設計を行うことができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	農林水産部
	款	11 災害復旧費	16,648千円	21,821千円	5,173千円	76.2 %		
	項	01 農林水産業施設災害復旧費				(参考)繰越予算額	課	農林整備課
	目	01 農地･農業用施設災害復旧費				21,821千円		
	事業	01 農地･農業用施設災害復旧事業（繰越）						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

目的

豪雨等により被災した農地及び農業用施設の機能回復を図る。

主な財源

分担金	農地･農業用施設災害復旧費分担金	154千円
府補	農地･農業用施設災害復旧費補助金	10,783千円
市債	農地･農業用施設災害復旧事業債	1,500千円

主要な事務・事業の概要

○職員手当（時間外勤務手当） 142千円

○需用費 （消耗品費、燃料費） 120千円

○工事請負費（災害復旧） 12,328千円

町 域	箇所	金額（千円）	町 域	箇所	金額（千円）
峰山町	-	-	丹後町	-	-
大宮町	4	3,297	弥栄町	-	-
網野町	-	-	久美浜町	4	9,031
			合 計	8	12,328

※農地 5か所、施設 3か所

○小規模災害復旧事業支援補助金 4,058千円

町 域	箇所	金額（千円）	町 域	箇所	金額（千円）
峰山町	2	180	丹後町	1	129
大宮町	1	70	弥栄町	3	1,108
網野町	3	709	久美浜町	8	1,862
			合 計	18	4,058

成果・課題

令和6年災害により被災した農地や農業用施設の機能回復を行うことで、農業生産の維持を図ることができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	款	02 総務費	111,989千円	111,989千円	0千円	100.0 %		
	項	01 総務管理費				(参考)当初予算額	課	商工振興課
	目	17 諸費				122,278千円		
	事業	07 原油価格･物価高騰対策支援給付金給付事業【再掲】						
まちづくり27の施策		18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興						

目的

エネルギー価格の高騰が続く中、エネルギー価格高騰対策支援給付金を支給し、市内事業者等の負担軽減と経営の安定化を図る。

主な財源

国補　物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金　111,900千円

主要な事務・事業の概要

○エネルギー価格高騰対策支援給付金　111,989千円

【対象経費】　事業の用に供する光熱費
（電気、ガス、ガソリン、軽油、灯油、重油及び混合油）

【対象者】　市内に事業所等を有する個人・法人（農林漁業者含む）

【対象期間】　令和7年1月～令和7年12月

【給付率等】

（1）事業所光熱費対策分

- 対象期間に支払った光熱費のうち任意に選択した3か月分の合計額の10%を交付
- 限度額：法人等：300千円、個人事業主等：100千円

（2）運輸車両等燃料費対策分

- 対象期間に支払った運輸車両の運行に要した燃料費の10%を交付
- 車両１台当たり限度額：普通自動車／30千円、小型自動車／25千円、軽自動車／5千円

【交付内訳】

所管	全体		内運輸車両等燃料費対策分	
	交付件数	交付額	交付件数	交付額
商工振興課	1,135件	90,086千円	30件	8,927千円
障害者福祉課	23件	3,075千円	19件	1,344千円
長寿福祉課	67件	10,210千円	45件	2,776千円
農業振興課	199件	7,889千円	0件	0千円
農林整備課	3件	460千円	0件	0千円
海業水産課	9件	269千円	0件	0千円
計	1,436件	111,989千円	94件	13,047千円

成果・課題

○原油価格・物価高騰に対して給付金を交付することにより、市内事業者及び市内農林漁業者等の負担軽減と経営の安定化を図ることができた。
○引き続き、市内の景況やエネルギー価格の動向に注視し、支援策について必要に応じて検討を行う。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	04 衛生費	1,280千円	1,381千円	101千円	92.6 %	部	健康長寿福祉部
	項	01 保健衛生費				(参考)当初予算額	課	健康推進課
	目	02 保健対策費				1,544千円		
	事業	01 健康づくり･食育推進事業【再掲】						
まちづくり27の施策		04 健やかで生きがいのある健康長寿のまちづくり						

主な財源		
府補	健康増進事業費等補助金（2/3）	142千円
府補	消費･安全対策交付金（1/2以内）	435千円
諸収入	京都府後期高齢者医療広域連合連携強化事業補助金（10/10）	11千円

目的

健康づくり推進員、食生活改善推進員の育成や養成を行い、健康づくりや食育の普及啓発にかかる地域活動等を支援することにより、市民主体の健康づくり及び生涯を通じた食育を推進する。

主要な事務・事業の概要

＜健康づくり事業＞ 332千円

①健康づくり推進員（第8期健康づくり推進員の育成・活動支援）

- 健康運動指導士謝金 32千円
- 健康づくり推進員活動費謝礼報償物品（3千円×39人） 117千円
- 消耗品費（用紙代） 27千円
- 通信運搬費（研修会案内等の郵便代ほか） 24千円

②歩いてすすめる健康づくり（Let'sチャレンジウォーキング）

- 消耗品費（啓発グッズほか） 132千円

＜食育推進事業＞ 948千円

①施策の方向Ⅰ「共食・朝ごはん・食事バランス」

〇食生活改善推進員養成講座(6回)、育成研修(5回)、伝達講習会(12回)

- 食生活改善推進員謝金 72千円
- 消耗品費（研修会材料代ほか） 66千円

〇朝ごはんノート等印刷代（保育所・こども園児童）【所管：こども未来課】

- 印刷製本費（朝ごはんノート、ランチョンマット） 103千円

②施策の方向Ⅱ「地産地消・食文化」

〇食育推進ネットワーク（関係機関・13団体、庁内7課で構成）

- 委員報償、費用弁償 37千円
- 通信運搬費（会議案内代） 2千円

〇食文化伝承推進事業（22回）

- 食生活改善推進員謝金 258千円
- 印刷製本費（資料） 29千円

〇お魚料理教室（小学校5年生）5回【所管：海業水産課】

- 漁協婦人部講師謝金 84千円
- 消耗品費（材料代ほか） 78千円
- 包丁研磨手数料 40千円

〇子どもクッキング（小学校低学年3回・高学年1回）【所管：子育て支援課】

- 栄養士謝金 19千円
- 消耗品費（案内用紙代ほか） 5千円

〇保育所、こども園での栽培体験【所管：こども未来課】

- 消耗品費（苗代ほか） 155千円

成果・課題

〇健康づくり推進員の地域活動支援により、市民が身近な場所で健康づくりの知識等を学ぶ機会となり、地域主体の健康づくり活動に繋がった。また「Let'sﾁｬﾚﾝｼﾞ ｳｫｰｷﾝｸﾞ」では、府のアプリの活用等により、幅広い世代の参加が促進され、運動習慣の定着と健康意識の向上につながった。
〇食生活改善推進員の養成により会員が10名増え、地域の食育活動の担い手が強化された。また学校や地域での食育支援や普及啓発により、幅広い世代への食に関する正しい知識の浸透と健康的な食生活への意識向上につながった。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	市民環境部
	款	04 衛生費	26,631千円	26,637千円	6千円	99.9 %		
	項	01 保健衛生費				(参考)当初予算額	課	生活環境課
	目	07 環境衛生費				34,306千円		
	事業	08 海岸漂着物対策推進事業【再掲】						
まちづくり27の施策		23 次世代への美しい自然環境の継承						

目的

海岸における良好な景観及び環境の保全を図るため、京都府の補助事業を活用し、地区等に委託して海岸漂着物の回収及び処理を行うとともに、発生抑制対策（ソフト事業）を実施することで、海洋汚染及び海岸漂着物対策を推進する。

主な財源

府補	きょうと地域連携交付金	10千円
府補	海岸漂着物地域対策推進事業補助金（8/10･10/10）	24,734千円

主要な事務・事業の概要

○海岸漂着物処理手数料 13,673千円
- 海岸漂着物処理量 162.83t

○環境保全負担金 163千円
- 市外の処理施設で処理する場合に必要となる受入先自治体への負担金

○海岸漂着物回収処理委託料（地元区、地元団体） 10,951千円
- 市管理海岸分（6海岸） 3,992千円
- 府管理海岸分（11海岸） 6,728千円
- 漂流ごみ（3漁港） 231千円

区分（担当課）	海岸名称
市管理海岸（観光振興課）	【網　野】琴引浜（掛津、遊） 【丹　後】砂方漁港海岸、竹野海岸、中浜海岸、袖志海岸 【久美浜】蒲井海岸
府管理海岸（観光振興課）	【網　野】浅茂川海岸、浜詰海岸、小浜海岸 【丹　後】後ヶ浜海岸、上野平海岸（上野､平）、久僧海岸 【久美浜】箱石湊宮葛野海岸
府管理海岸（管理課）	【丹　後】上向下向海岸、此代海岸、尾和海岸、岩田海岸
漂流ごみ（海業水産課）	【網　野】浜詰漁港、浅茂川漁港 【丹　後】間人漁港

○解体処分等作業委託料（廃船の解体・処分） 1,496千円

○海岸漂着物ボランティア清掃支援 32千円
- 回収漂着物運搬委託料（10件）

○海岸清掃及び環境学習 316千円
- バス運転委託料（市内中学校1年生　389人対象）

成果・課題

○市内17海岸及び3漁港での清掃活動及び、ボランティア清掃支援事業の実施により、市内の海岸美化を促進し、景観保護と環境保全に努めた。
○海岸ごみ拾いイベント等啓発事業の実施により、海ごみ問題の現状や課題を知る機会を提供し、環境保全の意識醸成につながった。
○事業継続のための財源確保に向けて、引き続き、国及び府に対して支援を求めていく必要がある。

【議案第93号】

令和7年度　一般会計決算附属資料

商工観光部　主要な施策の成果

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	款	02 総務費	111,989千円	111,989千円	0千円	100.0 %		
	項	01 総務管理費				(参考)当初予算額	課	商工振興課
	目	17 諸費				122,278千円		
	事業	07 原油価格･物価高騰対策支援給付金給付事業						
まちづくり27の施策		18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興						

目的

エネルギー価格の高騰が続く中、エネルギー価格高騰対策支援給付金を支給し、市内事業者等の負担軽減と経営の安定化を図る。

主な財源

国補　物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金　111,900千円

主要な事務・事業の概要

○エネルギー価格高騰対策支援給付金　111,989千円

【対象経費】　事業の用に供する光熱費
（電気、ガス、ガソリン、軽油、灯油、重油及び混合油）

【対象者】　市内に事業所等を有する個人・法人（農林漁業者含む）

【対象期間】　令和7年1月～令和7年12月

【給付率等】

（1）事業所光熱費対策分

- 対象期間に支払った光熱費のうち任意に選択した3か月分の合計額の10%を交付
- 限度額：法人等：300千円、個人事業主等：100千円

（2）運輸車両等燃料費対策分

- 対象期間に支払った運輸車両の運行に要した燃料費の10%を交付
- 車両１台当たり限度額：普通自動車／30千円、小型自動車／25千円、軽自動車／5千円

【交付内訳】

所管	全体		内運輸車両等燃料費対策分	
	交付件数	交付額	交付件数	交付額
商工振興課	1,135件	90,086千円	30件	8,927千円
障害者福祉課	23件	3,075千円	19件	1,344千円
長寿福祉課	67件	10,210千円	45件	2,776千円
農業振興課	199件	7,889千円	0件	0千円
農林整備課	3件	460千円	0件	0千円
海業水産課	9件	269千円	0件	0千円
計	1,436件	111,989千円	94件	13,047千円

成果・課題

○原油価格・物価高騰に対して給付金を交付することにより、市内事業者及び市内農林漁業者等の負担軽減と経営の安定化を図ることができた。
○引き続き、市内の景況やエネルギー価格の動向に注視し、支援策について必要に応じて検討を行う。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	05 労働費	5,578千円	5,579千円	1千円	99.9 %	部	商工観光部
	項	01 労働諸費				(参考)当初予算額	課	商工振興課
	目	01 労働諸費				7,915千円		
	事業	01 人材確保･就職促進対策事業						
まちづくり27の施策		18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興						

目的

京丹後市地域雇用促進協議会が実施する人材確保・就職促進のための事業に必要な費用の一部を負担し、市内事業所における人材の確保を支援する。また、資格取得等を目指す労働者や求職者及び職業訓練事業実施団体を支援し、雇用の安定化と就職促進を図るとともに、職場環境の整備を行う事業者を支援し、人手不足の解消を図る。

主な財源

諸収入　移住支援事業補助金返還金　450千円

主要な事務・事業の概要

○京丹後市地域雇用促進協議会負担金　400千円

【参考】雇用促進協議会 総事業費：　1,300千円

◆雇用促進事業、人材育成事業、運営経費等　1,128千円

・きょうたんご就職フェア（参加者52人、参加企業42社、内定者9人）

・高校生就職状況セミナー、情報交換会（地元高校7校、参加企業24社）

◆広報事業等　90千円

・協議会ホームページ運用･更新

◆研修事業費　82千円

・ふるさとバス運行費

【参考】市地域雇用促進協議会受託事業（厚労省委託事業）

R7委託総額　18,482千円

○事業費：2,639千円（合同企業説明会、事業所魅力向上セミナー等）

○人件費：1,906千円（事業推進員2人分）

○管理費：211千円（車両・パソコンリース、事務費等）

○丹後地域職業訓練協会運営費補助金　2,815千円

・職業訓練講座： 17講座22コース実施（R6：22講座26コース）

・受講者：延べ183人（市内147人）（R6：延べ228人、市内163人）

○職業能力向上支援補助金　423千円

・交付件数：55件（交付者数：42人）

【補助率】研修受講料の2分の1以内（上限額：年間2万円／人）

○企業人財確保支援事業補助金　50千円

・交付件数：1件（お試し就労人材確保事業）

【補助率】対象経費の1/2以内、上限50千円／1事業者

○はたらく女性活躍応援事業補助金　1,426千円

・交付件数：4件

【補助率】対象経費の1／2以内、上限500千円

○有料道路通行料・駐車場使用料　14千円

○過年度府支出金返還金（令和6年度移住支援事業補助金）　450千円

※令和6年度移住支援事業補助金の交付対象者が、申請日から1年以内に就業先を退職し、返還規定に該当したため。

成果・課題

○京丹後市地域雇用促進協議会の事業に対し負担金を支出し、雇用対策事業、人材育成事業等に取組むことで、企業等の人材確保を支援した。
○各種研修・職業訓練事業に対する支援を行い、労働者や求職者のスキルアップを図るとともに、求職者の就労を促すことができた。
○引き続き、地元求職者やＵＩＪターン希望者と企業のマッチングを図り、人材確保や就労を促進するため、地域雇用促進協議会の取組を支援する必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	07 商工費	1,566千円	1,645千円	79千円	95.1 %	部	商工観光部
	項	01 商工費				(参考)当初予算額	課	商工振興課
	目	01 商工総務費				2,221千円		
	事業	50 商工総務一般経費						
まちづくり27の施策		18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興						

目的	主な財源
商工行政を推進するために必要な一般経費及び公用車の維持管理費	

主要な事務・事業の概要

○旅費（近畿経済産業局派遣職員研修旅費）	106千円
○消耗品費等（事務用品等）	167千円
○公用車管理費（商工観光部管理台数：8台）	1,293千円
・燃料費	553千円
・修繕料	612千円
・手数料（自動車登録手数料、廃車手数料等）	54千円
・自賠責保険料	35千円
・テレビ受信料	12千円
・自動車重量税	27千円

成果・課題

公用車のメンテナンスや点検などを的確に行うことで、職員が業務に支障なく取り組めた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	07 商工費	72,082千円	72,187千円	105千円	99.8％	部	商工観光部
	項	01 商工費				(参考)当初予算額	課	商工振興課
	目	02 商工振興費				75,000千円		
	事業	01 商工会助成事業						

まちづくり27の施策	18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興
目的	京丹後市商工会が実施する小規模事業者のニーズに対応した経営指導及び相談対応事業、地域産業を総合的に振興する事業、織物指導等小規模生産基盤整備事業に対して支援を行い、本市商工業の総合的な振興・発展を図る。
主な財源	

主要な事務・事業の概要

○小規模事業経営支援事業費補助金　64,582千円

経営相談、金融斡旋、巡回指導及び小売商業振興事業など地域に密着した活動や事業を支援

・経営改善普及指導事業分　60,944千円

経営改善普及事業指導職員による小規模事業者への経営指導･相談事業

・地域総合振興事業分　3,638千円

市場開拓、機械金属販路開拓、小売商業振興等

○織物指導等小規模生産基盤整備事業補助金　7,500千円

丹後の織物技術を維持し製品の品質確保を図るため、延べ1,263件の織物技術指導と45件の小規模な生産基盤整備を支援

成果・課題

○商工会による小規模事業者への巡回指導や織物事業者への技術指導及び小規模生産基盤整備への支援を行い、事業者の経営安定化に寄与した。
○物価高騰や人手不足など経営環境が厳しさを増す中、生産性向上や資金繰り対策など、事業者の経営課題に寄り添った支援を行う商工会の役割は重要であり、引き続き支援が必要である。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	07 商工費	38,000千円	38,000千円	0千円	100.0 %	部	商工観光部
	項	01 商工費				(参考)当初予算額	課	商工振興課
	目	02 商工振興費				38,000千円		
	事業	02 丹後地域地場産業振興ｾﾝﾀｰ運営支援事業						
まちづくり27の施策		18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興						

目的	主な財源
公益財団法人丹後地域地場産業振興センターが行う施設の管理、丹後ブランド産品の販売、地場産品の販路拡大、新商品の開発支援、人材育成、情報の収集及び発信など地場産業の振興を図る各種事業を支援し、本市地場産業の総合的な振興を図る。	

主要な事務・事業の概要

○丹後地域地場産業振興センター運営費補助金　38,000千円

【主な実施事業】

◆新商品・新技術開発事業

高機能急速冷凍装置の活用による新サービス開発事業

（延べ利用回数 139回、実利用事業者数 19事業者）

◆人材育成事業

食品品質向上セミナーの開催　参加事業者28業者（34人、うちオンライン16人）

◆需要開拓事業

・Tango Good Goods認定及び販売促進事業

令和7年度認定数：35事業者、55商品

・「Tango Good Goods見本市」の開催

11月22日～23日　宮津市民体育館

来場者数4,800人、出展社数31社、商談件数15件

・他地域の物産展、イベント等への出店

新規イベント（地方フードセレクション2025、Good Nature Station主催のPOP UP）の参加や、丹後王国「食のみやこ」との連携による丹後産品の販路開拓や流通支援を実施

◆地場産品展示普及支援事業

地場産品の常設展示販売及びECサイト、ふるさと納税サイトでの販売

（187事業者、約3,800品目、年間売上約78,034千円）

◆誘客販売事業

・野村克也ベースボールギャラリーの運営事業

・たんご朝市の開催（毎週日曜日）

・アミティ感謝祭

4月27日開催：来場者455人

11月2日開催：来場者350人

成果・課題

○セミナー等を支援することで、事業者が抱える販路拡大等の課題解決に向けた取組ができた。
○「Tango Good Goods」の認定、見本市の開催、ECサイト等での販売など、地場産品の認知度向上及び販路拡大に向けた取組を支援した。
○引き続き、センターによる商談機会の創出や販路拡大の取組を支援するとともに、老朽化が進んでいる施設について、優先順位による計画的な修繕を支援する必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	款	07 商工費	29,834千円	29,836千円	2千円	99.9 %		
	項	01 商工費				(参考)当初予算額	課	商工振興課
	目	02 商工振興費				43,932千円		
	事業	03 金融支援事業						
まちづくり27の施策		18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興						

主な財源

国補	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	15,018千円
繰入金	ふるさと応援基金繰入金	1,000千円

目的

市内商工業者の運転資金や設備資金の借入に係る信用保証料及び利子に対して補助を行うことにより、資金調達の円滑化と借入に係る負担の軽減を図り、市内中小企業者の経営の安定化と成長の促進を図る。

主要な事務・事業の概要

○信用保証料補助金　13,139千円

京都府中小企業融資制度又は京丹後市商工業振興融資制度を利用して借入れる際に支払った保証料を１事業者40万円を限度に交付（借入額に応じた30%～80%の補助率）

業種	建設業	製造業	卸売・小売業	飲食店宿泊業	その他	合計
件数（件）	28	14	20	18	28	108
交付額（千円）	3,264	2,009	2,691	2,302	2,873	13,139

○経営力向上企業支援利子補給金　108千円

市内商工業者が経営力向上計画の認定を受け、市内民間金融機関又は政府系金融機関から設備資金の融資を受けた場合にその利子について、借入利率のうち0.1%分を1事業者当たり年度内20万円を限度に交付

交付件数	4件

○新型コロナウイルス感染症対策利子補給金　6,901千円

市内商工業者が活用した京都府、京丹後市及び政府系金融機関の制度融資（令和2年1月29日以降の借入）に係る利子に対し、初回利子支払い月から36月目までは借入利率の0.46%分を、37月目からは借入利率の0.23%分を1事業者当たり100万円を限度に交付

交付件数	164件

○無利子・無担保融資対応利子補給金　9,686千円

市内商工業者が活用した京都府及び政府系金融機関の制度融資について、無利子期間（国による利子補給期間）が終了した後の利子に対し、初回利子支払月から36月目までの借入利率の0.23%分を1事業者当たり100万円を限度に交付

交付件数	327件

成果・課題

○資金借入に伴う信用保証料や利子の負担を軽減することにより、事業者の経営の安定化と成長の促進に資することができた。
○国による利子補給期間が終了する事業者に対し、無利子・無担保融資対応利子補給金により支援ができた。
○国際情勢の影響等により地域中小企業を取り巻く状況は厳しく、引き続き利子補給を実施するとともに、資金調達時の負担軽減に効果的な信用保証料補助を充実する必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	款	07 商工費	6,770千円	6,777千円	7千円	99.8％		
	項	01 商工費				(参考)当初予算額	課	商工振興課
	目	02 商工振興費				2,900千円		
	事業	04 商工業支援事業						
まちづくり27の施策		18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興						

目的

新商品の開発、販路開拓、知的財産権取得、事業承継、SDGsの取組による開発、織物業や機械金属業等製造・加工業における経営力向上のための設備投資など市内商工業者の新たな取組への支援を行い、地域経済の活性化を図る。

主な財源

府補	きょうと地域連携交付金	1,120千円
府補	地域商業活性化･物価高騰対策事業費補助金(1/2)	2,263千円

主要な事務・事業の概要

○商工業支援補助金　2,244千円

中小企業等が行う販路開拓などの取組を支援

事業	件数	交付額
ブランド戦略PR事業（新商品・新製品開発事業）	1件	300千円
ブランド戦略PR事業（国内外販路開拓促進事業）	9件	1,601千円
知的財産権取得支援事業	1件	144千円
SDGs取組支援事業	2件	199千円

○地域商業活性化事業費補助金　4,526千円

市内商店街の自主的に行う事業を京都府と連携して支援

- 金刀比羅商店街の老朽化した街路灯改修を支援　934千円
- 御旅市場のアーケード補修を支援　3,592千円

成果・課題

○商工業支援補助金にて市内事業者の新たな挑戦や取組を支援することで、地域経済の活性化に資することができた。
○府と連携し、老朽化した街路灯やアーケードの計画的な補修を行った。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	07 商工費	12,609千円	12,623千円	14千円	99.8％	部	商工観光部
	項	01 商工費				(参考)当初予算額	課	商工振興課
	目	02 商工振興費				0千円		
	事業	05 地域経済循環促進事業						
まちづくり27の施策		18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興						

目的

京丹後デジタルポイントを活用したプレミアム付デジタル商品券を発行し、物価高騰に対する生活支援と地域の消費喚起を促進する。

主な財源

国補　物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金　11,548千円

主要な事務・事業の概要

○消費喚起ポイント事業補助金（プレミアム付デジタル商品券）　12,609千円

◆プレミアム付デジタル商品券プレミアム分　12,059千円

◆事務費（消耗品費、印刷製本費、新聞折込手数料）　550千円

【内容】
- 1,000円で1,200円分の利用ができるデジタル商品券
- 購入上限：1会員番号につき上限10セット発行
  （令和7年12月22日から上限10セットを30セットに拡充）
- 利用及び販売期間：令和7年11月1日から令和8年3月15日

【実績】

販売実績	商品券利用額	うち、プレミアム分利用額
60,324セット	71,919千円	12,059千円

【加盟店数】

160店舗（令和8年3月末時点）

成果・課題

○プレミアム付商品券事業を契機に加盟店が9店舗増加した。
○物価高騰に対する生活支援と消費喚起を促進した。
○利便性向上に向け、引き続き加盟店を増加させる必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	07 商工費	8,186千円	8,221千円	35千円	99.5 %	部	商工観光部
	項	01 商工費				(参考)当初予算額	課	商工振興課
	目	02 商工振興費				8,221千円		
	事業	06 自然あふれるﾋﾞｼﾞﾈｽﾓﾃﾞﾙ推進事業						
まちづくり27の施策		18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興						

目的

テレワーク推進戦略に基づき、市内事業者で構成するコンソーシアムを中心に持続可能なビジネスモデルの構築を目指した事業を推進することにより、都市部企業・人材の誘致や、交流人口・関係人口の拡大を図り、将来的な定住人口の増加を目指す。

主な財源

府補	きょうと地域連携交付金	600千円
寄附金	ふるさと応援寄附金	200千円

主要な事務・事業の概要

○テレワーク戦略実践会議　13千円

自然あふれるビジネスモデル事業の検証と進捗管理のため、商工関連団体、観光関連団体等で構成する委員会を3回開催

・委員謝金、費用弁償（1人）　13千円

○コーディネート業務委託料　8,173千円

（契約期間：令和3年9月1日～令和8年3月31日）

コンソーシアム運営業務、企業向け研修プログラムの企画運営、持続可能な収益モデルの確立、継続的な事業活動の発信等

◆企業研修プログラムの開発・実施

3プログラム造成、参加社29社、参加人数124人

◆新体制組織化に向けた計画策定・準備

コンソーシアムメンバーへのヒアリングを実施。それを踏まえて、新組織での運営方針やコンソーシアムメンバー・都市部パートナー企業との関わり方の整理を行った。

成果・課題

○都市部企業へのプロモーションや企業プログラムの開発・実施などの成果もあり、継続して本市に関わってもらえる企業ができたことや、本取組に関心のある事業者が訪問されるなど、人の流れに広がりが生まれた。
○コンソーシアムメンバーへのヒアリングを実施し新体制の運営方針を整理するとともに、これまでの取組成果を継承・発展させるための運営体制を構築することができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	07 商工費	11,000千円	11,000千円	0千円	100.0 %	部	商工観光部
	項	01 商工費				(参考)当初予算額	課	商工振興課
	目	02 商工振興費				9,000千円		
	事業	07 機械金属業振興事業						
まちづくり27の施策		18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興						

目的

市内の機械金属関連事業者の異業種交流による新たな分野へのビジネス展開や販路開拓のほか、これからの機械金属業界の進むべき方向を展望した丹後機械工業協同組合の積極的かつ主体的な活動に対して補助金を交付し、本市の基幹産業である機械金属業の更なる成長発展を図る。

主な財源

国補　新しい地方経済･生活環境創生交付金(第2世代交付金)　5,500千円

主要な事務・事業の概要

○機械金属業販路開拓等事業費補助金　9,000千円

【実施主体】　丹後機械工業協同組合

【補助率】　2／3以内

【実施内容】

◆新分野・ビジネス開拓推進事業

- 機械技術要素展（東京･7月）　5社出展
- 第27回機械技術要素展（大阪･10月）　13社出展
- メッセナゴヤ2025（名古屋･11月）　6社出展
- 機械技術要素展（福岡･12月）　6社出展
- 京都ビジネス交流フェア2026（京都･2月）　9社出展

○マテリアル共創ファクトリー整備事業費補助金　2,000千円

【実施主体】丹後機械工業協同組合

【補助率】2分の1以内

【事業内容】

基幹産業である機械金属業の競争力強化と持続的発展を図るた め、丹後機械工業協同組合が新たに実施する素材供給・加工・配送 機能を備えた拠点の整備を支援するもの

【事業計画】

年度	事業	事業費
R7	調査・設計費	4,000千円
R8	施設整備費	112,420千円
R9	加工設備導入費	98,006千円
計		214,426千円

成果・課題

○展示会への出展を支援することにより、産地ブランドのPR及び本市機械金属産業の事業分野の拡大を図ることができた。
○施設整備については、令和9年度の設備完成に向けて調査・設計業務を支援した。
○更なる業界の成長・発展を図るため、新規顧客の獲得や成長産業分野への進出を支援していく必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	07 商工費	5,646千円	5,647千円	1千円	99.9 %	部	商工観光部
	項	01 商工費				(参考)当初予算額	課	商工振興課
	目	02 商工振興費				5,700千円		
	事業	08 人材育成事業						
まちづくり27の施策		18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興						

目的	主な財源
「丹後・知恵のものづくりパーク」（北部産業活性化拠点・京丹後）の管理運営等に必要な経費の一部を負担することにより、事業の円滑な実施と適切な施設運営を促す。	

主要な事務・事業の概要	成果・課題
○「丹後・知恵のものづくりパーク」管理運営事業　5,646千円 ・施設等管理運営負担金	○「丹後・知恵のものづくりパーク」の適切な管理運営に寄与した。 ○市内産業の活性化を図るため、引き続き「丹後・知恵のものづくりパーク」を維持する必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	款	07 商工費	14,752千円	14,764千円	12千円	99.9％		
	項	01 商工費				(参考)当初予算額	課	商工振興課
	目	02 商工振興費				13,311千円		
	事業	11 大阪･関西万博連携事業						
まちづくり27の施策		18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興						

目的

2025年大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」の実現とSDGsの達成の趣旨に賛同し、健康長寿やものづくり、豊かな自然環境を活かした本市ならではの万博への参画に向けた取組を進め、万博閉幕後も継続して取り組める基盤を構築する。

主な財源

国補	新しい地方経済･生活環境創生交付金(第2世代交付金)	1,849千円
府補	きょうと地域連携交付金	1,628千円
寄附金	ふるさと応援寄附金	2,200千円
繰入金	ふるさと応援基金繰入金	5,000千円

主要な事務・事業の概要

○京丹後市大阪・関西万博推進協議会の開催　138千円

本市の強みである健康長寿、産業等の資源を活かしたロードマップに基づき、進捗管理や助言など、取組を推進するため民間主導の協議会を開催

- アドバイザー、委員謝金（延べ15人･会議数2回）　130千円
- アドバイザー、委員費用弁償　8千円

○第1回世界長寿サミットの開催　5,490千円

開催期間　令和7年6月16日から19日

場所　丹後文化会館及び峰山地域公民館 参加者　延べ550人

本市をはじめとする丹後地域において「幸福で健康な長寿社会」を目指し、世界11ヵ国から研究者や専門家を招きサミットを実施

- 世界長寿サミット実行委員会負担金　4,769千円
- 会場使用料　647千円
- マイクロバス運転経費（バス運転委託料･燃料費）　74千円

○健康・美・長寿推進協議会負担金　700千円

Webサイト構築・運営や大阪・関西万博への出席依頼、デジタルスタンプラリー等を実施

○万博会場映像放映負担金　2,200千円

大阪・関西万博会場内デジタルトラベルゾーンに本市観光PR動画を投影

○オープンファクトリーの開催　2,998千円

丹後の織物業、機械金属業、農業など多彩な産業の認知向上のため、通年型オープンファクトリーの取組を支援するとともに、イベント型オープンファクトリーを実施

- 地域一体型オープンファクトリー事業運営業務　1,498千円
- 丹後オープンファクトリー実行委員会負担金　1,500千円

○大阪・関西万博会場内催事への参加　3,226千円

関西パビリオン京都エリア、メッセ会場などで本市の健康長寿や産業、観光について展示し、本市のPRを実施

- 万博首長連合負担金　971千円
- 大阪観光局負担金　1,350千円
- その他経費（普通旅費、駐車場使用料、有料道路通行料）　905千円

成果・課題

○ロードマップにある取組に対して、大阪・関西万博推進協議会で進捗管理やアドバイスをもらい、本市における取組を推進した。また、万博レガシーについても確認し今後の本市の取組の方向性を協議会の中で示すことができた。
○世界長寿サミットでは世界に向けて本市の健康長寿の秘訣を発信できた。また市民に対しても公開講座を行い機運の醸成を行うことができた。
○オープンファクトリーを与謝野町と合同で実施し、丹後地域の事業者の魅力を多くの方に認知された。
○万博会場において、本市の出展を行うことで、産業や健康長寿などの認知の拡大を図った。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	07 商工費	13,118千円	13,134千円	16千円	99.8％	部	商工観光部
	項	01 商工費				(参考)当初予算額	課	商工振興課
	目	02 商工振興費				18,626千円		
	事業	13 企業立地推進事業						
まちづくり27の施策		18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興						

目的

市の事業用地及び企業立地支援制度を広く周知するとともに、市内外企業等の立地を促進することで、雇用の創出・拡大及び地域産業への経済波及効果の創出を図る。

主な財源

府補　きょうと地域連携交付金　6,460千円

主要な事務・事業の概要

○企業立地支援事業　12,938千円

・企業立地助成金　2,000千円

一定規模以上の投資を行い市民正規雇用者数を3人（中小企業は2人）以上増加させた「指定事業所」に対して、同雇用者数1人当たり100万円を限度として設備投資経費や人件費に充当できる助成金を交付

対象指定事業所：1社

・企業立地奨励金　10,938千円

「指定事業所」に対し、新増設された事業所の投下固定資産（土地･建物･償却資産）に対し課税された固定資産税相当額を限度に奨励金を交付

対象指定事業所：5社

○企業立地促進事業　180千円

- 企業情報検索システム使用料　40千円
- 旅費（企業誘致活動）　36千円
- 駐車場使用料･有料道路通行料　24千円
- 京都府市町村企業誘致推進連絡会議負担金　80千円

（京都府用地バンクの運営、展示会のブース出展、企業誘致説明会開催など）

成果・課題

○指定事業所に企業立地助成金・奨励金を交付することにより、市内における事業所の新設及び増設を促進するとともに、雇用の拡大と経営の安定化を図った。
○引き続き、企業立地助成金や奨励金等、京丹後市に立地した際の優遇制度などを積極的に発信し、企業立地を推進するとともに、企業のニーズに対応した効果的な立地施策を検討する必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	07 商工費	1,609千円	1,618千円	9千円	99.4 %	部	商工観光部
	項	01 商工費				(参考)当初予算額	課	商工振興課
	目	02 商工振興費				822千円		
	事業	14 工業団地維持管理事業						
まちづくり27の施策		18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興						

目的

市内工業団地の維持管理を行い、団地の環境美化に努めるとともに、魅力的な立地環境を維持する。

主な財源

主要な事務・事業の概要

○工業団地の維持管理経費 1,609千円

- 入口看板照明電気料（赤坂工業団地） 12千円
- 看板修繕、倒竹･倒木処理 816千円
- 草刈等環境美化業務委託料 778千円
- 水路及び水道敷地用地借上料（大山工業団地） 3千円

（参考）工業団地別の内訳 （単位：千円）

団地名	面積（㎡）	光熱水費等	修繕料	委託料	土地借上料	計
①赤坂工業団地（峰山）	63,121	12	816	737	-	1,565
②清水工業団地（大宮）	28,151	-	-	-	-	-
③大山工業団地（丹後）	32,962	-	-	41	3	44
④永留工業団地（久美浜）	41,489	-	-	-	-	-
⑤谷工業団地（久美浜）	61,703	-	-	-	-	-
合計	227,426	12	816	778	3	1,609

成果・課題

○市内5か所の工業団地の適切な維持管理及び環境美化に努めた。
○いずれも合併前に整備された工業団地であり、繁茂した雑木や側溝・排水路の堆積物等を処理し、維持管理する必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	07 商工費	5,637千円	5,637千円	0千円	100.0 %	部	商工観光部
	項	01 商工費				(参考)当初予算額	課	商工振興課
	目	02 商工振興費				8,000千円		
	事業	15 創業支援事業						
まちづくり27の施策		18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興						

主な財源

府補　きょうと地域連携交付金　2,810千円

目的

新規創業者への支援を行い、新規創業・新産業及び地域経済の活性化を図る。

主要な事務・事業の概要

○創業等支援補助金　5,637千円

新規創業者への創業や空き店舗の活用に関する取組を支援

・補助率：4分の1以内

・補助上限

【創業支援事業】50万円

【空き店舗・空き工場等の活用促進事業】100万円

内訳			
	創業支援事業	3件	1,500千円
	空き店舗・空き工場等の活用促進事業	5件	4,137千円

成果・課題

○新たに市内8事業者の創業を支援することができた。
○空き店舗活用促進事業を通じて、遊休資産の利活用が促進された。
○後継者不足等による廃業も増えていることから、創業に加え、事業承継への支援を一体的に行う必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	07 商工費	35,000千円	35,000千円	0千円	100.0 %	部	商工観光部
	項	01 商工費				(参考)繰越予算額	課	商工振興課
	目	02 商工振興費				35,000千円		
	事業	15 創業支援事業（繰越）						
まちづくり27の施策		18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興						

目的

新規創業者や市内の空き店舗・空き工場等を活用した新たな取組への支援を行い、新規創業・新産業の創出及び地域経済の活性化を図る。

主な財源

国補　地域経済循環創造事業交付金　23,333千円

主要な事務・事業の概要

○地域経済循環創造事業補助金　35,000千円

地域金融機関と連携し、地域資源を活用した民間事業者の新たなビジネスの立ち上げ（創業）を支援

対象事業	山陰海岸ジオパークを有効活用し京丹後をマリンレジャーの拠点にするために必要な宿泊施設整備事業
実施場所	網野町下岡、丹後町間人
総事業費	102,500千円
補助金額	35,000千円 （うち国　23,333千円）

成果・課題

地域経済循環創造事業補助金により、新たに1件の宿泊施設が操業を開始した。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	07 商工費	139千円	139千円	0千円	100.0 %	部	商工観光部
	項	01 商工費				(参考)当初予算額	課	商工振興課
	目	02 商工振興費				606千円		
	事業	17 商工業総合振興事業						
まちづくり27の施策		18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興						

目的

商工業総合振興条例に基づき、同条例に基づく施策の推進、評価、見直しを行う「京丹後市新経済戦略推進会議」を運営し、本市商工業の総合的な振興、活力のある地域経済の発展と豊かな市民生活の実現を推進する。

主な財源

主要な事務・事業の概要

○京丹後市新経済戦略推進会議　139千円

- 委員報酬　56千円

  第1回（R7.7.18）　14人 × 4千円 ＝ 56千円

- 費用弁償　83千円
- 委員数18人（市外委員7人、市内委員11人）

成果・課題

○新経済戦略の策定に向けて、有識者・関係団体等からなる「新経済戦略推進会議」を開催し、地域経済の現状や戦略の方向性について議論を行った。
○新経済戦略の策定に向けて、具体的な施策の検討や実行主体の整理を引き続き行っていく。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	07 商工費	60千円	70千円	10千円	85.7 %	部	商工観光部
	項	01 商工費				(参考)当初予算額	課	商工振興課
	目	02 商工振興費				162千円		
	事業	50 商工振興一般経費						
まちづくり27の施策		18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興						

目的	地域経済・産業の振興、活性化を図るための活動等に必要な経費
主な財源	

主要な事務・事業の概要

○職員旅費、有料道路通行料、駐車場使用料	42千円
○消耗品費（新聞購読料）	18千円

成果・課題

商工振興に関する事務事業等を円滑に行うことができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	07 商工費	1,137千円	1,171千円	34千円	97.0％	部	商工観光部
	項	01 商工費				(参考)当初予算額 151千円	課	商工振興課
	目	03 繊維産業振興費						
	事業	01 産地振興事業						
まちづくり27の施策		18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興						

目的

丹後織物工業組合を主体とした販路開拓・人材育成・技術継承等に係る織物振興施策を支援するとともに、全国の自治体との連携の推進や地元織物関係事業者等による和装振興等に関する取組を支援することで、和装産業及びシルク産業の振興と魅力ある地域づくりを推進する。

主な財源

主要な事務・事業の概要

○丹後織物産地振興事業費補助金　1,019千円

産地の稼ぐ力の拡大、産地を支える人材育成に資するため、丹後織物工業組合が実施するTANGO OPEN CENTER事業を、京都府及び与謝野町と協調して支援

【総事業費】6,086千円

【負担割合】京丹後市17%、与謝野町8%、府50%、組合25%

【主な事業】宿泊施設向け館内着開発、丹後織物振興展示会、万博関連事業

○全国和装産地市町村協議会（会員数：15市町）　10千円

・負担金　10千円

「日本のそめおり展」への出品（7月16日～8月18日：京都市）

○シルクのまちづくり市区町村協議会（32市区町村）　96千円

・職員旅費、有料道路通行料　96千円

総会、視察研修（10月10日：福島県川俣町）

○職員旅費、有料道路通行料　12千円

成果・課題

○丹後織物工業組合による織物求評会の開催等販路開拓の取組や、観光施設への波及を狙った丹後ちりめんウェアの開発取組を支援した。
○全国の織物産地協議会ネットワークを通じて伝統繊維産業の全国的な景況、課題を把握することができた。また京丹後市の織物作品を全国和装産地市町村協議会主催の「日本のそめおり展」へ出品し、市内事業者、丹後ちりめんのPRを実施した。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	
	款	07 商工費	8,308千円	8,396千円	88千円	98.9 %		商工観光部
	項	01 商工費				(参考)当初予算額	課	商工振興課
	目	03 繊維産業振興費				8,458千円		
	事業	02 新ｼﾙｸ産業創造事業						
まちづくり27の施策		18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興						

目的

京都工芸繊維大学との連携の下、取り組んできた新シルク産業創造に向けた基礎研究の成果を事業化へと繋げ、京丹後市新シルク産業創造館を拠点として、シルクを活用したビジネスモデルの構築を図り、地域産業の基盤強化と成長を促進する。

主な財源

国補	新しい地方経済･生活環境創生交付金(第2世代交付金)	3,470千円
寄附金	ふるさと応援寄附金	4,000千円
諸収入	市有自動車損害共済金	39千円

主要な事務・事業の概要

○新シルク産業創造事業運営経費 7,635千円

新シルク産業創造館において、本市が京都工芸繊維大学との連携の下取り組んできた研究の成果を活用し、新たな産業の創出に向けたビジネスモデルの構築を目指すこと及び当施設、設備の維持管理に関する業務を委託により実施

- 新シルク産業創造事業業務委託料 6,940千円
  （期間：令和3年8月1日～令和8年3月31日）
- 新シルク産業創造館施設保守管理（通年） 695千円
  - 施設機械警備業務委託料 79千円
  - 電気設備保安管理業務委託料 359千円
  - 消防設備保守点検業務委託料 77千円
  - 通信費（機械警備システム用） 70千円
  - 修繕料（エアコン） 110千円

○新シルク産業創造事業アドバイザー謝金 （1人3回） 100千円

○職員旅費 37千円

○公用車運行管理費（2台分） 502千円
- 燃料費 114千円
- 車検費用等その他 382千円
- テレビ受信料 6千円

○消耗品費、有料道路通行料、駐車場使用料 34千円
- 消耗品 22千円
- 有料道路通行料 11千円
- 駐車場使用料 1千円

成果・課題

○人工飼料の基礎開発が概ね完了し、飼料の安定的な製造体制及び安定した周年養蚕体制を構築した。
○新シルク産業創造館の繭を原料とした生糸を流通させるべく丹後地域織物事業者と協議を進めるとともに、タンパク成分を活用した様々な分野への原料開発・製品開発が進められた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	款	07 商工費	2,302千円	2,378千円	76千円	96.8％		
	項	01 商工費				(参考)当初予算額	課	商工振興課
	目	04 商工施設費				2,514千円		
	事業	01 峰山織物ｾﾝﾀｰ管理運営事業						
まちづくり27の施策		18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興						

目的

峰山織物センターを管理運営し、広く市民の利用に供することで、織物業の振興及び住民の福祉増進を図る。

主な財源

使用料	公有財産使用料	130千円
使用料	峰山織物ｾﾝﾀｰ使用料	65千円

主要な事務・事業の概要

○峰山織物センター運営管理経費	2,302千円
・日直代行業務委託料	554千円
・燃料、光熱水費（ガス代、電気代、水道料）	1,103千円
・施設警備委託料	45千円
・駐車場用地借上料	306千円
・維持管理消耗品、修繕料	96千円
・消防設備･防火対象物点検業務委託料	138千円
・ごみ持込処理手数料	1千円
・通信運搬費（電話使用料）	47千円
・テレビ受信料等	12千円

【延べ利用人数】 4,173人

・利用目的別利用件数

会議	教室	サークル活動	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ	その他	合計
90件	16件	219件	29件	6件	360件

・部屋別利用件数

大会議室	教養室	第1・2研修室	合計
137件	52件	171件	360件

成果・課題

○教室・サークル活動を中心に多くの施設利用があり、活動拠点として各種活動の推進に寄与した。
○施設の老朽化が進んでおり、引き続き計画的に修繕等を行っていく必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	07 商工費	5,274千円	5,275千円	1千円	99.9 %	部	商工観光部
	項	01 商工費				(参考)当初予算額	課	商工振興課
	目	04 商工施設費				4,568千円		
	事業	02 商工等指定管理施設運営事業						
まちづくり27の施策		18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興						

目的

大宮織物ホール、弥栄機業センターの維持管理及び運営を指定管理者に委託し、施設の有効活用と施設利用者の利便性の向上を図る。

主な財源

使用料	公有財産使用料	100千円
財産収入	土地建物貸付収入	246千円
財産収入	建物貸付収入	62千円
諸収入	弥栄機業ｾﾝﾀｰ火災保険料負担金	1千円
諸収入	大宮織物ﾎｰﾙ光熱水費負担金	131千円

主要な事務・事業の概要

○大宮織物ホール指定管理委託料（委託先：市商工会） 3,210千円

○大宮織物ホール土地借上料（2,369㎡） 1,204千円

○弥栄機業センター指定管理委託料（委託先：市商工会） 88千円

○修繕料（食品加工支援センター） 772千円
　ばっ気ブロワー　1台

（参考）延べ利用人数
- 大宮織物ホール　2,760人
- 弥栄機業センター　2,600人

成果・課題

○市内商工関連公共用施設の管理運営を指定管理者として京丹後市商工会が行うことで、施設利用者の各種活動の推進に寄与した。
○施設の老朽化が進んでおり、引き続き、計画的に修繕等を行っていく必要がある。
○大宮織物ホール、弥栄機業センターについては令和9年3月31日をもって指定管理期間が終了するため、施設の廃止、譲渡に向けた検討が必要である。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	款	07 商工費						
	項	01 商工費	1,122千円	1,144千円	22千円	98.0 %		
	目	04 商工施設費				(参考)当初予算額	課	商工振興課
	事業	50 商工施設一般経費				1,363千円		

まちづくり27の施策	18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興

目的	商工業の振興に関わる施設の維持管理を行う。

主な財源		
諸収入	旧丹後商業活性化ｾﾝﾀｰ火災保険料負担金	61千円
諸収入	旧三津小火災保険料負担金	36千円
諸収入	弥栄機業ｾﾝﾀｰ光熱水費負担金	7千円

主要な事務・事業の概要

○旧丹後商業活性化センター
- 公衆トイレ管理委託料（委託先：間人区） 506千円

○弥栄機業センター電気代負担金 7千円

○御旅市場商店街駐車場（旧小谷医院跡地）外灯電気代 7千円

○旧三津小学校 341千円
- グラウンド法面伐採委託料

○京都工芸繊維大学京丹後キャンパス 171千円
- 修繕料（エアコン修理）

○あしぎぬ苑 55千円
- 管理委託料（委託先：鳥取老人会） 52千円
- 水道使用料、開閉栓手数料 3千円

○旧豊栄小学校
- 修繕料（玄関扉） 35千円

成果・課題

○商工業、織物業の振興を目的とした商工関連施設を適切に管理することができた。
○老朽化が進んでいる施設について、引き続き計画的に修繕等を行っていく必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	07 商工費	466千円	483千円	17千円	96.4 %	部	商工観光部
	項	01 商工費				(参考)当初予算額	課	観光振興課
	目	05 観光振興費				528千円		
	事業	01 美食都市のまちづくり推進事業						
まちづくり27の施策		21 滞在型観光・スポーツ観光の促進						

目的

「美食都市アワード2024」の受賞を契機として、受賞都市が集う美食都市フォーラムに参加し、美食都市「京丹後」の豊富で多彩な旬の食の魅力発信を行う。

主な財源

主要な事務・事業の概要

○美食都市フォーラム参加経費 62千円

開催日：10月21日　場所：東京八重洲ミッドタウン

受賞都市間の連携とネットワーク強化を図るため、フォーラムに参加

職員旅費（2人） 57千円

駐車場使用料、有料道路通行料 5千円

○「美食×健康長寿」のまちづくり庁内勉強会 330千円

「美食×健康長寿」のまちづくり職員研修業務委託 330千円

実施日：2月18日（参加者18人）、2月19日（参加者14人）

「美食」とそれに深く関わる「健康長寿」の取組について、庁内連携を強化し、共通認識を持ち、「美食×健康長寿」を市の強みとして一体的に生かしていくため、関係課を対象に庁内勉強会を開催した。

○大学連携事務経費 13千円

駐車場使用料、有料道路通行料 13千円

○山形県鶴岡市（ユネスコ食文化創造都市）視察 61千円

職員旅費（3人） 30千円

有料道路通行料 19千円

燃料費（ガソリン代） 12千円

美食都市のまちづくりを推進するため、ユネスコ食文化創造都市に認定されている鶴岡市を訪問し、食文化を生かした地域ブランド化、人材育成及び推進組織の運営手法等について先進事例調査を実施した。

成果・課題

○美食都市フォーラムで本市の美食と健康長寿の取組を発信し、「美食都市・京丹後」としての認知度を向上させることができた。
○関係課職員を対象とした庁内勉強会を開催し、美食都市の理念や取組の方向性について共通理解を図ることができた。
○食によるまちづくりの先進地である鶴岡市を視察し、先進事例や推進体制を学んだ。今後は、本市の具体的な事業展開につなげていく必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	07 商工費	9,687千円	9,727千円	40千円	99.5 %	部	商工観光部
	項	01 商工費						
	目	05 観光振興費				(参考)当初予算額 10,016千円	課	観光振興課
	事業	02 ﾕﾈｽｺ世界ｼﾞｵﾊﾟｰｸ推進事業						
まちづくり27の施策		21 滞在型観光・スポーツ観光の促進						

目的	主な財源
山陰海岸ユネスコ世界ジオパークの貴重な地質遺産を保護保全するとともに、教育や産業振興への活用を図る。 また、専門的な知識を有するガイドを養成し、山陰海岸ジオパークの様々な魅力を発信し、主要なジオサイトの整備を進めることで、より持続可能な「ジオツーリズム」を推進する。	府補　ｼﾞｵﾊﾟｰｸ推進事業補助金（1/2）　1,000千円

主要な事務・事業の概要

○市ジオパーク情報センター（拠点施設）、ジオサイトの整備及び管理運営　5,897千円
- 拠点施設運営管理（道の駅てんきてんき丹後内）　3,983千円
- ジオサイト保全管理（重機借上、草刈委託2回）　1,914千円

○山陰海岸ユネスコ世界ジオパーク普及啓発等　317千円
- パンフレット印刷費用、消耗品等　317千円

○京丹後市ジオパーク最大活用会議（3回分）　39千円
- 委員謝金、費用弁償（3人）　39千円

○ガイド養成講座講師謝金、費用弁償（講師謝金2人分）　32千円
- 10月2日、9日、16日、23日の4日間開催（参加者6人）

○山陰海岸ジオパーク推進協議会負担金　3,402千円

成果・課題

○ジオサイトの草刈りや海岸清掃を行い、ジオパークの保全活動につながった。
○ガイド養成講座やスキルアップ講座の開催により、ジオパークの魅力を発信するガイド育成につながった。
○ジオサイトの紹介パンフレットを増刷し、魅力発信を行った。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	
	款	07 商工費	2,564千円	2,672千円	108千円	95.9％	部	商工観光部
	項	01 商工費				(参考)当初予算額	課	観光振興課
	目	05 観光振興費				3,072千円		
	事業	03 滞在型観光地づくり推進事業						
まちづくり27の施策		21 滞在型観光・スポーツ観光の促進						

目的

まちの活性化及び交流人口の拡大に寄与する各種大会等（コンベンション、スポーツ大会、イベント等）を主催する団体に対し補助金を交付することにより、宿泊客等を誘致する。
また、友好都市である木津川市との交流事業を実施し、通年滞在型観光地づくりを推進する。

主な財源

府補	きょうと地域連携交付金	560千円
諸収入	eﾊﾞｲｸ共同予約ｼｽﾃﾑ利用負担金	660千円

主要な事務・事業の概要

○観光業等活性化推進事業補助金　1,120千円
交付件数：6件（400千円×2件、80千円×4件）宿泊者数：2,662人
※400千円：1,000～2,000人未満
80千円：100～500人未満

○木津川市・京丹後市交流事業協議会負担金　692千円
【構成団体】　木津川市、京丹後市観光公社、京丹後市
【事業概要】　平成20年に締結した「京丹後市と木津川市との間の友好都市連携に関する盟約書」に基づく、本市の旅館等における宿泊補助事業を実施
【実施事業】　友好都市京丹後へ行こう！フレンドシップキャンペーン
・対象者　：木津川市民（278人泊）
・補助内容：令和7年6月1日～令和8年3月30日宿泊分
宿泊補助　上限2,000円／人･泊
京丹後デジタルポイント　上限500円／人

○システム保守管理料（eバイク予約管理システム保守管理）　660千円
○全国道の駅連絡会会費　20千円
○近畿道の駅連絡会会費　27千円
○国民保養温泉地協議会負担金　45千円

成果・課題

○観光業等活性化推進事業補助金は延べ2,662人の宿泊につながった。
○フレンドシップキャンペーンは、木津川市との連携強化により、278人泊分の利用があり、京丹後デジタルポイント付与により、市内周遊観光、滞在型観光地づくりを推進できた。
○eバイク予約管理システムの運用管理を参画事業者へ移管し、事業者主体による利用促進の取組を行う。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	款	07 商工費	19,262千円	44,337千円	25,075千円	43.4 %		
	項	01 商工費				(参考)当初予算額	課	観光振興課
	目	05 観光振興費				19,487千円		
	事業	04 日本一の砂浜海岸づくり推進事業						
まちづくり27の施策		21 滞在型観光・スポーツ観光の促進						

目的

「京都府遊泳者及びプレジャーボートの事故の防止等に関する条例」を遵守し開設する海水浴場開設者に、開設経費の一部を支援し、海水浴を通じた夏季の誘客を促進する。

山陰海岸ユネスコ世界ジオパークを構成する京丹後の美しい砂浜海岸を保全し、一年を通じてにぎわう日本一の砂浜海岸づくりを推進する。

主な財源

府補	きょうと地域連携交付金	5,870千円
寄附金	ふるさと応援寄附金	3,000千円
繰入金	ふるさと応援基金繰入金	3,000千円

主要な事務・事業の概要

○水難対策経費 1,687千円
- 水難啓発救助委託料 80千円
- 消耗品費（ビブス･AEDパッド･救急旗） 205千円
- 備品購入費 1,119千円
  海水浴場用AED購入　4台
- 連絡所等修繕料等 277千円
- 水難救助船運航謝金 6千円

○海水浴場開設者支援事業補助金 9,344千円
（連絡員業務に係る連絡所及び必要備品の設置並びに人件費）
全15海水浴場のうち、14海水浴場が開設

○海水浴場駐車場混雑情報配信システム 295千円
- システム使用料 132千円
- 機械器具借上料（情報配信用Wi-Fiルーター） 163千円

○砂浜海岸の保全・活用事業費 7,936千円
- 一斉クリーン作戦事業費 526千円
- 海水浴場清掃美化業務委託料 1,797千円
- ワンハンドビーチ事業（啓発ポスター作成） 69千円
- いのち輝くビーチフェス 990千円
- 遊歩道堆積砂撤去委託料 495千円
- 遊歩道工事設計委託料（箱石湊宮遊歩道復旧工事） 3,762千円
- 地域おこし協力隊活動業務委託料（共創型：1人） 297千円

参考		
	繰越明許費を除いた最終予算額	19,337千円
	実質的な予算執行率	99.6 %

■令和8年度への繰越事業 25,000千円
- 遊歩道復旧工事　令和8年10月完了予定 21,500千円
- 遊歩道復旧工事監理業務　令和8年10月完了予定 3,500千円

成果・課題

○府条例及びガイドラインに基づく安全・安心な海水浴場を実現し、夏季の誘客を下支えすることができた。
○年間を通し、地元区等が実施する海岸清掃を支援したほか、小天橋遊歩道の維持管理を行うことで、砂浜海岸の良好な景観を維持した。
○ビーチー斉クリーン作戦により、市民等へ美しい砂浜海岸の価値と保全の大切さを啓発することができた。
○砂浜海岸の保全について、環境配慮型の取組と発信が必要である。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	款	07 商工費	29,312千円	29,312千円	0千円	100.0 %		
	項	01 商工費				(参考)当初予算額	課	観光振興課
	目	05 観光振興費				30,000千円		
	事業	05 ｲﾝﾊﾞｳﾝﾄﾞ・宿泊促進強化事業						
まちづくり27の施策		21 滞在型観光・スポーツ観光の促進						

目的

観光インフラ整備等促進実行調整費基金を活用し、魅力ある観光地づくりに資するインフラ整備等の事業に対して補助金を交付し、本市の美しい自然や温泉等豊かな資源を活かした個性ある観光地づくりを推進する。

主な財源

繰入金　観光ｲﾝﾌﾗ整備等促進実行調整費基金繰入金　29,312千円

主要な事務・事業の概要

○観光インフラ整備等促進事業補助金　29,312千円

（単位：千円）

事業区分	No.	事業名	事業費	補助金
温泉源・配湯施設改修等事業	1	鳴き砂温泉ポンプ用インバーター取付工事	1,694	1,386
	2	夕日ヶ浦温泉泉源建屋改修等事業	4,455	3,645
	3	八丁浜小浜温泉ポンプ等交換事業	6,424	5,256
	4	浅茂川浦島温泉送湯設備修繕事業	231	162
	5	北畿リゾート配湯管布設替工事	374	306
	6	鳴き砂温泉貯湯タンク塗装工事	462	378
	7	鳴き砂温泉送水ポンプ配管等修繕工事	470	384
	8	八丁浜小浜温泉ポンプ修繕及びインバーター取り付け工事	3,157	2,583
	9	鴻の鶴温泉組合開閉器及び警報設備等取替工事	961	786
砂浜清掃用機械購入等事業	10	掛津区海岸清掃用クローラー購入事業	6,270	5,130
	11	遊区砂浜清掃用機械格納庫設置事業	3,625	2,966
	12	小天橋観光協会 海岸清掃用クローラー購入事業	1,403	1,147
	13	浜詰区海岸清掃用重機修繕事業	224	183
温泉施設等整備事業	14	客室展望風呂改修工事	11,820	5,000
計（14件）			41,570	29,312

成果・課題

○温泉源の維持管理や海岸清掃用重機の購入、温泉施設等整備事業等、民間事業者等が行う設備投資を支援することで、観光資源の魅力の向上につながった。
○引き続き、観光インフラ整備等促進実行調整費基金を適正に管理・運用し、民間の設備投資を積極的に支援することで、魅力ある観光地づくりを進めていく必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	款	07 商工費	46,131千円	46,132千円	1千円	99.9 %		
	項	01 商工費				(参考)当初予算額	課	観光振興課
	目	05 観光振興費				130千円		
	事業	06 観光ｲﾝﾌﾗ整備等促進実行調整費基金						
まちづくり27の施策		21 滞在型観光・スポーツ観光の促進						

目的

観光地として魅力ある環境整備を推進することを目的とした観光インフラ整備等促進実行調整費基金への積立金。

主な財源

財産収入　観光ｲﾝﾌﾗ整備等促進実行調整費基金利子収入　349千円

主要な事務・事業の概要

○観光インフラ整備等促進実行調整費基金積立金　45,782千円

（参考）令和6年度入湯税収入額　45,781,800円

○観光インフラ整備等促進実行調整費基金積立金（利子分）　349千円

（参考）基金の状況　（単位：千円）

令和6年度末 現在高 ①	令和7年度中増減額			令和7年度末 現在高 ①-②+③+④
	繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④	
123,363	30,643	349	45,782	138,851

成果・課題

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	款	07 商工費	1,938千円	1,995千円	57千円	97.1 %		
	項	01 商工費				(参考)当初予算額	課	観光振興課
	目	05 観光振興費				2,405千円		
	事業	07 観光ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ推進事業						
まちづくり27の施策		21 滞在型観光・スポーツ観光の促進						

目的

各種イベントで広報活動を行い、観光資源や観光情報の発信を行うとともに、広域観光団体と連携を図り、域内周遊・滞在型観光の促進など観光客誘致に向けた取組を行う。

主な財源

府補　きょうと地域連携交付金　440千円

主要な事務・事業の概要

○観光宣伝活動等事務経費　188千円
- 旅費、有料道路通行料等　63千円
- キャンペーン景品、観光宣伝物品等　125千円

○広域観光団体負担金　1,684千円
- （一社）豊岡観光イノベーション（豊岡版DMO）　300千円
- （公社）京都府観光連盟　390千円
- 北近畿広域観光連盟　894千円
- （特非）ジャパン･フィルムコミッション　100千円

○観光入込客数及び観光消費額調査費　31千円
市内宿泊施設を対象とした調査に係る返信用封筒（ミニレターパック）代

○「ミニボートピア京丹後10周年競走大会」入賞賞品【所管：政策企画課】　35千円

開催日：9月10日から9月14日まで

開催場所：尼崎ボートレース場

- BTS京丹後開催10周年記念競走に係る大会入賞商品　35千円
（優勝カップ、丹後コシヒカリ米）

成果・課題

○広域観光団体と連携をして、観光資源や観光情報の発信を行い、域内周辺観光の促進や観光客誘致につながった。
○フィルムコミッションパンフレットの校正、増刷を行い、観光資源や観光情報の認知度向上を図った。
○撮影現場への立ち合いや全国のフィルムコミッション会員との情報共有により、京丹後の認知度向上につながった。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	07 商工費	126,383千円	126,384千円	1千円	99.9％	部	商工観光部
	項	01 商工費				(参考)当初予算額		
	目	05 観光振興費				134,709千円	課	観光振興課
	事業	08 地域総ぐるみ観光地づくり事業						
まちづくり27の施策		21 滞在型観光・スポーツ観光の促進						

目的

京都府北部地域連携都市圏振興社（海の京都DMO）に参画するとともに、同京丹後地域本部（京丹後市観光公社）の活動を支援することで、海の京都観光圏における京丹後市の観光振興を図る。

また、京丹後市観光立市推進会議を開催し、第4次京丹後市観光振興計画の進捗状況の検証等を行う。

主な財源

国補	新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)	7,199千円
府補	きょうと地域連携交付金	1,498千円
繰入金	ふるさと応援基金繰入金	30,000千円

主要な事務・事業の概要

○京都府北部地域連携都市圏振興社（海の京都DMO）運営負担金　16,555千円

府と北部7市町等で構成する海の京都DMOの運営に関する経費を負担し、「インバウンド」と「デジタルマーケティング」という２本柱を中心に、ファムトリップ誘致を始めとしたインバウンド推進、海の京都ブランドの醸成、着地型コンテンツ・プランの企画・造成・販売による地域事業者の付加価値創出等に向けた事業に取り組んだ。

○京都府北部地域連携都市圏振興社京丹後地域本部（京丹後市観光公社）

補助金　88,017千円

事業費	国内外観光プロモーション・マーケティング事業	31,019千円
	インナープロモーション事業	1,899千円
	「海の京都」認定観光案内所事業	1,808千円
	受託業務事業（みらいにつなぐ観光振興事業等）	24,795千円
	海の京都エリア活性化事業（6支部活動補助金）	5,315千円
	小　計	64,836千円
管理費	本部・支部の事務経費及び支部職員の人件費等	23,181千円

○京丹後市観光立市推進会議委員報酬・費用弁償　197千円

・全体2回（1月27日、3月19日）

○地域活性化起業人制度受入事業負担金　20,000千円

総務省「地域活性化起業人制度」を活用し、観光に関する専門的なノウハウや知見を有する大手旅行会社の社員を受け入れた。

令和5年4月1日～令和8年3月31日（1人・㈱日本旅行）

令和6年8月1日～令和9年7月31日（予定）（1人・日本航空㈱）

・配置部署：観光振興課[勤務場所：京丹後市観光公社]

・活動内容：ヘルスツーリズム、インバウンド･首都圏誘客キャンペーン等

○国際交流員（CIR）任用経費（1人）　1,614千円

京丹後市観光公社へ派遣（令和7年8月まで）

報酬、社会保険料、雇用保険料、研修旅費　1,614千円

成果・課題

○SNS等を活用したデジタルプロモーションの実践と、各種キャンペーンの実施により京丹後の認知度向上を図った。
○文化財（古墳）を活用した新たな観光コンテンツを造成した。
○地域活性化起業人制度により、民間企業の専門人材を観光公社に派遣し、誘客キャンペーン等を実施した。
○支部間の統合や本部への機能集約について検討を進める必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	07 商工費	9,639千円	10,064千円	425千円	95.7 %	部	商工観光部
	項	01 商工費				(参考)当初予算額	課	観光振興課
	目	06 観光等施設費				10,706千円		
	事業	01 海浜等施設管理事業						
まちづくり27の施策		21 滞在型観光・スポーツ観光の促進						

目的	主な財源
海水浴場に設置されているトイレ、シャワー、更衣室等の観光関連施設の清掃、維持管理を行うことにより、観光客等の利便性及び快適性の向上を図る。	

主要な事務・事業の概要

○海浜等施設管理経費〔一部、各町域の市民局へ配当〕	9,639千円
・管理用消耗品費	64千円
・光熱水費	2,821千円
・修繕料	675千円
・手数料（し尿処理･浄化槽法定点検等）	487千円
・海水浴場清掃美化業務委託料	2,271千円
・施設清掃業務委託料	528千円
・浄化槽管理委託料	2,223千円
・海浜施設維持管理業務委託料	406千円
・使用料及び賃借料（土地借上料）	164千円

成果・課題

○海水浴場等に設置しているシャワー・トイレ、脱衣所、炊事棟等の適切な維持管理により、快適な利用環境を提供することができた。
○安全快適な利用環境を確保するため、計画的に修繕を進めていく必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	07 商工費	14,013千円	14,129千円	116千円	99.1 %	部	商工観光部
	項	01 商工費				(参考)当初予算額	課	観光振興課
	目	06 観光等施設費				15,136千円		
	事業	02 自然公園管理事業						
まちづくり27の施策		21 滞在型観光・スポーツ観光の促進						

目的

京都府から管理委託を受けた国立公園及び国定公園区域内にある公園施設等の適正な維持管理を行い、自然公園の環境保全及び活用を促進する。

主な財源

府委　国立公園･国定公園管理委託金　12,100千円

主要な事務・事業の概要

山陰海岸国立公園、丹後天橋立大江山国定公園にある京都府管理の自然公園施設（京都府から本市へ管理委託され、市は地元区等に再委託）の維持管理及び環境保全を行った。

○自然公園施設等管理経費〔各町域の市民局へ配当〕	14,013千円
・自然公園施設等管理委託料（12園地･4遊歩道）	6,658千円
・自然公園内ごみ収集委託料（5園地）	2,653千円
・トイレ清掃･水道施設管理、バイオトイレ維持管理委託料	1,480千円
・し尿汲取手数料（7園地）	1,202千円
・修繕料（経ヶ岬受水槽、葛野分電盤）	203千円
・消耗品費、光熱水費（10園地）	1,657千円
・土地借上料（後ヶ浜園地トイレ用地、経ヶ岬園地駐車場用地）	160千円

【参考】

自然公園名	町名	園地等の名称
山陰海岸国立公園	久美浜町	かぶと山、大向、湊宮、葛野、箱石
	網野町	浜詰、夕日ヶ浦、五色浜
丹後天橋立大江山国定公園		小浜、掛津、遊、三津
	丹後町	後ヶ浜、犬ヶ岬、丹後松島、経ヶ岬

成果・課題

○観光客に安全で快適な環境を提供するため、自然公園施設等の維持管理及び環境保全を実施した。
○自然公園に設置しているトイレの適切な維持管理により、快適な利用環境を提供することができた。
○改修の必要な施設について、常時現状把握を行い、京都府へ早急な対応を求めていく必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	款	07 商工費	152,075千円	152,108千円	33千円	99.9 %		
	項	01 商工費				(参考)当初予算額	課	観光振興課
	目	06 観光等施設費				155,352千円		
	事業	03 観光等指定管理施設運営事業						
まちづくり27の施策		21 滞在型観光・スポーツ観光の促進						

主な財源		
諸収入	弥栄あしぎぬ温泉電気代等負担金	10,905千円
市債	過疎地域持続的発展特別事業債（過疎債ソフト）	65,400千円

目的

観光関連施設の管理運営を指定管理者に委託し、施設や設備等の適切な維持管理を行うことで施設の効率的かつ効果的な管理運営と利用者へのサービス向上を図る。

主要な事務・事業の概要

○委託料 138,179千円
- 電気設備保守（弥栄あしぎぬ温泉） 233千円
- 雑木伐採委託料 （稲葉本家、小町公園） 766千円
- 特殊建築物定期報告業務委託料 1,650千円
  （はしうど荘、よし野の里、あしぎぬ温泉、森林公園スイス村）
- 指定管理委託料 135,530千円

施設名	金額	施設名	金額
天女の里	11,537千円	よし野の里	15,796千円
小町公園	3,967千円	森林公園スイス村	37,875千円
道の駅てんきてんき丹後	16,535千円	あしぎぬ温泉	20,723千円
はしうど荘	10,005千円	豪商「稲葉本家」	6,373千円
碇高原ステーキハウス	5,034千円	かぶと山公園	7,685千円
		合計	135,530千円

○需用費 10,979千円
- 光熱水費（あしぎぬ温泉電気代等） 10,672千円
- 修繕料（スイス村スノーモービル、バンガロー屋外配線） 307千円

○役務費 941千円
- 水質検査等手数料 913千円
- ごみ持込処理手数料（道の駅てんきてんき丹後 藤棚処分） 16千円
- その他（消防設備設置届出書作成、水道開閉栓手数料） 12千円

○使用料及び賃借料 1,956千円
- 土地借上料（施設用地8か所） 1,151千円
- 機械器具借上料（AED16台） 805千円

○ 原材料費 20千円
- 原材料費（道の駅てんきてんき丹後 整地用真砂土） 20千円

成果・課題

○民間事業者のノウハウを活かし、観光施設の適切な運営と維持管理を行うことができた。
○光熱費、人件費等が高騰する中、施設の運営が安定して継続できるよう支援を行った。
○老朽化が進む施設において、安全性・快適性が確保できるよう、指定管理者と情報を共有しつつ、適切に維持管理を行っていく必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	款	07 商工費	25,419千円	25,443千円	24千円	99.9 %		
	項	01 商工費				(参考)当初予算額	課	観光振興課
	目	06 観光等施設費				22,059千円		
	事業	04 観光等指定管理施設大規模改修事業						
まちづくり27の施策		21 滞在型観光・スポーツ観光の促進						

主な財源		
繰入金	ふるさと応援基金繰入金	10,000千円
諸収入	市有建物損害共済金	255千円
市債	観光施設整備事業債（過疎債）	1,700千円

目的

観光関連施設を適切に維持管理することにより、観光客等を含む利用者の利用促進及び憩い・交流の場に寄与する環境整備を図る。

主要な事務・事業の概要

○修繕料	4,778千円
・よし野の里　本館及び浄化槽横トイレ修繕ほか	673千円
・天女の里　コテージ雨樋修繕ほか	251千円
・はしうど荘　客室ベランダ手摺修繕ほか	2,009千円
・森林公園スイス村　高原浴場外壁修繕ほか	1,494千円
・あしぎぬ温泉　泉源電極他修繕	108千円
・碇高原ステーキハウス　内部床修繕	161千円
・かぶと山公園 虹の家　マンホール蓋枠交換	82千円
○工事請負費	12,578千円
・あしぎぬ温泉　泉源水中ポンプ取替工事	1,551千円
・あしぎぬ温泉　高圧受電設備更新工事	3,069千円
・あしぎぬ温泉　温泉棟ロビーエアコン改修工事	2,476千円
・道の駅てんきてんき丹後　軒天井塗装工事	704千円
・丹後温泉はしうど荘　受電設備ケーブル更新工事ほか	1,353千円
・よし野の里　漏電等改修工事ほか	2,220千円
・かぶと山公園　鋼管柱取替工事	1,205千円
○備品購入費	7,528千円
・森林公園スイス村　プロジェクター等購入１台	2,640千円
・天女の里　コテージエアコン購入　2台	299千円
・豪商「稲葉本家」　調理室冷凍庫購入　1台　ほか	123千円
・あしぎぬ温泉　水中ポンプ購入　1台	4,466千円
○調査委託料	517千円
・よし野の里　漏電調査及び源泉井戸ポンプ調査	
○手数料	18千円
・天女の里　コテージエアコン廃棄	
・豪商「稲葉本家」　冷凍庫廃棄	

成果・課題

○必要な修繕等を実施することにより、公共施設を適切に保全するとともに、利用者の安全性、利便性及び快適性を確保することができた。
○老朽化による不具合箇所を早期発見し、予防措置を講じることにより損傷の拡大を防ぐ必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	07 商工費	57,196千円	61,143千円	3,947千円	93.5 %	部	商工観光部
	項	01 商工費				(参考)繰越予算額	課	観光振興課
	目	06 観光等施設費				61,143千円		
	事業	04 観光等指定管理施設大規模改修事業（繰越）						
まちづくり27の施策		21 滞在型観光・スポーツ観光の促進						

主な財源

市債　観光施設整備事業債（合併特例債）　54,300千円

目的

観光関連施設を適切に維持管理することにより、観光客等を含む利用者の利用促進及び憩い・交流の場に寄与する環境整備を図る。

主要な事務・事業の概要

○天女の里　トイレ洋式化改修工事　6,629千円

天女の里交流施設、キャンプ場トイレ棟の和式便器を洋式化し、施設の洋式便器数を増やし、安全性と快適性の向上を図った。

【交流施設】和式4基　→　洋式3基

【キャンプ場】和式2基　→　洋式2基

設計監理委託料	2,265千円
工事請負費	4,364千円

○ろ過循環塩素濃度監視装置増設工事　16,280千円

温泉施設の運営管理基準に沿った温泉浴槽の塩素濃度を保つため温泉ろ過循環設備に塩素濃度監視装置を設置した。

あしぎぬ温泉	7,700千円
よし野の里	8,580千円

○よし野の里　温泉棟ウッドデッキ改修工事　9,716千円

温泉棟の海側に設置してある屋外デッキテラス（木製）の腐食が進行しているため、安全に利用できるようデッキの改修を行った。

設計委託料	792千円
工事請負費	8,924千円

○よし野の里　エアコン設備改修工事　24,571千円

よし野の里の温泉棟、宿泊棟のエアコンを更新することで、利用者の快適性の向上を図った。

設計監理委託料	1,056千円
工事請負費	23,515千円

成果・課題

トイレの洋式化、温泉施設の塩素監視装置の設置、よし野の里のウッドデッキ改修、エアコン改修を実施し、施設利用者に安全で快適な施設環境を提供できた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	款	07 商工費						
	項	01 商工費	19,838千円	20,401千円	563千円	97.2％		
	目	06 観光等施設費				(参考)当初予算額	課	観光振興課
	事業	50 観光等施設一般経費				16,624千円		

まちづくり27の施策	21 滞在型観光・スポーツ観光の促進

目的

観光関連施設を適切に維持管理することにより、観光客等を含む利用者の安全と快適性を確保し、交流・憩いの場としての環境づくりを促進する。
また、運営を終了した観光施設及び新たな活用の方法やあり方の検討を進める。

主な財源

府委	碇高原畜産展示資料館管理委託金	1,036千円
繰入金	観光ｲﾝﾌﾗ整備等促進実行調整費基金繰入金	1,331千円
諸収入	丹後温泉電力料	165千円
諸収入	丹後温泉泉源管理負担金	307千円
諸収入	公共井戸ﾎﾟﾝﾌﾟ電力費	20千円
諸収入	山内陶芸作業棟光熱水費負担金	113千円

主要な事務・事業の概要

○施設管理委託料（清掃、草刈り、水質検査、機械警備等） 10,793千円

地域名	施設名
峰山地域	羽衣茶屋、泉の爽香苑、薬師ヶ丘さくらの森公園等
大宮地域	平地地蔵公園、ブナハウス内山、おおみや小町温泉源等
網野地域	子午線塔、静の杜、離湖公園、霧降の滝公園等
丹後地域	経ヶ岬・碇高原水道施設、碇高原畜産展示資料館等
久美浜地域	東山公園、城山公園、山内施設等

○その他の維持管理経費 8,309千円
- 消耗品費･原材料（施設管理用消耗品等） 118千円
- 燃料費（離湖管理棟灯油代） 5千円
- 光熱水費（トイレ等電気料、上下水道使用料等） 1,464千円
- 修繕料等（崇山森林公園 展望台手すり修繕等） 639千円
- 通信運搬費（離湖公園電話料等） 32千円
- 手数料･保険料（し尿汲取手数料･建物火災保険等） 261千円
- 土地借上料（ブナハウス内山用地等） 869千円
- 負担金（おおみや小町温泉温泉源スタンド電気料負担等） 29千円

- 工事請負費 3,561千円
  丹後温泉源水中ポンプ取替等工事 3,069千円
  看板撤去工事（3か所） 492千円
- 備品購入費（丹後温泉水中ポンプ入替 1台） 1,331千円

○公営プールのあり方検討会議（委員10人、4回開催） 736千円
- 需用費 アンケート用封筒 発送2,400通 19千円
- 通信運搬費 アンケート返信703通 料金受取人払 322千円
- 報償費 委員謝金 270千円
- 費用弁償 委員交通費 125千円

成果・課題

○市内の公園、トイレ、休憩所等の公共用施設を適切に維持管理することにより、市民、観光客等の憩いの場としての安全で快適な施設環境を提供できた。
○公営プールのあり方検討会議4回及び、視察の実施により、詳細な提言が得られた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	
	款	07 商工費	6,767千円	11,374千円	4,607千円	59.4 %	部	商工観光部
	項	01 商工費				(参考)繰越予算額	課	観光振興課
	目	06 観光等施設費				11,374千円		
	事業	50 観光等施設一般経費（繰越）						
まちづくり27の施策		21 滞在型観光・スポーツ観光の促進						

目的	主な財源
下水道の供用開始に伴い、施設の下水道接続等の改修工事を実施するとともにトイレの洋式化を行う。	市債　観光施設整備事業債（合併特例債）　6,100千円

主要な事務・事業の概要

○離湖公園管理棟　下水道接続改修工事　6,767千円

- 工事監理委託料　440千円
- 工事請負費　6,062千円
- し尿汲取手数料　4千円
- 施設清掃委託料　78千円
- 仮設トイレ借上料　33千円
- 下水道加入分担金　150千円

【トイレの水洗化】

男子用：小便器2基、和式便器1基　→　小便器2基、洋式便器1基

女子用：和式便器2基　→　洋式便器2基

成果・課題

公共下水道の供用開始に伴い、トイレの下水道への接続を行うとともに、トイレの洋式化を実施することにより、市民、観光客の利便性、快適性の確保を図った。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	04 衛生費	26,631千円	26,637千円	6千円	99.9％	部	市民環境部
	項	01 保健衛生費				(参考)当初予算額	課	生活環境課
	目	07 環境衛生費				34,306千円		
	事業	08 海岸漂着物対策推進事業【再掲】						
まちづくり27の施策		23 次世代への美しい自然環境の継承						

目的

海岸における良好な景観及び環境の保全を図るため、京都府の補助事業を活用し、地区等に委託して海岸漂着物の回収及び処理を行うとともに、発生抑制対策（ソフト事業）を実施することで、海洋汚染及び海岸漂着物対策を推進する。

主な財源

府補	きょうと地域連携交付金	10千円
府補	海岸漂着物地域対策推進事業補助金（8/10･10/10）	24,734千円

主要な事務・事業の概要

○海岸漂着物処理手数料 13,673千円
- 海岸漂着物処理量 162.83t

○環境保全負担金 163千円
- 市外の処理施設で処理する場合に必要となる受入先自治体への負担金

○海岸漂着物回収処理委託料（地元区、地元団体） 10,951千円
- 市管理海岸分（6海岸） 3,992千円
- 府管理海岸分（11海岸） 6,728千円
- 漂流ごみ（3漁港） 231千円

区分（担当課）	海岸名称
市管理海岸（観光振興課）	【網　野】琴引浜（掛津、遊） 【丹　後】砂方漁港海岸、竹野海岸、中浜海岸、袖志海岸 【久美浜】蒲井海岸
府管理海岸（観光振興課）	【網　野】浅茂川海岸、浜詰海岸、小浜海岸 【丹　後】後ヶ浜海岸、上野平海岸（上野､平）、久僧海岸 【久美浜】箱石湊宮葛野海岸
府管理海岸（管理課）	【丹　後】上向下向海岸、此代海岸、尾和海岸、岩田海岸
漂流ごみ（海業水産課）	【網　野】浜詰漁港、浅茂川漁港 【丹　後】間人漁港

○解体処分等作業委託料（廃船の解体・処分） 1,496千円

○海岸漂着物ボランティア清掃支援 32千円
- 回収漂着物運搬委託料（10件）

○海岸清掃及び環境学習 316千円
- バス運転委託料（市内中学校1年生　389人対象）

成果・課題

○市内17海岸及び3漁港での清掃活動及び、ボランティア清掃支援事業の実施により、市内の海岸美化を促進し、景観保護と環境保全に努めた。
○海岸ごみ拾いイベント等啓発事業の実施により、海ごみ問題の現状や課題を知る機会を提供し、環境保全の意識醸成につながった。
○事業継続のための財源確保に向けて、引き続き、国及び府に対して支援を求めていく必要がある。

【議案第93号】

令和7年度　一般会計決算附属資料

建設部　主要な施策の成果

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	02 総務費	66,150千円	68,906千円	2,756千円	96.0 %	部	建設部
	項	01 総務管理費				(参考)当初予算額	課	都市計画・建築住宅課（都市・地域拠点整備推進室）
	目	08 庁舎管理費				82,226千円		
	事業	07 庁舎整備事業						
まちづくり27の施策		27 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）						

目的

京丹後市総合計画の都市機能構想に基づく都市拠点及び地域拠点の形成に向け、SDGsの達成やSociety5.0、脱炭素社会の実現等の世界的潮流も踏まえ、市民が未来への活力を創造できる魅力的で持続可能なまちづくりのグランドデザイン推進事業として、京丹後市庁舎増築棟等を整備する。

主な財源

市債　網野庁舎別館解体事業債（公共施設等適正管理推進事業債）　3,200千円

主要な事務・事業の概要

○庁舎整備経費　49,464千円
- 工事設計委託料（網野庁舎別館解体設計）　3,864千円
- 移転費　34,085千円
  - 引越委託料（計画策定、移転業務、監理業務）　24,200千円
  - （令和6年度～3か年事業）
  - 各種システム等移転費（複合機、消防システム等移設）
    - 情報通信機器等保守委託料　7,175千円
    - 通信機器等設定業務委託料　430千円
    - 通信運搬費（回線移転）　2,280千円
- システム改修費（備品管理システム）　2,255千円
- 廃棄物処理経費　3,303千円
- 工事請負費（施設警備機器設置工事）　1,338千円
- 備品購入費（2号館AED、芝刈り機、排水ポンプ等）　1,056千円
- 消耗品費（LANケーブル、モニターアーム等）　2,477千円
- 補償費（隣接住宅電波障害補償）　698千円
- 燃料費（自家発電等）　388千円

○峰山庁舎2号館維持等経費　2,118千円
（自動ドア・電気工作物等保守、環境衛生管理、簡易水道検査等）

○庁舎オフィス環境整備経費　14,555千円
- アドバイザー謝金等（1人、4回）　153千円
- 電話無線機器借上料　14,101千円
- 電話無線化ライセンス使用料　248千円
- 工事請負費（既設電話交換設備除却工事費）　53千円

○事務経費（有料道路通行料、駐車場使用料）　13千円

参考		
	繰越明許費を除いた最終予算額	66,289千円
	実質的な予算執行率	99.8%

■令和８年度への繰越事業　2,617千円
- 庁舎整備事業（最終配置への移転）　令和8年5月完了

成果・課題

○令和7年8月に峰山庁舎2号館での総合窓口等の業務を開始した。
○峰山庁舎2号館に市民の憩いや交流を促進する市民利用施設を整備し、開庁時間の利用に加え、閉庁日や閉庁時間には貸館として利用できる整備を図った。
○新たな働き方に対応するオフィス環境を峰山・大宮庁舎に整備できた。
○庁舎整備以降、更なる市民サービスの向上を目指し窓口サービス、新しい働き方等取組みを進めていく必要がある。また、庁舎環境の維持に努める必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	建設部
	款	02 総務費						
	項	01 総務管理費				90.2 %		
	目	08 庁舎管理費	3,071,299千円	3,403,850千円	332,551千円	(参考)繰越予算額	課	都市計画・建築住宅課（都市・地域拠点整備推進室）
	事業	07 庁舎整備事業（繰越）				3,403,850千円		

まちづくり27の施策	27 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）

目的	京丹後市総合計画の都市機能構想に基づく都市拠点及び地域拠点の形成に向け、SDGsの達成やSociety5.0、脱炭素社会の実現等の世界的潮流も踏まえ、市民が未来への活力を創造できる魅力的で持続可能なまちづくりのグランドデザイン推進事業として、京丹後市庁舎増築棟等を整備する。

主な財源		
市債	庁舎整備事業債（合併特例債）	2,753,700千円

主要な事務・事業の概要		
○庁舎整備経費		3,062,807千円
・工事請負費（峰山･大宮庁舎の新築及び改修）		2,807,411千円
・工事監理委託料（峰山･大宮庁舎の新築及び改修）		90,780千円
・建築確認手数料（峰山庁舎2号館）		503千円
・通信運搬費（回線移転）		37千円
・水質検査委託料（隣接家屋事後調査）		48千円
・通信機器等設定業務委託料（震度情報システム等）		2,787千円
・情報通信機器等保守委託料（システム移設）		8,656千円
・備品購入費（峰山庁舎2号館等）		152,585千円
○庁舎オフィス環境整備経費		
・電話無線化システム導入委託料		8,492千円

成果・課題	○峰山庁舎2号館の建設、峰山庁舎1号館及び大宮庁舎の改修工事を完了することができた（最終配置への部署移転は令和8年5月に完了）。 ○新たな働き方に対応するオフィス環境を峰山・大宮庁舎に整備ができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	02 総務費	50,455千円	50,455千円	0千円	100.0 %	部	建設部
	項	01 総務管理費				(参考)当初予算額	課	都市計画・建築住宅課（都市・地域拠点整備推進室）
	目	09 企画費				501千円		
	事業	11 都市拠点等整備まちづくり推進基金						
まちづくり27の施策		09 快適な都市空間の形成						

目的

京丹後市総合計画及び京丹後市都市計画マスタープランに掲げる都市拠点及び地域拠点の整備を円滑に進めることを目的に、都市拠点等整備まちづくり推進基金へ積立を行う。

主な財源

財産収入　都市拠点等整備まちづくり推進基金利子収入　455千円

主要な事務・事業の概要

○都市拠点等整備まちづくり推進基金積立金　50,455千円

（元金分　50,000 千円、 利子分　455 千円）

（参考）基金状況　（単位：千円）

令和6年度末 現在高 ①	令和７年度中増減額			令和7年度末 現在高 ①+②+③+④
	繰入金 ②	利子収入 ③	積立金 ④	
400,422	0	455	50,000	450,877

成果・課題

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	建設部
	款	08 土木費	95,378千円	96,185千円	807千円	99.1 %		
	項	01 土木管理費				(参考)当初予算額	課	管理課
	目	01 土木総務費				100,000千円		
	事業	03 地域協働型小規模公共事業						
まちづくり27の施策		11 高速道路網と安全な生活道路網の整備加速化						

目的

小規模の公共事業について、市と地域が協働して、優先順位、実施箇所、実施方法等を検討のうえ速やかに実施し、安全安心で快適な生活環境の保全及び地区要望の実施促進を図る。

主な財源

繰入金　ふるさと応援基金繰入金　23,000千円

主要な事務・事業の概要

○会計年度任用職員任用経費（技術職員1人）　1,842千円

○地域協働型小規模公共事業（市道、法定外公共物、河川）　93,536千円

- 燃料費　27千円
- 修繕料　71,595千円

※1か所の実施上限額：1,300千円以内

- 重機借上料　8,292千円
- 原材料費　13,622千円

※対象事業の追加内容

- 市道環境整備（除草作業）に対して、1km当たり6Lの燃料を現物支給

（単位：千円）

区分		峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	管理課	計
燃料費	件数	1	4	0	2	0	5	0	12
	金額	1	8	0	3	0	15	0	27
修繕料	件数	45	11	9	17	14	17	93	206
	金額	12,209	6,760	5,028	4,711	6,100	10,442	26,345	71,595
重機借上料	件数	46	20	9	7	7	29	8	126
	金額	2,826	1,831	541	657	434	1,780	223	8,292
原材料費	件数	36	15	14	9	6	31	63	174
	金額	3,309	1,308	960	884	827	2,999	3,335	13,622
合計	件数	128	50	32	35	27	82	164	518
	金額	18,345	9,907	6,529	6,255	7,361	15,236	29,903	93,536

成果・課題

○一つでも多くの地区要望に応えるため、制度拡充（対象事業の追加）を行い、地区要望の実施促進に繋げた。
○非常に多くの市道、法定外公共物（里道・水路）、河川を所有していることから、維持管理について地区や新たなコミュニティ組織との連携の検討を進めていく必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	08 土木費	3,537千円	3,537千円	0千円	100.0 %	部	建設部
	項	01 土木管理費				(参考)当初予算額	課	土木課
	目	01 土木総務費				3,800千円		
	事業	04 公共残土処分場整備事業						
まちづくり27の施策		11 高速道路網と安全な生活道路網の整備加速化						

目的	主な財源
市内の民間指定処分地の受け入れ可能量が減少していることから、公共工事で発生する土砂の受入先を確保するため、市管理の公共残土処分場の整備に向けた候補地選定業務を実施する。	

主要な事務・事業の概要	成果・課題
○調査委託料 3,537千円 ・候補地選定業務	公共残土処分場の整備に向けた候補地選定業務を実施し、比較検討により最も優位性の高い地点を選定することができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	建設部
	款	08 土木費						
	項	01 土木管理費	14,322千円	14,559千円	237千円	98.3 %		
	目	01 土木総務費				(参考)当初予算額	課	管理課
	事業	50 土木総務一般経費				16,003千円		

まちづくり27の施策	11 高速道路網と安全な生活道路網の整備加速化

目的

国及び京都府が実施する土木事業の推進並びに市道及び法定外公共物の管理に係る経費

主な財源

手数料	屋外広告物許可手数料	281千円
手数料	境界確定調査事務手数料	23千円
諸収入	市有自動車損害共済金	240千円

主要な事務・事業の概要

【所管：管理課】

○土木管理事務経費	300千円
・職員旅費、消耗品費、住民票等取得手数料等	
○公用車維持管理経費（7台）	2,277千円
・燃料費、修繕料、自動車登録手数料等	
○光熱費（道路照明等電気代）	1,367千円
○未登記分筆登記委託料（市道川口二号線　他7路線）	3,909千円
○境界復元測量委託料	76千円
○道路台帳システム保守管理委託料	715千円
○道路台帳補正業務委託料	3,600千円
○京都府用地対策連絡協議会負担金	8千円

【所管：管理課（国府事業推進室）】

○山陰近畿自動車道早期実現促進大会開催経費（丹後文化会館）	375千円
・開催日：令和7年11月8日　参加人数：約400人	
○国府事業推進事務経費（職員旅費、有料道路通行料等）	579千円
○道路関係各種協会、協議会等負担金（6団体）	555千円

【所管：土木課】

○土木管理事務経費	61千円
職員旅費、消耗品費、駐車場使用料、有料道路通行料	
○近畿市町村災害復旧相互支援機構負担金	500千円
災害発生時に災害復旧に関わる人材支援等を行う法人に対する負担金	

成果・課題

○市道管理に必要な道路台帳システムの更新、未登記の道路敷地の整理を行い、土木事業を推進することができた。
○促進大会の実施、国府への要望活動により、京都府による山陰近畿自動車道の先線区間の詳細ルート検討が進められた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	08 土木費	40,171千円	94,484千円	54,313千円	42.5 %	部	建設部
	項	01 土木管理費				(参考)当初予算額	課	管理課
	目	02 地籍調査費				101,678千円		
	事業	01 地籍調査事業						
まちづくり27の施策		11 高速道路網と安全な生活道路網の整備加速化						

主な財源

府補　地籍調査事業補助金（3/4）　29,941千円

目的

山陰近畿自動車道の早期整備促進と円滑な土地利用を図るため、網野から府県境の先線ルートについて、先行して境界確定及び測量業務等を実施する。

主要な事務・事業の概要

○会計年度任用職員任用経費（地籍調査事務、3人）　10,588千円

○地籍調査推進委員謝金　224千円
- 委員謝金（俵野地区6人、木津地区5人、下岡地区2人）

○事務経費　391千円
- 職員旅費、消耗品費、通信運搬費、傷害保険料、有料道路通行料等

○公用車維持管理費（3台）　517千円
- 燃料費、修繕料、自動車登録手数料、自動車重量税等

○調査業務用機器経費　924千円
- 地籍調査事務支援システム保守委託料　330千円
- 地籍調査事務支援調査図システム使用料　594千円

○地籍調査業務委託料　27,381千円
- 網野町木津②-1地区（0.99k㎡）閲覧等　2,191千円
  〔閲覧工程のうち原図作成まで、残り工程は繰越〕
- 網野町俵野②地区（0.71k㎡）立会等　23,430千円
- 網野町下岡⑤地区（0.26k㎡）閲覧等　1,760千円

○協議会会費　146千円
- 全国国土調査協会会費

参考		
	繰越明許費を除いた最終予算額	40,330千円
	実質的な予算執行率	99.6%

■令和8年度への繰越事業

地籍調査事業（２地区）（令和8年9月完了予定）　54,154千円

成果・課題

○調査地区（地元希望ルート帯）の調査業務を行い、事業の進捗が図れた。
○今後も地籍調査推進委員、土地所有者等との協力体制を維持し、調査の効率化を図り、事業を進めていく。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	08 土木費	79,646千円	80,390千円	744千円	99.0 %	部	建設部
	項	01 土木管理費				(参考)繰越予算額	課	管理課
	目	02 地籍調査費				80,390千円		
	事業	01 地籍調査事業（繰越）						
まちづくり27の施策		11 高速道路網と安全な生活道路網の整備加速化						

目的

山陰近畿自動車道の早期整備促進と円滑な土地利用を図るため、網野から府県境の先線ルートについて、先行して境界確定及び測量業務等を実施する。

主な財源

府補	地籍調査事業補助金（3/4）	59,732千円

主要な事務・事業の概要

○地籍調査推進委員謝金　76千円
- 委員謝金（木津地区9人、俵野地区3人）

○事務経費　228千円
- 消耗品費、燃料費、傷害保険料

○地籍調査事業委託料　79,342千円
- 網野町俵野①地区（0.72k㎡）…立会等　27,699千円
- 網野町木津①-3地区（1.29k㎡）…立会等　47,300千円
- 網野町木津②-1地区（0.99k㎡）…閲覧等　4,343千円

〔閲覧工程のうち地籍図・地籍簿作成〕

成果・課題

調査地区（地元希望ルート帯）の調査業務を行い、事業の進捗が図れた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	建設部
	款	08 土木費	240,670千円	354,640千円	113,970千円	67.8 %		
	項	02 道路橋梁費				(参考)当初予算額	課	管理課
	目	01 道路橋梁維持改良費				362,562千円		
	事業	01 道路橋梁維持補修事業						
まちづくり27の施策		11 高速道路網と安全な生活道路網の整備加速化						

目的

市が管理する道路施設や交通安全施設の維持修繕及び道路沿いの草刈りを行い、道路利用者の安全を図る。
また、道路パトロール作業員による日常点検を実施し、道路損傷等の早期発見、早期修繕に努める。

主な財源

市債	道路橋梁整備事業債（緊急自然災害防止対策事業債）	175,300千円

主要な事務・事業の概要

【所管：管理課】

○道路パトロール経費	17,858千円
・会計年度任用職員任用経費（作業員、4人）	15,880千円
・消耗品費、ごみ処理手数料、チェーンソー修繕料等	491千円
・機械機器借上料（ハンマードリル、水中ポンプ）	8千円
・公用車維持管理経費（2台）	1,143千円
・備品購入費（転圧機1台、草刈機4台）	336千円
○交通安全施設修繕及び設置工事	13,351千円
・修繕料	7,510千円
カーブミラー（31か所）、ガードレール（12か所）他	
・工事請負費	5,841千円
区画線（5路線）、グリーンライン（5路線）	
○道路環境整備委託料（市道草刈）	30,407千円
○雑木伐採委託料	2,782千円
○小動物等回収委託料（22回）	894千円

【所管：土木課】

○市道維持工事（17路線）	175,329千円
○市道小坂オベソ線仮橋設置に伴う土地補償料	49千円

参考		
	繰越明許費を除いた最終予算額	241,640千円
	実質的な予算執行率	99.5%

■令和8年度への繰越事業

・市道維持工事（4路線）（令和8年12月完了予定）	113,000千円

成果・課題

○老朽化及び経年損耗等により、通行に支障が生じないよう道路構造物の早期修繕に努め、道路通行の安全確保を図ることができた。
○道路構造物の老朽化及び経年損耗等に対応していくため、引き続き、道路パトロールを行い日常的な点検と早期修繕を進めていく。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	08 土木費	33,135千円	55,500千円	22,365千円	59.7 %	部	建設部
	項	02 道路橋梁費				(参考)繰越予算額	課	管理課
	目	01 道路橋梁維持改良費				55,500千円		
	事業	01 道路橋梁維持補修事業（繰越）						
まちづくり27の施策		11 高速道路網と安全な生活道路網の整備加速化						

主な財源		
市債	道路橋梁整備事業債（合併特例債）	10,800千円
市債	道路橋梁整備事業債（緊急自然災害防止対策事業債）	21,700千円

目的

市が管理する道路施設の維持修繕を行い、道路利用者の安全を図る。

主要な事務・事業の概要

【所管：土木課】

○市道維持工事（4路線） 33,135千円

・舟山茂手谷線（大宮町河辺）	L=265m	舗装工	11,408千円
・夕日港線（網野町浜詰）	L=57m	落石対策	7,349千円
・城嶋線（丹後町間人）	L=20m	路肩崩壊	12,204千円
・三本松線（久美浜町尉ケ畑）	L=13m	路肩崩壊	2,174千円

成果・課題

老朽化及び経年損耗等により、通行に支障が生じないよう道路施設の補修を実施し、安全・安心な通行の確保を図ることができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	建設部
	款	08 土木費	260,816千円	381,965千円	121,149千円	68.2 %		
	項	02 道路橋梁費				(参考)当初予算額	課	土木課
	目	01 道路橋梁維持改良費				256,616千円		
	事業	02 道路橋梁新設改良事業						
まちづくり27の施策		11 高速道路網と安全な生活道路網の整備加速化						

目的

社会資本整備総合交付金及び道路メンテナンス事業補助金を活用し、道路新設改良工事及び橋梁点検、橋梁修繕工事を行い、道路の安全性と利便性を高める。

主な財源

国補	社会資本整備総合交付金（61.05/100、55.5/100）	77,933千円
国補	道路ﾒﾝﾃﾅﾝｽ事業補助金（61.05/100）	55,821千円
市債	道路橋梁整備事業債（過疎債）	107,300千円

主要な事務・事業の概要

○道路新設改良　163,627千円

【継続】

・杉谷安線（峰山町杉谷）	L=110m	道路拡幅	5,162千円
・石ヶ下岡ノ坊線（峰山町荒山）	L=274m	側溝改良	92,806千円
・上野箱石線（網野町木津）	L=200m	道路新設	45,651千円
・尾坂線（網野町三津）	L=40m	法面工	20,008千円

○橋梁修繕等　92,670千円

- 橋梁点検業務（166橋）　35,924千円
- 橋梁修繕（3橋）　56,746千円

○事務費等　4,519千円

職員旅費、消耗品費、システム更新委託料、積算データ使用料等

参考		
	繰越明許費を除いた最終予算額	261,053千円
	実質的な予算執行率	99.9%

■令和8年度への繰越事業　120,912千円

・道路改良（尾坂線）	令和9年3月完了予定	37,932千円
・橋梁修繕（角延橋、大間橋）	令和8年9月完了予定	79,980千円
・橋梁改築負担金（朝日橋）	令和9年3月完了予定	3,000千円

成果・課題

○道路施設の新設改良工事及び修繕工事を交付金及び補助金を活用し実施することにより、安全・安心な通行の確保を図ることができた。
○今後も交付金及び補助金を活用した事業を実施し、生活の利便性の向上と、安全・安心で快適な道づくりを推進していく。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	建設部
	款	08 土木費						
	項	02 道路橋梁費	205,758千円	245,500千円	39,742千円	83.8 %		
	目	01 道路橋梁維持改良費				(参考)繰越予算額	課	土木課
	事業	02 道路橋梁新設改良事業（繰越）				245,500千円		
まちづくり27の施策		11 高速道路網と安全な生活道路網の整備加速化						

主な財源		
国補	道路ﾒﾝﾃﾅﾝｽ事業補助金（61.05/100）	62,054千円
市債	道路橋梁整備事業債（合併特例債）	117,300千円
市債	道路橋梁整備事業債（過疎債）	20,200千円

目的

道路メンテナンス事業補助金を活用し、橋梁修繕工事等を行い、道路の安全性と利便性を高める。

主要な事務・事業の概要

○橋梁修繕	173,842千円
・橋梁調査補修設計業務（5橋）	24,760千円
・橋梁補修工事（5橋）	149,082千円
○橋梁改築負担金	31,916千円
・下岡橋（福田川）（網野町網野）	16,884千円
・上石橋（福田川）（網野町切畑）	8,603千円
・島大橋（川上谷川）（久美浜町島）	6,429千円

成果・課題

橋梁修繕工事等を、補助金を活用し実施することにより、安全・安心な通行の確保を図ることができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	建設部
	款	08 土木費	866,833千円	874,766千円	7,933千円	99.0 %		
	項	02 道路橋梁費				(参考)当初予算額	課	管理課
	目	02 除雪対策費				299,948千円		
	事業	01 除雪対策事業						
まちづくり27の施策		11 高速道路網と安全な生活道路網の整備加速化						

目的

速やかな除雪作業を行い、積雪時における円滑な道路交通を確保し、市民生活の安全・安心を確保する。

主な財源

国補	社会資本整備総合交付金（2/3）	30,077千円
国補	臨時道路除雪事業費補助金（1/2）	241,000千円
府委	府道除雪作業委託金	80,146千円
府委	歩道除雪作業委託金	3,483千円
府委	丹後縦貫林道除雪作業委託金	4,044千円

主要な事務・事業の概要

○除雪機械等維持管理費 148,901千円
- 消耗品費 39,744千円
  （タイヤチェーン、排土板等エッジ、バッテリー等）
- 燃料代 2,054千円
- 光熱水費（除雪車庫電気代） 145千円
- 修繕料（点検整備、特定自主検査等） 95,378千円
- その他経費（回送費、撤収費、保険料等） 11,580千円

○除雪作業委託料 655,659千円
- 業者委託（排雪作業、融雪剤散布作業含む） 631,867千円
- 地区委託 23,792千円

○除雪用機械借上料（50台） 62,203千円

○除雪機械運転技能講習補助金（7人分：補助率1／2） 70千円

○令和7年度京丹後市除雪計画《概要》
- 除雪期間：令和7年12月1日～令和8年3月15日
- 路線数及び延長：2,826路線、総延長 794.34ｋｍ
- 配備機械：322台（市所有174台、業者借上98台、レンタル50台）
- 委託契約者数：157団体（70業者、87地区）

○除雪・排雪作業出動日数内訳

町　名	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計
全域出動	9日	8日	5日	5日	11日	2日	40日
一部出動	10日	8日	10日	11日	10日	19日	68日
排雪作業	16日	13日	6日	2日	14日	3日	54日

成果・課題

○除雪計画に基づき、市道・府道委託路線及び通学路を、委託業者及び委託地区と連携して、速やかな除雪作業を行った。
○短期間に多量の除雪が必要となる豪雪時においては、除雪経費の負担を軽減する観点から、引き続き国府へ財源確保の要望を行う。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	08 土木費	19,092千円	19,092千円	0千円	100.0 %	部	建設部
	項	02 道路橋梁費				(参考)当初予算額	課	管理課
	目	02 除雪対策費				18,432千円		
	事業	02 除雪機械等整備事業						
まちづくり27の施策		11 高速道路網と安全な生活道路網の整備加速化						

目的	主な財源
老朽化した大型除雪機械を更新し、除雪体制を整える。	市債　除雪機械等整備事業債（過疎債）　18,400千円

主要な事務・事業の概要

○除雪機械購入　19,092千円

【業者用】

除雪機械更新　1台（5ｔ級）　9,896千円

配備場所：大宮町域内

除雪機械更新　1台（3ｔ未満）　4,268千円

配備場所：大宮町域内

【地区貸与用】

除雪機械更新　1台（3ｔ未満）　4,268千円

配備場所：大宮町周枳区

※京都府払下げ車両

乗用型　3台（11ｔ級）　660千円

成果・課題

除雪計画に基づいた除雪作業を行うため、除雪機械の新規配備や老朽化した機械を更新することで、除雪体制の確保に努めた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	08 土木費	12,000千円	12,000千円	0千円	100.0 %	部	建設部
	項	03 河川費				(参考)当初予算額	課	管理課
	目	01 河川総務費				20,000千円		
	事業	01 急傾斜地崩壊対策事業						
まちづくり27の施策		07 災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり						

目的	急傾斜地の崩壊を未然に防止し、安全・安心を確保するため、京都府が実施する急傾斜地崩壊対策事業費用の一部を負担する。
主な財源	

主要な事務・事業の概要

○急傾斜地崩壊対策事業負担金（3か所） 12,000千円

・大宮町谷内地区（令和元年度～令和11年度）【継続】 10,600千円

《概要》

全体事業費：450,000千円（令和7年度：106,000千円）
保全対象 ：人家23戸、区民ふれあいセンター、市道
事業内容 ：擁壁工
市負担金 ：10,600千円（106,000千円×10%）

・丹後町谷地区（令和5年度～令和10年度）【継続】 400千円

《概要》

全体事業費：420,000千円（令和7年度：4,000千円）
保全対象 ：人家16戸、集会所、市道
事業内容 ：用地測量
市負担金 ：400千円（4,000千円×10%）

・峰山町泉地区（令和6年度～令和12年度）【継続】 1,000千円

《概要》

全体事業費：500,000千円（令和7年度：10,000千円）
保全対象 ：人家22戸、府道、市道
事業内容 ：用地測量
市負担金 ：1,000千円（10,000千円×10%）

成果・課題

○災害等による急傾斜の崩壊を未然に防ぐため、急傾斜地崩壊対策事業の推進を図ることができた。
○京都府が策定した優先度評価による中長期整備計画に基づき、計画的に事業を実施していく必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	建設部
	款	08 土木費						
	項	03 河川費	80,096千円	80,101千円	5千円	99.9 %		
	目	02 河川維持改良費				(参考)当初予算額	課	管理課
	事業	01 河川維持補修事業				90,875千円		
まちづくり27の施策		07 災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり						

目的

河川の除草を行うことにより、河川環境及び景観を保全し、通水断面を確保するとともに、通水等に支障が生じている河川施設の維持修繕を行い、浸水被害、災害等の発生を未然に防止する。

主な財源

府委	河川環境整備費委託金	54,894千円
府委	湯川放水路樋門管理委託金	237千円
府委	室谷川樋門管理委託金	264千円
府委	椎木谷川樋門管理委託金	240千円
市債	河川整備事業債（緊急自然災害防止対策事業債）	22,500千円

主要な事務・事業の概要

【所管：管理課】

○河川草刈委託料（市管理河川） 1,835千円

委託先：地区等、作業単価：25円/㎡ （単位：千円）

町　名	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合　計
委託先	7	2	8	1	3	5	26
金　額	823	154	206	50	147	455	1,835

○河川環境整備委託料（府管理河川） 54,894千円

委託先：地区、作業単価：25円/㎡ （単位：千円）

町　名	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合　計
委託先	19	11	14	11	13	49	117
金　額	5,664	3,957	2,349	8,727	9,891	24,306	54,894

○湯川放水路樋門管理委託料（委託先：網野町木津地区） 237千円

○椎木谷川樋門管理委託料（委託先：網野町下岡地区） 240千円

○室谷川樋門管理委託料（委託先：網野町下岡地区） 264千円

○倒木処理手数料（公庄川：網野町郷地内） 100千円

【所管：土木課】

○河川維持工事（5河川） 22,526千円

• 中ノ谷川（大宮町久住）	L=5.6m	護岸修繕	4,678千円
• 公庄川（網野町生野内）	L=7.2m	護床工	3,319千円
• 引原川（網野町木津）	L=8m	護岸修繕	1,566千円
• 滝谷川（丹後町大山）	L=77m	護岸修繕	11,051千円
• 三谷川（久美浜町三谷）	L=4.3m	護床工	1,912千円

成果・課題

○河川に繁茂する雑草の除去や、傷んだ護岸等の工事を行うことにより、河川環境の保全及び浸水被害、災害等の未然防止に資することができた。
○河川の堤防や護岸の損傷状況等を把握するために、河川法に基づき定期的な河川パトロール（年1回）を今後も継続して実施する。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	建設部
	款	08 土木費						
	項	03 河川費	33,410千円	40,100千円	6,690千円	83.3 %		
	目	02 河川維持改良費				(参考)繰越予算額	課	管理課
	事業	01 河川維持補修事業（繰越）				40,100千円		

まちづくり27の施策	07 災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり

目的	通水等に支障が生じている河川等施設の維持修繕を行い、浸水被害、災害等の発生を未然に防止する。

主な財源			
	市債	河川浚渫事業債（緊急浚渫推進事業債）	31,700千円
	市債	河川整備事業債（合併特例債）	1,500千円

主要な事務・事業の概要

【所管：土木課】

○河川等維持工事 33,410千円

- 田久谷川（峰山町新町） L=409m 浚渫工 14,534千円
- 奈具川（弥栄町黒部） L=680m 浚渫工 17,250千円
- アメニティー久美浜排水路 スライドゲート設置1基 1,626千円

成果・課題

河川の堆積土砂の浚渫やスライドゲートの設置により、浸水被害、災害等の未然防止に資することができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	建設部
	款	08 土木費						
	項	03 河川費	31,973千円	45,323千円	13,350千円	70.5 %		
	目	02 河川維持改良費				(参考)繰越予算額	課	土木課
	事業	02 河川改修事業（繰越）				45,323千円		

まちづくり27の施策	07 災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり

目的	通水等に支障が生じている河川施設の改修を行い、浸水被害の解消・軽減、災害等の発生を未然に防止する。

主な財源	市債　河川整備事業債（合併特例債）	30,400千円

主要な事務・事業の概要

○河川改修　31,973千円

【継続】

・大糸川（峰山町赤坂）　L=66m　河川改修

成果・課題

河川施設の改修事業を実施することにより、浸水被害の解消・軽減、災害等の発生の未然防止に向け進捗を図ることができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	
	款	08 土木費	6,206千円	24,931千円	18,725千円	24.8 %	部	建設部
	項	04 都市計画費				(参考)当初予算額	課	都市計画・建築住宅課
	目	01 都市計画総務費				25,138千円		
	事業	50 都市計画総務一般経費						
まちづくり27の施策		09 快適な都市空間の形成						

目的

京丹後市総合計画の都市機能構想に基づく都市拠点及び地域拠点の形成に向け、都市計画マスタープランの改定・立地適正化計画の策定を行い、持続可能なまちづくりを推進する。

主な財源

国補	集約都市形成支援事業費補助金	2,728千円
府補	土地利用規制対策費交付金	46千円

主要な事務・事業の概要

○都市計画審議会開催経費（都市計画マスタープラン改定） 291千円
　都市計画審議会
　・委員報酬（20人、3回） 250千円
　・費用弁償 41千円

○立地適正化計画等検討会議開催経費 131千円
　立地適正化計画等検討会議
　・委員謝金（11人、3回） 90千円
　・費用弁償 41千円

○都市計画マスタープラン改定･立地適正化計画策定経費 5,600千円

○職員旅費、有料道路通行料等 77千円

○参考図書購入等 33千円

○光熱水費（東本町ふれあい公園水道料） 13千円

○都市計画関連各種協会負担金 61千円
　・京都府都市計画協会 5千円
　・全国街路事業促進協議会 8千円
　・近畿地方都市美協議会 10千円
　・日本公園緑地協会 38千円

参考		
	繰越明許費を除いた最終予算額	6,221千円
	実質的な予算執行率	99.8%

■令和8年度への繰越事業 18,710千円
・立地適正化計画策定事業 令和9年3月完了予定

成果・課題

○都市計画マスタープランについて、都市計画審議会において改定案を審議し改定した。
○立地適正化計画策定に向け、立地適正化計画等検討会議において方向性等の検討を進めた。
○都市計画に関する事務事業を円滑に行うことができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	08 土木費	1,121千円	1,156千円	35千円	96.9 %	部	建設部
	項	04 都市計画費				(参考)当初予算額	課	都市計画・建築住宅課
	目	02 下水道費				1,334千円		
	事業	01 都市下水路等維持管理事業						
まちづくり27の施策		09 快適な都市空間の形成						

目的	災害に強いまちづくりを推進するため、都市下水路施設の維持管理を行い、住宅等への浸水被害を防止する。
主な財源	

主要な事務・事業の概要

○都市下水路維持修繕工事（風呂川） 927千円

根継工　L=10m

○都市下水路維持管理経費 194千円

・修繕料

成果・課題

○風呂川の維持工事により都市下水路の機能維持を図った。
○都市下水路施設の適切な維持管理により市民生活の安全確保を図ることができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	08 土木費	128,324千円	249,098千円	120,774千円	51.5 %	部	建設部
	項	04 都市計画費				(参考)当初予算額	課	都市計画・建築住宅課
	目	03 都市公園費				253,236千円		
	事業	01 都市公園等維持整備事業						
まちづくり27の施策		09 快適な都市空間の形成						

目的

都市公園を適正に維持管理し、市民が快適で安全・安心に利用できるようにする。

主な財源

市債	過疎地域持続的発展特別事業債	30,200千円
市債	都市公園整備事業債（過疎債）	60,800千円

主要な事務・事業の概要

○八丁浜シーサイドパーク維持管理経費　32,182千円

【所管：都市計画・建築住宅課】

- 指定管理委託料　17,600千円
  NPO法人網野スポーツクラブ（令和7年度～令和11年度）
- 海浜地区西側トイレ下水道接続工事
  工事請負費、監理委託　13,799千円
  その他（汚泥引抜、下水道加入分担金）　783千円

○峰山途中ケ丘公園・峰山総合公園維持管理経費　96,142千円

【所管：生涯学習課（スポーツ推進室）】

- 指定管理委託料　45,005千円
  （公財）京丹後市公園緑化事業団（令和3年度～令和7年度）
- 修繕（峰山途中ケ丘公園：器具庫、総合公園：通用口ドア）　1,092千円
- 施設維持工事（峰山途中ケ丘公園木製遊具　ほか）　2,694千円
- 公認検定経費（検定補助業務、宿泊費）　685千円
- 峰山途中ケ丘公園東側駐車場整備
  工事請負費（前払い金）　46,440千円
  土地補償費　24千円

【所管：都市計画・建築住宅課】

- 用地賃借料（借上面積：1,995㎡）　202千円

参考		
	繰越明許費を除いた最終予算額	128,462千円
	実質的な予算執行率	99.9%

■令和8年度への繰越事業　120,636千円

- 峰山途中ケ丘公園東側駐車場整備　令和8年12月完了予定

（参考）都市公園利用状況（令和7年度）

施設名	利用者数
八丁浜シーサイドパーク	37,689人
八丁浜有料駐車場	7,792台
峰山途中ケ丘公園	25,092人
峰山総合公園	25,366人

成果・課題

○都市公園の維持管理を適正に実施し、利用者の安全で安心な利用に資することができた。
○トイレ下水道接続や、遊具修繕などを実施し、利用者の安全性や利便性を確保した。
○はごろも陸上競技場の第三種公認及びグランドゴルフコース認定の更新を受け、公式競技活動等に対応できる環境を確保した。
○峰山途中ケ丘公園の駐車場整備工事に着手し、駐車場の拡充を進めた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	08 土木費	7,638千円	7,663千円	25千円	99.6 %	部	建設部
	項	05 住宅費				(参考)当初予算額	課	都市計画・建築住宅課
	目	01 住宅管理費				10,543千円		
	事業	03 住宅･建築物耐震改修等事業						
まちづくり27の施策		10 安全でうるおいのある住環境の形成						

目的

昭和56年以前の旧耐震基準で建てられた木造住宅の耐震診断・耐震改修等を推進し、地震による建物等の倒壊から住民の生命・財産を守るとともに減災を図る。

主な財源

国補	建築物耐震改修等事業費補助金（1/2、7/19）	3,560千円
府補	建築物耐震改修等事業費補助金（1/4、6/19）	2,030千円

主要な事務・事業の概要

○木造住宅耐震改修等事業費補助金　7,100千円

・耐震改修

評点1.0以上	1,900千円 × 1件	1,900千円
評点0.7以上～1.0未満	1,200千円 × 3件	3,600千円
・簡易耐震改修	400千円 × 4件	1,600千円

○木造住宅耐震診断士派遣

・木造住宅耐震診断委託料	52千円 × 10件	520千円

○事務経費（事務消耗品費）　18千円

成果・課題

○耐震診断士派遣や耐震改修工事を支援することにより、市民の安全・安心な住まい整備とともに安全確保を図ることができた。
○旧耐震基準の木造住宅について、引き続き耐震改修等の制度周知に努め、耐震化を促進する必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	建設部
	款	08 土木費						
	項	05 住宅費	4,855千円	4,900千円	45千円	99.0 %		
	目	01 住宅管理費				(参考)当初予算額	課	都市計画・建築住宅課
	事業	50 住宅一般経費				6,084千円		
まちづくり27の施策		10 安全でうるおいのある住環境の形成						

目的	主な財源
住宅困窮者への住宅提供のため、市営住宅の入居募集及び既入居者の適切な管理事務を行う。	使用料　市営住宅使用料現年度分　4,272千円

主要な事務・事業の概要

○市営住宅入居者選考委員会開催経費　49千円
　選考委員8人（うち報酬支払対象者7人）
　・委員報酬（7人、2回）　44千円
　・委員費用弁償　5千円

○会計年度任用職員任用経費（育休代替1人）　3,329千円

○事務経費　230千円
　・各種研修参加負担金、有料道路通行料　101千円
　・消耗品費（事務用品、建築･公営住宅関係図書）　129千円

○公営住宅管理システム保守管理委託料　156千円

○使用料及び賃借料
　・建築積算ソフトウェア･物価データ使用料　583千円

○備品購入費（積算システム用PC　2台、HDD　1台）　508千円

成果・課題

市営住宅空家入居募集を３回行うとともに、特定公共賃貸住宅4戸及び定住促進住宅3戸を含む市営住宅252戸の入居管理と運営を行うことができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	建設部
	款	08 土木費	345,802千円	345,859千円	57千円	99.9 %		
	項	05 住宅費				(参考)当初予算額	課	都市計画・建築住宅課
	目	02 市営住宅費				461,259千円		
	事業	01 市営住宅維持管理事業						
まちづくり27の施策		10 安全でうるおいのある住環境の形成						

目的

公営住宅ストック総合活用計画に基づく建替を推進するとともに、公営住宅と特定公共賃貸住宅を適正に維持管理し、良好な住宅の提供により生活の安定と社会福祉の増進を図る。

主な財源

使用料	市営住宅使用料現年度分	8,034千円
手数料	督促手数料	15千円
手数料	市営住宅車庫証明手数料	1千円
国補	社会資本整備総合交付金（1/2以内）	87,480千円
諸収入	相続財産清算人予納金返還金	170千円
市債	市営住宅改修事業債（公営住宅建設事業債）	242,600千円

主要な事務・事業の概要

○維持管理経費 12,924千円
- 消耗品費、修繕料、通信運搬費 8,205千円
- 手数料 907千円
  官報掲載料、相続財産清算人予納金
  （死亡による退去後相続人不存在住戸の残置物処分）
  浄化槽法定検査、ごみ処理
- 保全管理経費 1,017千円
  敷地の草刈り、施設清掃、消防設備等の保守点検等
- 土地借上料 2,795千円
  成願寺団地、堤団地、和田野団地、芋野団地、松原団地、小浜団地

○市営住宅周枳団地建替（2階建8戸、平屋建2戸） 330,887千円
- 工事請負費 324,148千円
- 工事監理等委託料 5,456千円
- 上下水道加入分担金 798千円
- 建築確認手数料 485千円

○市営住宅奥大野団地用地測量登記経費 1,991千円

成果・課題

○公営住宅ストック総合活用計画に基づき、周枳団地については建替事業を進め、奥大野団地については用途廃止に向けた用地測量を行い、住宅の適正管理を図った。
○市営住宅の修繕等を実施し、良好な住環境を提供するとともに、安全・安心な住宅の維持に努めた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	08 土木費	3,152千円	3,200千円	48千円	98.5 %	部	建設部
	項	06 港湾費				(参考)当初予算額	課	管理課
	目	01 港湾総務費				3,600千円		
	事業	01 ｱﾒﾆﾃｨｰ久美浜管理事業						
まちづくり27の施策		23 次世代への美しい自然環境の継承						

目的	主な財源
アメニティー久美浜公園を適正に管理し、市民及び観光客へ憩いの場を提供する。	府委　ｱﾒﾆﾃｨｰ久美浜管理委託金　2,213千円

主要な事務・事業の概要

○維持管理費　272千円
- 消耗品費、光熱水費

○アメニティー久美浜公園管理委託料　2,880千円
- 除草作業、芝生管理、トイレ清掃等

※アメニティー久美浜公園（全体面積：28,154.39㎡）

京都府と京丹後市が整備した施設を一体的に管理しているものであり、京都府施設の管理に係る経費については、京都府から委託金を受ける。

（面積内訳）

京都府	10,575.29㎡
京丹後市	17,579.10㎡

成果・課題

アメニティー久美浜公園の適正な管理により、市民や観光客へ憩いの場を提供することができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	建設部
	款	08 土木費	1,516千円	1,520千円	4千円	99.7 %		
	項	06 港湾費				(参考)当初予算額	課	管理課
	目	01 港湾総務費				1,907千円		
	事業	50 港湾総務一般経費						
まちづくり27の施策		23 次世代への美しい自然環境の継承						

目的

久美浜港湾の漂着物等の清掃業務を行い、港湾環境及び景観を保全する。

主な財源

府補　海岸漂着物地域対策推進事業補助金（10/10）　1,324千円

主要な事務・事業の概要

○久美浜港湾清掃業務委託料　1,324千円

海岸名	委託先	回収量	金額
久美浜海岸	十楽区	1,080 kg	144千円
	西本町区	420 kg	182千円
浦明神崎海岸	浦明区	3,770 kg	293千円
	長柄区	530 kg	165千円
	神崎区	1,310 kg	174千円
湊宮葛野海岸	葛野区	3,910 kg	366千円
	湊宮区	―	―
合計		11,020 kg	1,324千円

※湊宮区は、京都府による港湾工事が施工されたため清掃作業は未実施

○除草作業委託料（十楽埋立地）　92千円

○協会負担金　100千円

- 京都府海岸協会負担金　20千円
- 全国海岸協会負担金　30千円
- 日本港湾協会負担金　50千円

成果・課題

○京都府から受託した久美浜港湾内の清掃業務において、港湾に隣接している自治会へ再委託し、港湾の環境保全を図ることができた。
○豪雨時等に河川から港湾に流れ込む大量の漂着物等の堆積に対しても、引き続き、緊急対応ができるよう京都府に要望していく。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室
	款	02 総務費	715千円	774千円	59千円	92.3 %		
	項	01 総務管理費				(参考)当初予算額	課	政策企画課
	目	09 企画費				5,034千円		
	事業	12 都市拠点等整備推進事業【再掲】						
まちづくり27の施策		09 快適な都市空間の形成						

目的	主な財源
公共サービス全体に係る公民連携推進のため、行政と民間事業者がともに機運醸成及びノウハウの蓄積を図る。 都市拠点公共施設整備の望ましいあり方について検討するため、検討会議を開催するとともに、市民向け広聴会及び講演会を開催する。	

主要な事務・事業の概要

【所管：政策企画課】

○公民連携推進経費	53千円
・普通旅費	33千円
・視察負担金	20千円

【所管：都市計画・建築住宅課（都市・地域拠点整備推進室）】

○都市拠点公共施設整備基本計画等検討会議経費	189千円
・委員謝金（10人、3回）	130千円
・委員費用弁償	30千円
・有料道路通行料等	29千円

【所管：都市計画・建築住宅課（都市・地域拠点整備推進室）】

○市民向け広聴会及び講演会経費	473千円
・アドバイザー謝金	150千円
・普通旅費	7千円
・印刷製本費等	308千円
・会場借上料	8千円

成果・課題

○公民連携に係る先進地視察や促進イベントへの参加を通じ、民間提案制度の創設など、公民連携を推進した。
○9月議会における関連予算の否決を受け、都市拠点公共施設整備の望ましいあり方について、都市拠点検討会議で報告書を取りまとめた。
○市民広聴会を開催し、都市拠点公共施設整備事業の周知と市民意見の聴取を行った。
○図書館とまちづくりに関する講演会を開催し、まちづくりの核となる図書館への理解を深めた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	市民環境部
	款	04 衛生費	26,631千円	26,637千円	6千円	99.9 %		
	項	01 保健衛生費				(参考)当初予算額	課	生活環境課
	目	07 環境衛生費				34,306千円		
	事業	08 海岸漂着物対策推進事業【再掲】						
まちづくり27の施策		23 次世代への美しい自然環境の継承						

目的

海岸における良好な景観及び環境の保全を図るため、京都府の補助事業を活用し、地区等に委託して海岸漂着物の回収及び処理を行うとともに、発生抑制対策（ソフト事業）を実施することで、海洋汚染及び海岸漂着物対策を推進する。

主な財源

府補	きょうと地域連携交付金	10千円
府補	海岸漂着物地域対策推進事業補助金（8/10･10/10）	24,734千円

主要な事務・事業の概要

○海岸漂着物処理手数料 13,673千円
- 海岸漂着物処理量 162.83t

○環境保全負担金 163千円
- 市外の処理施設で処理する場合に必要となる受入先自治体への負担金

○海岸漂着物回収処理委託料（地元区、地元団体） 10,951千円
- 市管理海岸分（6海岸） 3,992千円
- 府管理海岸分（11海岸） 6,728千円
- 漂流ごみ（3漁港） 231千円

区分（担当課）	海岸名称
市管理海岸（観光振興課）	【網　野】琴引浜（掛津、遊） 【丹　後】砂方漁港海岸、竹野海岸、中浜海岸、袖志海岸 【久美浜】蒲井海岸
府管理海岸（観光振興課）	【網　野】浅茂川海岸、浜詰海岸、小浜海岸 【丹　後】後ヶ浜海岸、上野平海岸（上野､平）、久僧海岸 【久美浜】箱石湊宮葛野海岸
府管理海岸（管理課）	【丹　後】上向下向海岸、此代海岸、尾和海岸、岩田海岸
漂流ごみ（海業水産課）	【網　野】浜詰漁港、浅茂川漁港 【丹　後】間人漁港

○解体処分等作業委託料（廃船の解体・処分） 1,496千円

○海岸漂着物ボランティア清掃支援 32千円
- 回収漂着物運搬委託料（10件）

○海岸清掃及び環境学習 316千円
- バス運転委託料（市内中学校1年生　389人対象）

成果・課題

○市内17海岸及び3漁港での清掃活動及び、ボランティア清掃支援事業の実施により、市内の海岸美化を促進し、景観保護と環境保全に努めた。
○海岸ごみ拾いイベント等啓発事業の実施により、海ごみ問題の現状や課題を知る機会を提供し、環境保全の意識醸成につながった。
○事業継続のための財源確保に向けて、引き続き、国及び府に対して支援を求めていく必要がある。

【議案第93号】

令和7年度　一般会計決算附属資料

上下水道部　主要な施策の成果

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	04 衛生費	1,914千円	1,914千円	0千円	100.0 %	部	上下水道部
	項	01 保健衛生費				(参考)当初予算額	課	施設課
	目	07 環境衛生費				3,642千円		
	事業	03 浄化槽設置整備事業						
まちづくり27の施策		13 きれいな水を循環させる上下水道の整備						

主な財源		
国補	循環型社会形成推進交付金（1/3）	505千円
府補	市町村上下水道経営基盤強化交付金（1/3）	638千円

目的

浄化槽設置整備事業の対象区域において、浄化槽を設置する方に対して補助金を交付し、公共用水域の水質保全と生活環境の改善を図る。

主要な事務・事業の概要

○浄化槽設置整備事業費補助金　1,914千円

人　槽	補助金額	設置基数	合　計
5人槽	390千円	2基	780千円
7人槽	474千円	1基	474千円
10人槽	660千円	1基	660千円
合　計		4基	1,914千円

成果・課題

○浄化槽設置整備事業の対象区域において、浄化槽設置者に補助金を交付することにより、浄化槽の設置費用の負担軽減が図られ、水洗化を促進することができた。
○同区域において、公共用水域の水質保全と生活環境の改善を図るため、浄化槽による水洗化の促進に向け、引き続き設置費用の負担軽減を図っていく必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	04 衛生費	3,850千円	3,850千円	0千円	100.0 %	部	上下水道部
	項	01 保健衛生費				(参考)当初予算額	課	経営総務課
	目	07 環境衛生費				6,000千円		
	事業	05 水洗化推進支援事業						
まちづくり27の施策		13 きれいな水を循環させる上下水道の整備						

目的	主な財源
既存住宅の新規排水設備工事を行う方に対して補助金を交付することにより、水洗化の促進及び地域経済の活性化を図る。	

主要な事務・事業の概要

○水洗化推進支援事業補助金　3,850千円

区　分	補助金額	件　数	合　計
一般世帯	50千円	17件	850千円
高齢者世帯	200千円	15件	3,000千円
合　計		32件	3,850千円

〈内　訳〉

町　別	件　数
大　宮	3件
網　野	29件
合　計	32件

成果・課題

○既存住宅において、市内の下水道排水設備指定工事業者を利用して、供用開始から3年以内に新規排水設備工事を行った方に対して、その工事費用の一部を補助することにより水洗化を促進し、地域経済の活性化を図ることができた。
○普及推進員による推進活動に加え、パンフレットや広報紙等を通じて下水道事業に対する理解や各種接続支援策の周知を図り、早期接続推進に努める。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	04 衛生費	341,651千円	341,651千円	0千円	100.0 %	部	上下水道部
	項	01 保健衛生費				(参考)当初予算額	課	経営総務課
	目	09 水道費				318,859千円		
	事業	01 水道事業会計繰出金						
まちづくり27の施策		13 きれいな水を循環させる上下水道の整備						

目的

総務省から示される水道事業に対する繰出基準を参考に、水道事業会計に繰出金を支出することにより、同会計の経営の健全化を促進し、経営基盤の強化・安定化を図る。

急激な物価高騰の影響を受ける市民生活を支援するため、水道料金のうち、基本料金の負担軽減の措置として繰出金を支出する。

主な財源

国補	物価高騰対策重点支援地方創生臨時交付金	22,000千円
国補	新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）	2,805千円
諸収入	ﾃﾞｼﾞﾀﾙ基盤改革支援補助金	1,614千円

主要な事務・事業の概要

○水道事業会計繰出金　341,651千円

項目		繰出金
基準内	高料金対策分	43,709千円
	統合前簡易水道にかかる企業債　償還利子	24,648千円
	統合前簡易水道にかかる企業債　償還元金	172,302千円
	統合後簡易水道にかかる企業債　償還利子	2,564千円
	児童手当	2,540千円
	小計	245,763千円
基準外	過疎債 償還利子（交付税算入70%）	743千円
	過疎債 償還元金（交付税算入70%）	68,647千円
	水道基本料金免除分 （物価高騰対策）	22,079千円
	衛星漏水調査分	2,805千円
	システム更新分	1,614千円
	小計	95,888千円
合計		341,651千円

成果・課題

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	上下水道部
	款	04 衛生費	369,600千円	369,600千円	0千円	100.0 %		
	項	01 保健衛生費				(参考)繰越予算額	課	経営総務課
	目	09 水道費				369,600千円		
	事業	01 水道事業会計繰出金（繰越）						
まちづくり27の施策		13 きれいな水を循環させる上下水道の整備						

目的	主な財源
水融通を行うための施設整備に対して出資を行い、同会計の経営の健全化を促進し、経営基盤の強化・安定化を図る。	市債　水道事業一般会計出資債（合併特例債）　369,600千円

主要な事務・事業の概要

○出資金　369,600千円

＜上水道統合事業への出資金＞

項目		事業費	出資金
基準外	中野水系配水池更新整備事業	757,404千円	369,600千円

成果・課題

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	04 衛生費	63千円	72千円	9千円	87.5 %	部	上下水道部
	項	01 保健衛生費				(参考)当初予算額	課	経営総務課
	目	09 水道費				0千円		
	事業	02 水道未普及世帯物価高騰対策給付金給付事業						
まちづくり27の施策		13 きれいな水を循環させる上下水道の整備						

目的

物価高騰の影響を受けている市民生活を支援するため、水道未普及地区の一般家庭を対象に、水道料金の基本料金相当額を給付するもの。

主な財源

国補　物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金　50千円

主要な事務・事業の概要

○水道未普及世帯物価高騰対策給付金　39千円

給付金額	給付件数	給付金額合計
1,008円	39件	39,312円

※給付金額：水道基本料金1月相当分（消費税込み）

※対象世帯数：86件（基準日：令和7年9月30日）

○通信運搬費（切手･郵送代）　19 千円

○口座振込手数料　5 千円

成果・課題

○物価高騰の影響を受けている水道未普及地区の一般家庭に対し、水道基本料金相当額を給付することで、市民生活を支援することができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	08 土木費	1,338,024千円	1,338,024千円	0千円	100.0 %	部	上下水道部
	項	04 都市計画費				(参考)当初予算額		
	目	02 下水道費				1,335,000千円	課	経営総務課
	事業	02 下水道事業会計繰出金						

まちづくり27の施策	13 きれいな水を循環させる上下水道の整備
目的	総務省から示される下水道事業に対する繰出基準を参考に、下水道事業会計に繰出金を支出することにより、同会計の経営の健全化を促進し、経営基盤の強化・安定化を図る。
主な財源	諸収入　デジタル基盤改革支援補助金　3,024千円

主要な事務・事業の概要

○出資金　265,700千円

項目		出資金
基準内	下水道事業債　償還元金	100,498千円
	児童手当	1,056千円
	小計	101,554千円
基準外	下水道事業債　償還元金	164,146千円
	小計	164,146千円
合計		265,700千円

○下水道事業会計繰出金　1,072,324千円

項目		繰出金
基準内	分流式下水道等に要する経費	752,373千円
	高資本費対策に要する経費	174,321千円
	下水道事業債　償還利子	7,831千円
	児童手当	1,860千円
	雨水処理に要する経費	27,900千円
	小計	964,285千円
基準外	下水道事業債　償還利子	684千円
	施設維持管理費	104,331千円
	システム更新等分	3,024千円
	小計	108,039千円
合計		1,072,324千円

成果・課題

【議案第93号】

令和7年度　一般会計決算附属資料

農業委員会事務局　主要な施策の成果

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	（農業委員会事務局）
	款	06 農林水産業費	14,762千円	14,869千円	107千円	99.2 %		
	項	01 農業費				(参考)当初予算額	課	農業委員会事務局
	目	01 農業委員会費				15,361千円		
	事業	02 農業委員会活動事業						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

主な財源

府負	農地利用最適化交付金	5,205千円
諸収入	農業者年金事務委託金	1,159千円

目的

農地法に基づく許認可等に関する事務を行うとともに、農地等の利用の最適化に関する市長への意見提出や推進活動を行う。

主要な事務・事業の概要

○委員報酬（農業委員19人・農地利用最適化推進委員32人）　10,949千円
- 農業委員報酬　4,709千円
  （会長311千円／年・職務代理267千円／年・委員243千円／年）
- 農地利用最適化推進委員報酬（195千円／年）　6,240千円

○農業委員会活動経費（費用弁償、共済費、消耗品費ほか）　534千円
○農業委員会だより発行経費（年3回　12・2・3月全戸配付）　488千円
○京都府農業会議会費・女性農業委員の会負担金　678千円
○会計年度任用職員任用経費（事務補助員、1人）　2,113千円
※6か月分

◎主な活動

活動内容	開催回数	備　考
定例会	12回	毎月
運営委員会・連絡調整会議	17回	随時
農地利用状況調査	随時	8月重点実施
町別地区定例会	63回	毎月

※農業委員会等に関する法律第38条第1項に基づく、農地等の利用の最適化の推進に関する施策についての意見書提出（10月30日）

◎農地法等に基づく許可申請等の状況

申請等の種類	件　数　等
3条申請（農地取得、賃貸借）	81件
4条申請（農地転用、届出）	12件
5条申請（農地転用）	23件
農地転用事業計画変更	2件
農地の形状変更届	13件
転用事実の回答（法務局）	153件
非農地判断	898筆　31.1ha
機構法による契約の要請	2,184筆　351.8ha
3条の3届出（相続等の権利移動）	352件

成果・課題

○農業者の高齢化・減少や鳥獣被害等により遊休農地が増加する中、農地の利用状況の調査の実施により現況を把握するとともに、委員会で状況共有を図った。
○農地法に基づく申請等に対して、書類確認や現地調査を行い、適正な許可業務ができた。
○農業委員・農地利用最適化推進委員が市農業振興課と連携し、集落単位で行われる地域計画の見直しの話し合いに参加することで、地域の実情を反映した計画づくりに貢献した。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	124千円	225千円	101千円	55.1 %	部	（農業委員会事務局）
	項	01 農業費				(参考)当初予算額	課	農業委員会事務局
	目	01 農業委員会費				225千円		
	事業	03 農業者年金事務						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

目的

農業者年金の加入推進、農業者年金加入者及び受給権者の資格管理等の事務を行う。

主な財源

諸収入　農業者年金事務委託金　124千円

主要な事務・事業の概要

○農業者年金の裁定請求、加入推進、受給者の資格管理等に関する事務費　124千円

- 旅費　19千円
  - 職員旅費　19千円
- 需用費　102千円
  - 消耗品費（事務用品）　7千円
  - 燃料費（ガソリン代）　17千円
  - 印刷製本費（農業委員会だより）　78千円
- 有料道路通行料　3千円

○年金資格及び保険料・給付関係書類の処理状況

（令和7年4月～令和8年3月）

種類		
	通常加入申込書	1件
	政策支援加入申込書	1件
	特例付加年金裁定請求書	0件
	老齢年金裁定請求書	8件
	死亡届	15件
	現況届	167件

成果・課題

○農業者年金加入者及び受給者の資格管理を行い、農業者年金制度が適正に運用できた。
○農業者への上乗せ年金制度であり、農業者の老後生活のために引き続き加入を推進していく。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	4,114千円	4,156千円	42千円	98.9 %	部	（農業委員会事務局）
	項	01 農業費				(参考)当初予算額		
	目	01 農業委員会費				4,051千円	課	農業委員会事務局
	事業	04 機構集積支援事業						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						

目的

農地制度の円滑な推進を図るため、農地利用状況調査及び農地利用意向調査等の農地の利用調整事務を行う。

主な財源

府補	機構集積支援事業費補助金	781千円
諸収入	ﾃﾞｼﾞﾀﾙ基盤改革支援補助金	1,012千円

主要な事務・事業の概要

○農地の利用調整事務に係る経費		4,114千円
・会計年度任用職員任用経費（事務補助員、1人） ※6か月分		2,135千円
・旅費		30千円
職員旅費	30千円	
・需用費		375千円
事務用品（図面コピー等ほか）	297千円	
印刷製本費（農業委員会だより）	78千円	
・農地基本台帳システムデータ作業委託料		1,122千円
システムPC入替作業	110千円	
自治体情報システム標準化対応作業	1,012千円	
・農地基本台帳システム保守委託料		440千円
・有料道路通行料		12千円

成果・課題

○農地利用状況調査で把握した農地の状況を農地基本台帳入力し、利用調整事務の効率化を図ったほか、構集積支援を実施し農地の保全を図った。
○今後も農業者の高齢化・減少が進むことが予測される中で、引き続き農地の利用状況調査や利用調整活動に取り組み、遊休農地の解消に努めていく必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	06 農林水産業費	703千円	706千円	3千円	99.5 %	部	（農業委員会事務局）
	項	01 農業費				(参考)当初予算額	課	農業委員会事務局
	目	01 農業委員会費				677千円		
	事業	50 農業委員会一般経費						
まちづくり27の施策		19 持続可能な農林業の推進						
目的		農業委員会事務局の事務等に要する経費						

主な財源

諸収入　　市有自動車損害共済金　198千円

主要な事務・事業の概要

○公用車維持管理経費（2台）	703千円
・ガソリン代	130千円
・修繕費	472千円
・自動車登録手数料	38千円
・車両運送費	16千円
・自動車損害保険料	35千円
・自動車重量税	12千円

成果・課題

農業委員会事務局事務を適切に実施するとともに、公用車の適切かつ効率的な維持管理ができた。